

器、及ビ軍器ニシテ之ニ易フルニ皮及ビ象牙ヲ以テス○此敢爲ナル商賈ハギニア海濱ト多少ノ交通ヲ爲シ又其航海者ハセ子ガル、ガムビア兩河口ヲ踰ヘテ更ニ進航セシトナ信スヘキ理由少カラス

註* 紀元前五百七十年カーセイジノ大將ハンノナル者三万ノ殖民ヲ搭載セル六十隻ノ船舶ヲ指揮シテ亞弗利加ノ西濱ニ至リジブラタルノ海峽トサー子島トノ間ニ六個ノ殖民地ヲ開設セリ

○温習ニ向テノ分析綱領

ANALYTIC SYNOPSIS FOR REVIEW.

一、〔既ニ〕論シラレタル國民 余輩ハ次ノ古代東洋國民ノ歴史ヲ考究シタ

- 埃及人
- 亞西里亞人及ヒ巴比倫人
- 希伯來人
- 非尼士亞人
- 印度人
- 波斯人

古代ノ東方國民

二、人種ノ類別 此等ノ國民ガ三ツノ人種ニマデ分類サレ得ル即チ「アリアン」人種又

ハ「印度歐羅巴人種」「セミット」人種及ビ「ハミット」人種ニシテ次ノ如シ

- 「アリアン」人種
 - 印度人
 - 波斯人
- 「セミット」人種
 - 亞西里亞人
 - 非尼士亞人
 - 希伯來人
- 「ハミット」人種
 - 埃及人
 - カルデイア人
 - (上古巴比倫人)

三、歴史上ノ位地 余輩ハ多クノ古代東方國民ニ依テ演ゼラレタル部分ニ就テ學ンダ處ノ物ヲ約記スレバ余輩ハ次ギノ特質ヲ認メ得ル

埃及人

「ハミット」幹族ノ重モナル代表者ナリ○別ニ發達セシ○征略スル或ハ侵掠スル人種デアラザリシ○驚クベキ建築ノ天性ヲ有チシ○機械上ノ技術ノ多クニ於テ著シキ進歩ヲ得シ而シテ或ル理學殊ニ天文學及ビ幾何學ノ或ル智識ヲ有チシ○彼等ノ文明ニ就テ停滯不進ノ性質ニヨツテ認メラレシ

加耳特亞人

埃及人ト族ヲ同フシタル「ハミット」幹族デアツタベク見ユル○埃及人ニマデ全シク建築ノ天性ヲ保チシ○多クノ成功ヲ以テ天文學ヲ修メシ○彼等ノ文明ガ有形的ノ性質ノ者デ「アリシ」

亞西里亞人

多分殆ト純粹ナル「セミット」人種デアリシ○征服スル人種デアリシ而シテ波斯人ニ先ダチテ總テノメソポタミア國ノミナラズ尙又馬太、叙里亞本部、非尼士亞、パレスティン、亞刺比亞ノ一部及ビ殆ンド總テノ埃及ヲ統治スル處ノ亞細亞ノ大帝國ニナリシ○美術ニ於テハ殊ニ彫刻ニ於テ卓越セシ政權トシテ只タ亞西里亞國ノ滅亡ヨリ居魯士ノ下ニ波斯人ニ依テ征服ニマデ八十七年(紀元前六百二十五年乃至五百三十八年)ノ短キ時代ノ間統轄セシ然レモ亞西里亞ノ統治ノ下ノ間數世紀間重要ナル人民デアリシ○商業、製造及ビ實地ノ技術ニ於テ進歩ヲ認メナセシ

巴比倫人(後王國)

純粹ナル亞里亞幹族ノ國民ナリ然レモ完ク交通セザル人種トシテ著名ニ大幽邃且深奥ノ意匠ニマデ彼等躬ヲ專ラニスル所デ○印度歐羅巴語ノ最舊キ者ナル梵語ニ於テ書カレタル富饒ナル且ツ著名ナル文學ヲ遺シタ○世界ノ政治上ノ歴史ニ於テ唯僅少ノ影響ヲ有チシ而シテ實ニ辛フジテ紀元前三百二十六年歴山王ニ依テ印度ノ征服マデ歷史上ノ年紀ニ於テ地位ヲ有ツタベ

印度人

ク云ハレ能フ

希伯來人

歴史中特別ノ部分ヲ演ズル所ノ「特別ノ人民」ナリ○古昔ノ政治ノ歴史ニ於テ甚ダ僅少ノ影響ヲ有チシ然レモ宗教(一神教)ニ依テ總テノ世界ヲ感化シタ○彼等ノ大ナル遺物トシテ希伯來聖書ヲ殘シタ○技術ノ人民デアラヌ○純粹ノ「セミット」人種デアリシ

非尼士亞人

希伯來人ト全ク「セミット」人種デアリシ○古代ノ貿易者及ビ殖民者ヲ以テ卓越ナリ○歐羅巴及ビ亞弗利加ノ地中海ノ海濱ニ於テ殖民ヲ植ヘシ處ノ單ナル亞細亞人民ナリ○非尼士亞ノ字母ニ於テ價スベカラザル遺物ヲ遺セシ純正ノ「アリアン」人デアリシ○或ル東方ノ國民ノ歐羅巴ノ文明ニマデ最モ近キ接近ヲナセシ○或ル亞細亞ノ人種ニ依テ有セラレタル政治ノ組成ノ最善ナル思想ヲ保チシ○征服スル人民デアリシ而シテ居魯士ノ時カラ歴山王ニ依テ征服ニマデ亞細亞ニ於テノ大帝國ニナリシ(紀元前五百五十八年乃至三百三十一年)○技術殊ニ建築及ビ彫刻ニ於テ卓越ニ達セシ

波斯人

古代人民ノ貿易

四、年代約記 次ノ者ガ各國民ノ下ニ最モ緊要ナル日子デアル

第廿五世紀金字塔建築者ノ朝(第四朝)ニ於テ正
紀元前 二千四百五十年
確ナル歴史ノ始リ

埃及

第六世紀ニ波斯人ノ爲ニ征服セラル
五百二十五年

第一世紀ニ羅馬人ノ爲ニ征服セラル
三十年

加耳特亞

第廿三世紀ニ最初ノ正確ナル日子
二千二百三十四年

(前巴比倫)

亞西里亞ニ併呑セラル
大約 千二百五十年

亞西里亞

巴比倫ヲ併呑シテ大國トナル
大約 千二百五十年

ニ子ヅエノ滅亡及ビ亞西里亞ノ傾覆
六百二十五年

ナボナツサーノ紀元
七百四十七年

ナボポラツサーノ下ニ獨立ノ恢復
六百二十五年

巴比倫

居魯士ノ爲メニ巴比倫ノ侵掠及ビ巴比倫
五百三十八年

王國ノ滅亡

印度

印度ノ谿地ニマデ「ブラミン」ノ「アリアン」族ノ移住
大約 三千年

印度ニマテ「歴山王」ノ遠征
大約 三百二十六年

亞伯拉罕ノ遷徒
大約 千九百二十年

埃及ヨリ出發
千三百二十年

瑣羅門ノ即位
千十五年

以色列王國及ビ猶太王國ニマテ瑣羅門帝國ノ分離
九百七十五年

亞西里亞人ノ爲ニ以色列王國ノ滅亡及ビ以色列人
七百廿一年

パレスティン

子ブカド子ツサーノ爲ニゼルサレムノ侵掠
五百八十六年

俘囚ヨリ飯國ス
五百三十六年

羅馬ノ爲ニ併呑セラル
六十二年

タイアガ非尼士亞ノ主ナル都市トナル
大約 千五十年

非尼士亞ガ亞西里亞人ノ爲メニ征服セラル
大約 八百七十年

非尼士亞

カーセージ殖民地ノ設立

八百五十年

タイアガ歴山大王ノ爲ニ侵掠セラル

三百二十二年

非尼士亞ガ羅馬人ノ爲ニ征服セラル

六十三年

居魯士ニ依テ波斯帝國ノ設立

五百五十八年

カムビセス王ト爲ル

五百二十九年

波斯

波斯帝國ヲ組立シ處ノ太流士一世(ヒスタスヘス)王トナル

五百二十一年

ザーキセス王トナル

四百八十六年

歴山王ノタメニ波斯帝國ノ滅亡

三百三十一年

五、一般ノ約記

次ノ者ガ東方歴史ノ哲學ノ一般ノ約記トシテ勤メ得ル

總テ東方國民ノ大ナル状態ガ彼等ノ不進ノ性質デアリシ○亞細亞ニ於テ其處ニ大ナル

帝國ノ數ガ存在ニマデ來リシ然レモ是等ガ專制政治デアリシ故ニ、人民ノ社會ノ品位

ガ族制ニ於テ定メラレシ故ニ、而シテ人民彼等躬ラガ一夫多妻ニ依テ劣等ニマデナサ

レシ故ニ人ノ權力ガ自由ナル動作ヲ見出シ能ハザリシ、其レヨリシテ縱令古代ノ東方

國民ガ文明ニ於テ著シキ進歩ニ達セシト雖トモ彼等ノ文明ガ停滯不進ノ性質ノ者デア

リシ○亞細亞ガ生産且ツ本源ノ地デアリシ而シテ實ニ余輩ノ人種ノ歴史ニ於テ驚クベ

キ部分ヲ演ゼシ、然レモ天命ノ順序ニ於テ彼ノ女ノ任命サレタル業務ガ完成セラレシ

時ニ人類ノ大ナル事業ヲ運ヒ進メルトノ其レカ他ノ陸地及ビ他ノ人民ニマデ與ヘラレ

シ、而シテ余輩ガ歐羅巴ノ自由ナル土地ニ於テ「アリアン」人種ト共ニ最初ニ眞ノ進歩

カ來ルヲ見出ステアラフ

(解) 左ニ掲ケタル一篇ハ東洋歴史哲學ノ概論ト爲スヘシ

東洋諸國民ノ著キ状態ハ停滯不進ノ性質是ナリ○蓋シ亞細亞洲中大帝國ノ興リシ者

少カラスト雖モ其政治皆專制ニ加ルニ族制ヲ以テ人民ノ位階ヲ一定シ且一夫數婦

ノ惡習アリテ人民ヲ陋態ニ陥ラシムルカ故ニ人カノ活動毫モ自在ナルヲ能ハス是レ

古代東洋諸國民ノ一タヒ著大ナル文明ノ進歩ヲ爲セシモ其文明タル皆停滯不進ノ性

質ヲ帶ヒサルモノナキ所以ナリ○又亞細亞ハ人類ノ郷土原地ニシテ實ニ吾人白哲人

種ノ歴史ニ於テ至要ナル活劇ヲ演セシト雖天運ノ循環スル所其任務ヲ終ルヤ天更ニ他ノ國土人民ニ命シテ人生ノ大業ヲ進涉セシム而テ真正ナル進歩ノ初メテ歐羅巴ノ自由郷里ニ住スル「アリアン」族ト共ニ世ニ顯ハレシトハ下篇ニ至リテ自ラ分明ナルヘシ

◎第二編 希臘史

SECTION II HISTORY OF GREECE.

第一章 總說

CHAPTER I GENERAL SKETCH.

東洋歐
州歴史
ノ差異

(一) 余輩ハ今希臘及ビ羅馬ナル古代ノ二大歐羅巴國民ノ歴史ヲ始ムベクアルスナグチ光榮ノ歴史其レハ希臘デアリシ處ノ而シテ壯大ノ歴史其レハ羅馬デアリシ處ノ歴史ナリ○此等ノ國民ノ譚ハ殆ント紀元前千年ト而メ紀元後四百七十六年西羅馬帝國ノ覆滅トノ間ノ全キ年期ヲ充タス○此等ノ國民ノ歴史ト而シテ古代東洋帝國ノ其レノ間ニ余輩ハ著シキ反對ヲ發見スルデアラフ○東洋ハ其レノ下ニ一個人ノ自由ノ精心カ全ク撲滅セラレシ所ノ巨大ナル抑壓スル專制政治ノ連續ヲ視ヘニ迄現ハス○其精心ハ最初ニ歐羅巴其處ニ余輩ガ彼等躬ヲテ國守シ而シテ自由ナル自治ノ邦國ニ於テ成形ヲ取ル所ノ人ノ權利ヲ見ルデアラフ所ノ歐羅巴ニ於テ活動ヲ發見ス○東洋ノ歴史ハ王家ノ歴史デアアル、希臘及ヒ羅馬ノ歴史ハ人民ノ歴史デアアル、而シテ其故ニ後者ハ遙カ尙多ク有益ニ尙多ク教ユベク且ツ尙

多ク價直アルモノデアル

(解) 今ヨリ記載セントスル所ノ者ハ歐洲古代ノ二大國希臘羅馬ノ歴史即チ燦爛タル希臘史ト雄偉ナル羅馬史是ナリ○此二大國民ノ傳記ハ紀元前二千年ノ頃ヨリ紀元四百七十六年西羅馬帝國滅亡ノ時ニ亘ル○此歴史ヲ以テ之ヲ古代東洋諸國ノ歴史ニ比スレハ實ニ霄壤ノ差アルヲ見シ○東洋ニ於テ目撃スル所ノ政治ハ孰レモ皆無限ノ專制ニシテ之レカ治下ニ在テハ自由ノ精心全ク撲滅セラル○然ルニ自由ノ精心初メテ興起シ人權漸ク固定シテ遂ニ自由自治ノ邦國ヲ成立スルニ至リシハ實ニ歐洲ニ在リ○之ヲ要スルニ東洋ノ歴史ハ王室ノ歴史ニシテ希臘羅馬ノ歴史ハ人民ノ歴史ナリ故ニ後者ハ其壯快ニシテ龜鑑ト爲スヘキト及ビ其價値アルト更ニ前者ノ比ニアラス

希臘人

(二) 希臘人ハ有力ナル「アリアン」即チ印度歐羅巴幹族——幹族其レハ亞細亞ノ波斯人及ビ印度人ト一所ニ歐羅巴ノ總ノ歴史上ノ人種ヲ抱含スル處ノ幹族ノ枝部デアロ○「アリアン」族トシテ彼等ハ密ニ羅馬人ニマデ關係サレシ、而シテ實ニ(Hittites)希臘人ノ及ビ伊太利人ノ祖先ハ元來一個ノ群居其レハ歴史以前ノ時ニ於ケル甚ダ早キ時代ニ於テ(紀元前二千

年ヨリハ後ナラス)亞細亞ニ於ケル「アリアン」族ノ故郷ノ巢ヲ去リ而シテ歐羅巴ニ迄動キシ所ハ一個ノ群居ヲ構成セシ○國語ノ証左ハ此幹族ハ彼等ガ「アリアン」家族ノ他ノ社員カラ仲間チ分離シタリシ後而シテ彼等ガ一支部(one branch)ハ三個ノ地中海ノ半島ノ東ニ於テ而シテ他ハ中央ニ於テ住居セシ前著シキ年期ノ間一所ニ存在セシバナラナシト示ス其處ニ彼等ハ其後歴史ニ於テ第一支部ハ希臘人トシテ第二ハ羅馬人トシテ現ハレシ所ハモハナリ

(解) 希臘人ハ有力ナル「アリアン」族即チ印度歐羅巴族(此種族ハ歴史上ノ歐羅巴諸族ト亞細亞ノ波斯印度兩國人ヲ包括ス)ノ一種トス○希臘人ハ其同族タル羅馬人ト最モ密着ナル關係ヲ有ス蓋シ此兩國人ノ遠祖ハ書契以前(紀元前二千年以前)夙ニ亞細亞ナル「アリアン」族ノ故郷ヲ去リ歐羅巴ニ移リテ相共ニ群居シタリ○斯ノ如ク此兩國人カ他ノ「アリアン」族ト分離シテヨリ遂ニ一ハ地中海ノ三大半島中ノ東半島ニ住シ一ハ中央半島ニ住スルニ至ルマテ多年ノ間相共ニ棲息セシトハ其言語ノ考證ニ徴シテ分明ナリ(後年ニ至リ東半島ノ者ハ希臘人中央半島ノ者ハ羅馬人ノ名ヲ以テ歴史上ニ出現

セリ)

地圖ノ研究

(七十二頁ニ相對シタル地圖ヲ參觀セヨ)

- (一) 希臘本州ノ境界ハ何デアリシヤ
- (二) 希臘ト而シテ伊太利トノ間ニ如何ナル海峽ノ兩側ニ於テ如何ナル灣(アリヤ)
- (三) 如何ナル地峽カ本州トペロポネ子サスヲ接續スルヤ
- (四) 此(地峽)ノ兩側ニ於テ如何ナル灣(アリヤ)
- (五) ビンダス山脉ノ位置ハ何デアアルカ
- (六) 彼等ハ如何ナル州ヲ分チシヤ
- (七) イータ山ノ、オリムプス山ノ、パーナッサスノ位置ヲ告ケヨ
- (八) 馬基頓ノ、アッティカノ、ラコニアノ位置ハ何デアリシカ
- (九) ビオシア州ハ何處ニアリシヤ
- (十) アッティカハ沿海或ハ内地ノ州デアリシヤ
- (十一) ラセディモンハ内地或ハ沿海ノ州デアリシヤ
- (十二) 如何ナル河ガ地圖ニ於テ擧ゲラル、ヤ
- (十三) 東ノ海岸ヲ離レテ如何ナル巨大ノ島(アリヤ)
- (十四) シクレイデス及ビスポレーデスハ何處ニアリシヤ
- (十五) カーツ子サス、シレナイカ、ヘレスポネトスレース、小亞細亞ハ何處ニアリシヤ
- (十六) 雅典、士巴太、齊武、アゴス、デルフイ、コ

スヘルラ

リンス、プラティア、マラソン、ミレタス、サーデイニス、サーモピリー山峽ハ何處ニアリシヤ

(三) 希臘ハ八民其レテ余輩ガ希臘人ト稱スル所ノ人民ニ依テハ殆ント知ラレザル名稱デアリシ而シテ嘗テ彼等ニ依テ彼等ノ國ヲ記スヘク用サレザリシ○其レハ初メテ羅馬人其人カラ其レガ余輩ニマテ傳ハツタ所ノ羅馬人ニ依テ採用サレシ○名稱其レニ依ツテ希臘人が常ニ彼等ノ國ヲ稱セシ處ノ名稱ハヘルラスデアアル○然レ此語ハ現今希臘ナル語ニ依テ掩ハル、ヨリハ尙多クヲ抱合セシ、何トナレハ其レハ近傍ノ島嶼ノミナラズ(Hot only)尙又地中海ノ周圍ノ殖民地ノ數多ノ小地ヲ抱合セシ故ニ○實ニヘルラスハ何處ニテモヘルラス人即チ希臘人が住居シテアリシ處ヲ表セン

(解) 希臘ノ名稱ハ世人ノ所謂古代希臘人ノ知ラサル所ニシテ亦嘗テ自ラ其國ヲ呼ンテ希臘ト稱シタルヲナシ○羅馬人初メテ此名稱ヲ用ヒ遂ニ傳稱シテ今日ニ至レリ○希臘人ハ自ラ其國ヲ稱シテヘルラスト云フ○然レ此名稱ハ獨リ其近傍ノ諸島ノミナラス地中海ノ周邊ニ散在セル數多ノ殖民地ヲモ包括スルヲ以テ其區域今世ノ所謂希臘ヨリ廣濶ナリ○蓋シヘルラストハ其何レノ所タルヲ問ハスヘルラス人即チ希臘人ノ住居

總 說

地勢

セシ土地ノ總稱ナリシナリ

(四) 希臘ノ地理ニ於テ其處ニ注意サル、可キ二個ノ緊要ナル事實ガアル、第一ニヘルラスハ深ク地中海ノ灣及ビ入海ニ依ツテ穿入サレタル島及ビ半島ノ土地デアルト○此事實ガ何故ニ希臘人ハ歐羅巴ノ最早ク開化セシ人民デアリシ乎ノ大理由(Main Reason)ノ一デアル何トナレバ海岸ニ於テノ彼等ノ位置ガ彼等ヲ其レ等ノ尙古キ開化其レノ坐位ハ地中海ノ東方ノ海濱ニ於テアリシ處ノ其レ等ノ尙古キ開化ト而シテ殊ニ埃及及ビ非尼士亞ト觸接ニマデ持來セシ故ニ○第二ニ國ノ表面ハ數多ノ山其レハ希臘ヲ小ナル隔離セシ地方ノ許多ニマデ分割セシ處ノ數多ノ山ニ依テ脊ヲ作ラル、ト○此事實ガ數多ノ分離セル且ツ獨立ノ州即チ社會ノ設立ヲ扶翼セシ、而シテ世界ノ歴史ニ於テ初メテ(Cor. in first time)政治上ノ自由ガ人ニ依テ得ラレシトノ其レハ此等ノ小邦ニ於テデアリシ

(解) 希臘ノ地理中宜ク注意スヘキ緊要ナル二個ノ事實アリ即チ一ハヘルラスノ地タル島嶼及ビ半島ヨリ成リ地中海ノ港灣深ク之ヲ穿ツ○是レ歐州中希臘人民ノ夙ニ開化ニ赴キシ一大原因タリ蓋シ其地海ニ瀕スルヲ以テ地中海ノ東岸ナル古代ノ文明諸國殊

廣袤

ニ埃及及ビ非尼士亞ト交通ノ便ヲ得タレバナリ○二ハ數多ノ山岳國中ヲ橫斷シ全國ヲ限隔シテ狹小孤絶ノ數地方ヲ爲セシト是ナリ○此レ則チ數多ナル各一獨立ノ邦國ヲ設立セシメシ所以ニシテ萬國史中人間ノ初メテ政治上ノ自由ヲ占得セシハ實ニ此等ノ小邦ニ在リ

(五) 希臘本部ハ長サ大約二百五十哩而シテ其レノ最廣ノ部分ニ於テ横ニ百八十哩ノ半島デアアル○其レハメイン州ノ其レノ如ク大約全シ面積ヲ持ツ

(解) 希臘本州ハ長徑大約二百五十英里幅員最モ廣キ所一百八十英里ノ半島タリ○而シテ其地積ハ大抵亞米利加合衆國ノメイン州ニ均シ

(六) 希臘ノ天然ノ區別ハ北部、中央部及ビ南部ニ迄デアアル○北部希臘ハ北ノ境界線ヨリ点其處ニ東及ビ西ノ海岸ガ夫々メーリス及ビアムブレーシア即チアクティアムノ灣ニ依テ入り込マル、所ノ点ニ迄延長スル○中央部希臘ハ此点カラコリンスノ地峽ニ迄達スル○南部希臘ハ近世ノ地理學ニ於テモリアト稱セラレタルペロポンネサスト全一デアアル

(解) 希臘ノ地勢ハ自然ニ分レテ北中南ノ三部ト爲ル○北部ハ北ノ境界線ヨリメーリス

地理上ノ區別

北部

スアムブレーシアノ兩灣東西ノ海岸ニ穿入スル所ニ至リ○中部ハ此處ヨリコリンスノ地峽ニ達ス○南部ハペロポン子サスノ地ニシテ近世ノ地理學ニハ之ヲモリアト稱ス

(七) 北部希臘ハ往時ニ於テハセッサリー及ビエパイラスナル二個ノ重要ナル邦ヲ包有セシ○此等ノ北ニマデ馬基頓其レハ縱令ヘルラスノ血統ノ王ニ依テ支配サレシト雖、エーシエント、タイム凡全キ終ノ時ニ迄希臘ノ部分デアルベク嘗テ算入セラレザリシ處ノ馬基頓ガアリシ

(解) 北部ハ昔時セッサリー及ヒエパイラスノ二大州ヲ包有シタリ○此二州ノ北ニ馬基頓アリ馬基頓ハヘルラス人種ノ王統之ヲ控制セシト雖、カウシテッド凡後代ニ至ルマテ之ヲ希臘列邦ノ一ト認メズ

中部諸州

(八) 中央希臘ハ十一州ヲ包有セシ○此等ノ最モ重要ナル者ハアッティカデアリシ其レハベオシアカラ南東ニ迄突出スル岬即チ半島デアアル○其レノ長サハ七十哩其レノ最大ノ廣サハ三十哩デアリシ○此地方ノ一般ノ性質ハ山多ク而シテ礪确デアリシ○アッティカニ於テ全希臘ノ首位ノ都府ナル雅典ガアリシ

(解) 中部ハ十一州ヲ包含ス○其最モ重要ナル者チアッティカトスアッティカハ半島ニシ

ペロポン子サス

テベオシアヨリ東南ニ突出ス○長サ七十英里幅員最モ廣キ所三十英里アリ○此地概チ山岳連亘シテ地味不饒ナリ○アッティカ州中ニ雅典府アリ雅典府ハ希臘全國第一ノ市府タリ

(九) 南部希臘即チペロポン子サスハ七ツノ重大ナル州ヲ包有セシ○南方諸州ノ尤モ重要ナル者ハ時トシテラセディモント稱セラレタルレコニア其ニ付テ首府及ビ尤モ重要ノ都府ハスパルタデアリシ處ノレコニアデアリシ

(解) 南部即チペロポン子サスハ七大州ヲ包含ス○南部諸州中最モ勢力アル者ハレコニアニシテ或ハ之ヲラセディモント稱ス○士巴太ハ其首府ニシテ最モ重要ナル市府タリ

希臘諸島

(十) 「希臘ノ島嶼」ハ古代ノヘルラスノ甚ダ著シキ且ツ有名ナル部分ヲ形造リシ○沿海諸島ノ最大ナル者ハ百哩長キイユーベアデアリシ○西岸ヲ離レテコーサイラノ重要ナル島ガアリシ○南岸ヲ離レテ長サニ於テ一百五十哩ナルクリートガアリシ○エジアン海ハ數多ノ島其レニ付テシクレーズ及ビスポレーズノ二群ハ希臘カラ亞細亞ニ迄横切リテ踏石ノ一

組ノ如ク續キタル連續ニ於テ延長セシ處ノ數多ノ島ヲ以テ基布セラレシ

(解) 所謂「希臘諸島」ハ古代ノヘルラス中著名ノ部分ヲ爲セリ○本州ノ近海ニ在ル最大ノ島嶼ハユトベアニシテ其長サ百英里アリ○西岸ヲ離レテコルサイラノ要島アリ○南岸ノ外ニクリート島アリ其長サ百五十英里アリ○又エジアン海ニハ數多ノ島嶼ノ基布スルアリ就中シクレーズ及ビスボレーズノ二群島ハ希臘ヨリ亞細亞ニ連亘シ其狀宛モ錯落タル飛石ノ如シ

(十一) 「アリアン」ハラス 幹族ノ種々ノ種族ハ紀元前二千年丈ケ左様ニ早ク希臘半島ニマデ侵入シタリシコノ其レガ實ヲシクアル○ヘルラス前ノ年期ニ於テ再言スレバアトヘレニツク (Hats) 歴史以前ノ年代ニ於テハ余輩ガ「ペラスジ」人其人ハ「アリアン」人種デアツタベク見ユル處ノ「ペラスジ」人ニ付テ聞ク○彼等ハ土地ヲ耕ヤス可ク而シテ疊壁セシ都府ヲ建設スベク充分開化シテアリシ○彼等ニマデ「ペラスジ」或ハ「シクロピア」ノ遺物トシテ知ラレタル或ル古代ノ紀念ノ遺物カ歸セラル、○此等ハ石灰ナシニ相互ニ (to one another) 接合サレタル石ノ大ナル粗キ塊カラ組立テラレタル墳墓カラ及ビ牆壁カラ成立スモニエメント アットリビエーテツド セメント レイニズ

(解) 「アリアン」諸族ノ希臘半島ニ來住セシハ紀元前二千年ノ古ニアリシカ如シ○ヘルラス以前ノ世即チ歴史以前ニ於テ既ニ「ペラスジ」人ナル者アリシヲ聞ク、「ペラスジ」人ハ蓋シ「アリアン」族ナリ○其民稍開化ニ進ミ土地ヲ耕耘シ城市ヲ建築ス○往古ノ遺跡所謂「ペラスジ」若クハ「シクロピア」ノ遺物ト稱スル者ハ「ペラスジ」人ノ建築セシモノナリト云フ○其遺物ハ墳墓ト牆壁ニシテ之ヲ造ルニ唯粗大ナル石塊ヲ累疊シ敢テ石灰ヲ用フルナシ

(十二) 記録シタル歴史ノ始リノ前久キ時限ニ於テ「ペラスジ」人ハヘルラス人ナル尙多ク驍勇ナル且ツ尙武ノ人種其レハセッサリーカラ下來リツ、全ク半島ニ蔓延シ而シテ全國ニ迄彼等ノ名稱ヲ與ヘシ處ノ尙多ク驍勇ナル且ツ尙武ノ人種ノ侵入ニ依ツテ壓服セラレシ○其處ニヘルラス人ノ四個ノ主ナル區別ガアリシ「ドリリア」人「エオリア」人「アキア」人、及ビ「アイオニア」人ナリ

「エオリア」人ハ北部希臘及ビペロポン子サスノ西岸ヲ越ヘテ蔓延シテアリシ、「アキア」人ハペロポン子サスノ南及ビ東ノ部分ヲ有セシ(尙古キ「ペラスジ」人種ノ遺孽ナル「ア

ヘルラ
ス人

「カディア」人ハ中央ヲ占領シテ、「アイオニア」人ハペロポネ子サスノ北岸ヲ沿フテ而シテ東方アッティカニ迄ノ國ノ狹キ帶地ニマテ限ラレシ、「ドリリア」人ハ北方ニ迄アリシ而シテ「イータ山」ノ南阪ヲ占領セシ○斯ノ如キ者ハ「ホーマー」ノ詩ニ依テ表ハサレタル時代ニ於ケル人種ノ分配デアツタベク見ユル

(解) 歴史以前ノ時ニ當リ「僥悍武ナル一族ヘルラスナル者セツサリ」ヨリ來リテ「ペラスジ」人ヲ侵略シ漸ク希臘全半島ニ蔓延シ之ニ附スルニヘルラスノ名ヲ以テス○ヘルラス人ニ四大別アリ「ドリリア」人「エオリア」人「アキア」人「アイオニア」人はナリ

「エオリア」人ハ北部希臘トペロポネ子サスノ西濱ニ蔓延シ「アキア」人ハペロポネ子サスノ南東地方ヲ占有シ(舊)「ペラスジ」種ノ殘族「ア」カディア」人ハ其中部ヲ占領ス「アイオニア」人ハペロポネ子サスノ北岸ニ沿フテ東ノ方アッティカニ達スル一帯地ニ據リ「ドリリア」人ハ北ノ方「イータ山」ノ南阪ヲ占領ス○以上ハ「荷馬」ノ史詩時代ニ於ケル四大族分居ノ状態ナリ

(十三) 此時代ノ希臘人ハ詞ノ適當ナル意味ニ於テ一ノ歴史ヲ持タヌ○此レノ場處ヲ彼等

小説ノ時代

ハ彼等躬ヲニ依テ「ミス」ト稱セラレタル美麗ナル小説ノ累積ニ因テ補充セシ○此等ハ種々ノ英雄ノ功績ヲ詳述ス而シテ「斯ルガ故ニ此年期ハ英雄時代(Heroic Age)ト稱セラル、○歴史上ノ實事其レハ其處ニ希臘ノ小説ノ休ニ於テアリ得ル處ノ線ヲ分離スベク企ツル」ノ其レハ無益デアル、左様ニ爲ス「ハ口」善長ノ歴史ヲ作ル「ナシニ長詩ヲ害ス」ベクアル

(解) 此時代ノ希臘人ニ關シテハ未タ適當ニ歴史ト稱スヘキ者ナシ○然レモ希臘人ノ所謂「ミス」ナル美妙ノ小説アリテ其缺ヲ補ヘリ○此書勇士ノ功業ヲ説ク故ニ此時代ヲ稱シテ勇士ノ時代ト云フ○而シテ其書中或ハ事實ナキニ非レモ之ヲ採萃セントスルハ抑モ無益ノ「ヲタリ何トナレハ徒ラニ其妙詩ヲ害シテ長史ヲ編輯スル能ハサレハナリ

(十四) 英雄時代ノ最後ノ且ツ最大ナル事件ハ「トロイ」ノ攻圍デアリシ○此レハ「ホーマー」ノ才智ニ依テ彼ノ「イリアッド」(「イリアム」即チ「トロイ」ヨリ)ニ於テ不朽ニサレシ、而シテ「トロイ」ノ位置ノ上ニ近時ノ穿鑿ガ「ホーマー」ノ談話ハ確カナル實事ノ基礎ノ上ニ存在スル「チ」信スルベキ理由ヲ與ヘシ○譚ノ大体ハ次ノ如クアル、トロイノ王「プライアム」ノ子息「パリ」ガ「スパルタ」ノ王「メネラ」スノ款待ヲ時代ノ最モ美シキ婦人ナル「ヘレン」ヲ妻ヘレン「運ヒ去ル

トロイノ圖

トニ依テ汚セシ○メ子レアスノ招待ニ於テ惣テノ希臘ノ王公ガ兵器ニ於テ集合セシアガメ
アビエーヌ ムノシナル彼レノ兄弟チ遠征ノ首長ニ撰擧セシ而シテ不貞ナル美人(Helio)チ恢復ス可ク
 エジアン海チ渡リテ出航セシ○殆ント總テノ小亞細亞ガトロイト同盟サレシ而シテ最モ驍
アプロソ 勇ナルトロイトノ首長ハブライアムノ子息ナルヘクトルデアリシ○トロイガ降服セシトノ其
 レハ第十年ニ迄アラザリシ而シテ「イリアッド」ガ關係スルトノ其レハ此年ノ事變チ以テ
アプロソ アル

(解) 勇士ノ時代ノ末世ニ起リシ最大事件ハトロイトノ攻圍トス○此事ヲ萬世ニ傳ヘタ
 ルハ彼ノ有名ナル詩篇「イリアッド」(「イリアム」ハトロイトノ義ナリ故ニ此稱アリ)ニ其
 紀事ヲ載セタル荷馬ノ天才ニヨレリ、近世トロイトノ地ヲ搜索シ初メテ荷馬ノ紀事ハ全
 ク事實ニ源スルチ信スヘキ理由チ得タリ○其紀事ノ概略左ノ如シトトロイ王ブライア
 ムノ次子パリスナル者士巴太王メ子レアスノ好遇ニ悖リ王妃ヘレンチ奪テ遁ル、ヘレ
 ン妃ハ當世第一ノ美人タリ○是ニ於テメ子レアス一呼シテ希臘ノ諸王悉ク武器チ執リ
 テ相會シメ子レアスノ弟アガムノンチ推シテ遠征總督トナシエジアン海チ渡テ不貞

ノ美人チ復セントス○此時小亞細亞ハ概子トロイト同盟シブライアムノ長子ヘクトル
 當時ノ驍勇ニシテトロイトノ大將タリ○後十年チ經テトロイト降服ス「イリアッド」ニ記ス
 ル所ハ此第十年ノ事ナリ

トロイ 戦記

(十五) 希臘人ノ最勇ニシテ且ツ最モ 威望アルアキルレスガアガムノンニ依テ怒ラサ
アレス レテ戦カラ戒ム、而シテ彼ノ不在ニ於テ希臘人ハヘクトルニ向ツテ一ノ敵手デアラヌ○ト
アレス ロイ人ハ彼等チ彼等ノ陣營ニマデ逐退ク(Drive...back)而シテ既ニ彼等ノ船舶ニ迄火チ掛ケ
アレス ツ、アル其時ニアキルレスガ彼レノ朋友パトロクラスニ迄彼レノ鎧チ與ヘ而シテ「マーミ
アレス ドン」ノ首領ニ於テ進撃ス可ク彼チ許ス○パトロクラスガ船舶カヲトロイト人チ逐反ヘス然
アレス レ「アポロ」神ガ彼レニ逆ツテアル而シテ彼レハヘクトルノ槍ノ下ニ斃レル○此レガア
アレス キルレスチ希臘ノ陣營ニ迄復ヘル可ク惹起コス而シテ彼レガ一闘(single combat)ニ於テヘ

クトルチ殺ス、然レハ彼レ躬カラハ「アポロ」ニ依テ向ケテラレタル矢ニ依テ殺サル、○終
 ニ双方ニ(both sides)於テ尤モ貴キ戰鬪者ガ斃レタトコロテ詭計アルユリッスセス人ニ依テ
アレス 計畫サレタル木馬ノ計畧ニ依テ都府ガ希臘人ニ依テ略取サル、○トロイトハ劍ニ迄委棄
アレス 計畧サレタル木馬ノ計畧ニ依テ都府ガ希臘人ニ依テ略取サル、○トロイトハ劍ニ迄委棄

セラル (is derived over) 而テ其レノ光榮ハ灰燼ニ於テ沈ム、

註* 此章末ノ註ヲ見ヨ

荷馬時
代ノ影

(十六) ヘルラス世界ノ盛時ノ最モ信スベキ寫影ハ余輩ニ迄「イリアット」及ヒ「オディッ
 ○セー」ナルホーマーノ詩ニ於テ保存サル、○其所ニ寫出サル、如ク社會ノ著明ナル形状
 ノ内ニ第一王政 (kingly government) ノ普及 ○第二都府ヲ越ヘテ種族即チ國民ノ管理
 然ルニ歴史時代ニ於テハ都府ガ邦國デアアル ○第三世襲貴族其レハ王ノ評議官ヲ組成ス
 ル所ノ世襲貴族ノ存在 ○第四議會會其レハ通報ヲ受ケ而シテ審判ヲ證ス可ク然
 レモ助言又ハ判定セメ可ク王ニ依ツテ召集サル、所ノ議會ノ存在 ○第五一夫數妻制ノ
 在ラザルコト而シテ高キ尊敬其レニ於テ婦女ガ保タル、所ノ高キ尊敬 ○第六各所ニ確
 定サレ而シテ正道デアアル可ク思考サレタル奴隸制度 ○第七諸種族及ビ國民ノ間ニ不斷ノ戰
 争而シテ他ノ者ヲ越ヘテ武徳ノ撰擇 ○第八強キ宗教上ノ感情、多神教ニ於テ及ビ運命ニ
 於テノ信仰、僧侶ノ身分ニ向ツテノ尊敬、殿堂及ビ祭時 (festival season) ノ格別ノ神聖ナルコ
 ガアル

外國ノ
影

(解) ヘルラス國盛時ノ最モ信スヘキ状態ニシテ今日ニ存在スル者ハ唯荷馬ノ詩「イ
 リアット」○「オディッセー」ノ兩篇ニアリ ○其詩ニ寫出タセル當時ノ著キ形勢ヲ擧レハ第一
 王政ノ普ク國中ニ行ハレシコト ○第二歴史ノ時代ニ在テハ都府ハ即チ國家ナリ ○然レモ當
 時ハ全ク之ニ反シ種族即チ州民ノ都府ヲ制御セシコト ○第三王ノ議官ト爲ル世襲貴族ノ
 存在セシコト ○第四一議會アリ王命ニ由テ集會シ通報ヲ受ケ審判ヲ檢ス然レモ意見ヲ述
 ヘ或ハ判決スルコトナカリシコト ○第五一夫數婦ノ俗ナクシテ大ニ婦人ヲ尊重セシコト ○第
 六奴隸制度各所ニ行ハレ人之ヲ正理ト認メシコト ○第七諸種族諸洲民ノ間戰爭絶ユル時
 ナク最モ武徳ヲ尙ヒシコト ○第八宗教ノ感情甚タ強ク多神教ト運命ヲ信仰シ僧侶ヲ尊敬
 シ特ニ神廟祭日ヲ神聖トシテ崇敬セシコト是ナリ

(十七) 希臘人ノ口碑ニ迄從ヘバ或ル重要ナル外國ノ原素ガ此最初ノ時代ノ間國民ニ迄
 受取ラレシ ○非尼士亞人ノ并ニ埃及人ノ殖民地ガ希臘ニ於テ爲サレシコトノ其レガ云ハル、
 ○學者ハ現今或ル斯様ノ殖民ガ爲サレシコトヲ疑フ、然レモ古ノ希臘人ハ彼等ガ希臘諸島ヲ
 越ヘテ蔓延ス可ク始メシ時ニ非尼士亞人其人ハ此時代ニ於テ地中海ノ海濱ニ居住スル所
 影

ノ最モ商業上^カ而シテ進歩スル國民デアリシ所ハ非尼士亞人ト觸接ニ於テ來リシ^トノ其レハ全ク確カデアアル○非尼士亞人ガラ希臘人ハ字母ヲ受ケシ○古ノ希臘人ハ古代ノ埃及ノ學問ノ源泉カラ汲ミシ^ト而シテ彼等ハ埃及人カラ技術及ビ理學ノ數者ノ彼等ノ最初ノ知識ヲ得シ^トノ其レガ又實ラシクアル兼テ埃及ノ宗教ノ組織ノ影響ガ分明ニ希臘ノ神教ニ於テ追求サレ能フ

(解) 希臘人ノ口傳ニ據レハ此古代ニ於テ希臘國民ハ外國ノ緊要ナル事物ヲ得タリ○或ハ云フ非尼士亞人及ヒ埃及人ハ孰レモ希臘ニ殖民セリト○近世ノ學者ハ此ノ如キ殖民ノ成立セシ^トヲ疑フト雖モ古代ノ希臘人カ希臘諸島ニ蔓延セシ時地中海ノ海濱ニ住シ當時己ニ盛シニ商業ヲ營ミ進取ノ氣力ニ富ミタル非尼士亞人ト交通セシ^トハ極メテ正確ナリ○故ニ希臘人ハ其字母ヲ非尼士亞人ヨリ得タリ○又上古ノ希臘人ハ古代ノ埃及ヨリ知識ノ源泉ヲ導キ且其技術及ビ理學ノ初歩ヲ得タルカ如シ而シテ希臘ノ神學ハ埃及及教法ノ影響ヲ蒙リシ^ト亦歴々トシテ徴スルヲ得ヘシ

希臘國有ノ文明

(十八) 然レモ概シテ (on the whole) ヘルラスノ文明ハ内國生長ノ (home growth) モノデア

リシ○彼等ガ採リシ所ノモノデスラモ彼等ハ彼等躬カラノ徵號ヲ以テ印セシ○其レヨリシテ希臘ノ人民ハ彼等躬カラニ向ツテ文明ノ其形態及ビ技術、政事、道德、及ビ宗教ノ趣意ニ於テ其等ノ思想其レハ彼等ノ特有ノ名聲ヲ與ヘタ所ノ其等ノ思想ヲ發育シタ可ク思考サレ子バナラヌ

(解) 然レモ之ヲ概論スレハヘルラスノ文明ハ國內ニ發達セシモノナリ○左レハ假令其外國ヨリ採用セシ者ト雖モ自國固有ノ形質ニ化セサル者ナシ○此故ニ希臘人民ハ自ラ文明ニ進歩シ技術、政治、道德及ヒ宗教上ノ思想ヲ開發シテ特ニ其名譽ヲ博シタル者ト思惟セサル可カラス

トロイニ於テノ註 時ノ回轉ニ於テトロイノ都府ハ多クノ學者ガ斯様ナル場所ノ存在デサヘモ疑フベク傾向サレタ^ト程左様ニ全ク消失シタ○然レモ近時ニ於テ新ナル光リガ日耳曼ノ學士ナルドクトア、スクリーマン其人ハ千八百六十九年乃至七十二年ニ於テトロイ^ト即チ「風勝チノトロイノ平原」ニ於テ穿索ノ連續ヲ爲セシ所ノドクトア、スクリーマ

ンノ搜索ニ因テ趣意ノ上ニ投セラレタ可ク見ユル○彼レハイリアム即チトロイノ都府チヒッサリリクト稱セラレタル近代ノ場所ト同一ニスル○多クノ趣味アル古物學上ノ遺物ガ穿索者其人ハ又彼レハ墟址ニ於テ「プライアムノ家」シアン」ノ門及ヒホーマーニ依テ記載サレタル種々ノ他ノ点ヲ同一ニシ能ヒシトノ彼レノ信用ヲ述フル所ノ穿索者ニ因テ發見サレシ○多クノ學者ハドクトア、スクリーマンノ總テノ説ヲ許容スベク用意サレヌ、然レモ總テガ彼レノ發見ハ大有益ノ者デアル而シテ「トロイノ神ノ物語」ノ新キ説明ヲ給スルヲチ一致スル

(解) トロイノ註 トロイ府ハ多年ノ星霜ヲ經テ遂ニ全ク殄滅ニ歸シ幾多ノ學士チシテ嘗テ此府ノ存在セシトチヌラ疑ハシムルニ至レリ○然レモ近世ニ至リ日耳曼ノ博士スクリーマン氏一千八百六十九年乃至七十三年ノ間トロイ即チ所謂「凄風颯々タルトロイノ平原」ニ於テ種々ノ探究ヲ爲シタルヲ以テ此府ノ存在更ニ明瞭チ加ヘタルカ如シ○氏ハ現今ヒッサリリクト稱スル地ヲ以テトロイ府ト爲セリ○且氏ハ數多ノ興味アル古物學上ノ遺蹟チ發見シ其墟址中所謂「プライアムノ家」シアン」ノ

門其他荷馬ノ詩ニ記載セル種々ノ場處チ指定スルチ得タリト言ヘリ○然レモ多クノ學士ハ悉クスクリーマンノ説ヲ採用セスト雖モ氏ノ發見タル効益極メテ大ニシテ且「トロイノ神話」ニ新奇ノ解説ヲ附與セシトハ孰レモ異議チ容ル、モノナシ

第二章 第一時代ノ歴史

CHAPTER II. HISTORY OF THE FIRST PERIOD.

第一 希臘史ノ原始

「ドリア」族ノ移住ヨリ波斯戰爭ノ始メマテ紀元前一千百年ヨリ同五百年ニ至ル

希臘ノ
年期ノ

(十九) 希臘ノ歴史ハ三ツノ時期ニ迄區分サレ得ル、第一「ドリア」族ノ移住カラ波斯戰爭ノ初メ迄(紀元前千百年乃至五百年)○第二波斯戰爭ノ初メカラ馬基頓ノ非立ニ依ツテ希臘ノ征服ニ迄(紀元前五百年乃至三百三十八年)○第三非立ニ依テ希臘ノ征服カラ羅馬ノ征服ニ迄(紀元前三百三十八年乃至百四十六年)

(解) 希臘史ハ分テ三期ト爲スヘシ○第一「ドリア」族ノ移住ヨリ波斯戰爭ノ初メニ至ル(紀元前一千百年ヨリ五百年マテ)○第二波斯戰爭ノ初メヨリ馬基頓王非立希臘ヲ征

移住ノ時代ノ

服スル時ニ至ル(紀元前五百年ヨリ三百三十八年マテ)○第三非立ノ征服ヨリ羅馬人希臘ヲ征服スル時ニ至ル(紀元前三百三十八年ヨリ百四十六年マテ)

(二十) 小説時代ノ希臘ノ朦朧タル曙光ヲ去リテ余輩ハ種族ノ其等ノ移轉其レハ終ニヘルラスノ其等ノ部分其レニ於テ余輩ガ正確ナル歴史ノ時ノ間ニ彼等ヲ發見スル所ノ其等ノ部分ニ於テヘルラス人ヲ定住スルニ於テ成就セシ所ノ其等ノ移轉ガ其所ニ起リシ(look place)時ノ時期ニ迄來ル○斯クシテ其所ニ紀元前千百年頃ニ「ドリリア」族其人ハ元來イータ山ノ南坂ニ於テ北方ノ地方ノ小片地(small patch)ニ於ケル不緊要ナル種族デアツタリシ所ノ「ドリリア」族ガ希臘ノ國事ニ於テ大ナル形態ヲ爲ス可ク始メシ一ツノ疑ヒガアラヌ可ク見ユル、何トナレハ南方ニ進行シテ彼等ハペロポン子サスニ於ケル「アキア」王國ヲ征服シテコニア即チラセディモンチ占領シ(look possession of)而シテ漸次ニ近傍ノ洲ノ最モ多クヲ服從セシ故ニ

(解) 朦朧タル小説ノ世既ニ去リテ諸種族移轉ノ事起リヘルラス人終ニ希臘ノ各地ニ一定ノ住居ヲ占領スルノ時期ニ到達ス而テ其住居ハ希臘正史ノ時代中終始變更スル

其他ノ移住ノ

ナシ○「ドリリア」族ハ原來イータ山ノ南坂ナル北部ノ一小地ニ住スル種族ニシテ其名世ニ著レスト雖凡紀元前千百年ノ頃漸ク盛大ト爲リ威ヲ希臘全國ニ震フ乃チ南伐シペロポン子サスノ「アキア」王國ヲ征服シテコニア即チラセディモンチ略取シ漸ク進テ隣國ノ過半ヲ服從ス

(廿一) ペロポン子サスノ「ドリリア」族ノ征服カラ(out of)ヘルラス世界ニ於テ他ノ大ナル變革ガ成就セシ○「アキア」族ハ半島ノ南及ビ東カラ驅逐サレテ「アイオニア」族ヲ逐ヒ出シテ北方ノ海岸ノ上ニ避ケン(fell back)○後者ハアッテイカニ於ケル同シ種族ノ彼等ノ仲間ノ許ニ逃避ヲ取リシ而シテ「アイオニア」族ハ中央希臘ニ於テ強盛ナル種族トナリシノミナラズ尙ホ又彼等躬カラエジアン海ニ於ケルシクレーツ島ノ過半ヲ越エテ蔓延セシ

(解) 「ドリリア」族ペロポン子サスヲ略シテヨリヘルラス國ニ大ナル變革ヲ生ス○「アキア」族ハ希臘ノ東南ヨリ驅逐セラレ更ニ北方ノ海濱ニ居住スル「アイオニア」族ヲ驅逐シテ其地ニ退ク○「アイオニア」族ハ遁レテアッテイカナル同人種ニ依リ遂ニ中央希臘ノ雄族ト爲リシノミナラス殆トエジアン海中ノシクレーツ諸島ニ蔓延ス

(二十二) 小亞細亞於テ希臘ノ殖民地ノ殖立ハ「ドリリア」族ノ征服カラ生ズルトコロノ一般ノ移轉ト關係シテ此古キ時期ノ他ノ重要ナル事變デアリシ○此等ノ殖民地ハ「エオリア」族、「アイオニア」族及ヒ「ドリリア」族ナル三種族ニ依ツテ爲サレシ○「エオリア」族ハ彼等躬カラチミシアノ海岸ニ沿テ而シテレスボス島ニ於テ定住セシ其所ニ彼等ハ十二ノ都府ノ聯合(「エーオリス」)ヲ形造リシ○「アイオニア」族ハ彼等躬カラチミシアノ海岸ニ於テ而シテチヤイオス及ヒセーモス(「アイオニア」)ノ島ニ於テ定住セシ而シテ甚ダ強大ナル聯合ニ迄成長セシ○「ドリリア」族ノ殖民地ハ小亞細亞ノ南西ノ隅角及ヒ近傍ノ島(「ドーリス」)ニ於テ殖エラレシ、然レモ彼等ハ「エオリア」族及ヒ殊ニ「アイオニア」族ノ殖民地其レハ希臘ノ歴史ニ於テ大ナル著明ノモノトナリシ所ハ「アイオニア」族ノ殖民地ヨリハ尙僅カ重要ノモノデアリシ

(解) 希臘人ノ小亞細亞ニ殖民セシハ「ドリリア」族ノ征服ヨリ生シタル諸種族移轉ノ事變ト相關係スル者ニシテ亦古代ノ一要件タリ○此殖民ヲ爲セシハ「エオリア」「アイオニア」「ドーリア」ノ三種族タリ○「エオリア」族ハミシア海ノ沿岸及ヒレスボス島ニ居住

シ此地ニ十二府ノ聯合ヲ創メ名ケテ「エーオリス」ト云フ○「アイオニア」族ハ呂底亞ノ海濱及ヒチアイオス、セーモス(即チ「アイオニア」)ノ二島ニ居住シ漸ク強大ノ聯合ト爲ル○「ドーリア」族ハ小亞細亞ノ西南隅及ヒ其近傍諸島(即チ「ドーリス」)ニ殖民ス然レモ之ヲ「エオリア」族ノ殖民ニ比スレハ稍ヤ微弱ニシテ「アイオニア」族ノ殖民ニ比スレハ殊ニ然リトス之ヲ要スルニ「アイオニア」族ノ殖民ハ希臘史中最モ著名ナリ

(廿三) 希臘人ニ依テ他ノ殖民地其レノ内デ最モ著名ナルハスレーズ及ヒ馬基頓ノ海岸ニ於テ、希臘ノ西ノ島嶼ニ於テ、シ、リ、リニ於テ、下伊太利ニ於テ(夫故ニマグナ、グレシア即チ大希臘ト稱セラレタルナリ)而シテ亞弗利加ノ北方ノ海岸ニ沿フテシリイ子即チシレナイカノ地方ニ於テノ其等デアリシ所ノ他ノ殖民地ガ爲サレシ○ヘルラスノ殖民地ノ若干ノ分營ガ黑海ノ海岸丈ケ其レ丈ケ遙カ東ニ植エラレシ而シテ一ツノ殖民地ガマッシリア現今ノマーセイイルニ於テ地中海ノ最遠ナル西方ノ部分ニ於テ興起セシ

七十二頁ニ對シタル地圖ヲ見ヨ

(解) 其他尙ホ希臘人ノ創設セル殖民地アリ就中其最モ著名ナル者ハスレーズト馬基

頓ノ海岸、希臘ノ西方諸島、シ、リ、島、下伊太利(下伊太利ナマグナ、グレシア即チ大希臘ト稱スルハ蓋シ是レニ因ル)及ヒ亞弗利加ノ北岸ニ沿フタルシリイ子地方ニ在ル者是ナリ○希臘殖民地中最モ遠キ者ハ東方黒海ノ濱ニ在ル者及ヒ西方ハ地中海ノ極西マツシリア即チ當今ノマーセイールニ開キタル殖民地是ナリ

(廿四) 産物及ビ氣候ニ於テ拔群ニ天然ニ依リテ惠マレタル而シテ航海及ヒ商賣ニ迄住民ヲ獎勵ス可キ如ク左様ニ置レタル國土ニ於テ左様ニ多クノ殖民地ノ設立ガヘルラス人種ノ文明ニ迄大ナル鼓舞ヲ與ヘシ而シテ其レノ迅速ナル進歩ノ大原因(Main cause)トシテ認メテ得ル

(解) 希臘人數多ノ殖民地ヲ諸國ニ開設セシカ孰レモ皆物産氣候ニ著キ天惠ヲ享ケ其位地航海貿易ノ業ヲ獎勵スルニ適スルヲ以テヘルラス人種ノ文明ニ一大刺衝ヲ起シ其進歩ノ迅速ナルハ主トシテ之ニ因ルナルハシ

(廿五) 次ギノ地圖ガ方サニ陳述サレタル人民ノ大ナル移轉ガ遂ゲラレタリシ時ノ時代ニ於テヘルラス種族ノ種々ノ代表者ノ配分ヲ示ス(云ヘラク紀元前大約千年ナリ)

諸殖民
地ノ結
果

地圖

二大族
ノ性質

(解) 下ニ掲ケタル地圖ハ以上記載シタル全民ノ大移轉既ニ其局ヲ了シタル時(大約紀元前一千年トス)ニ當リヘルラス種族各地分居ノ情況ヲ表ハス者ナリ

(廿六) 此時ニ於テ希臘ノ二個ノ主要ナル種族ハ「アイオニア」族及ビ「ドリリア」族デアリシ○此等ハ相互カラ著キ性質ニ依ツテ區別サレシ而シテ彼等ノ間ノ差違ガ希臘ノ政治ノ重要ナル形勢ヲ形作ル、其レハ彼等ノ全キ歴史ヲ通シテ走ル而シ「アイオニア」人種ノ代表者ナル雅典ト而シテ主要ナル「ドリリア」族ノ洲ナル士巴太トノ間ニ根深キ抵抗ノ重モナル原因デアリシ○「アイオニア」族ハ彼等ノ共和ノ精心ニ向ツテ著シクアリシ、彼等ハ爽快ニ、

輕佻ニ、商賣ニ委子ラレ、雅致アル遊樂ニ付テ好シデ、而シテ美術ニ迄熱中シテアリシ○「ドリリア」人種ハ其レノ風俗ノ極メテ質樸ナルコトニ向ツテ著シクサレシ、其レハ政府ノ貴族政體ヲ採擇セシ而シ其レノ最惡ノ形ニ於ケル奴隸制度ヲ執行セシ

(解) 此時ニ當リ「アイオニア」及ビ「ドリリア」ハ希臘ノ二大族タリ○然ルニ各々著ク其性質ヲ異ニシ其相異ナル所實ニ希臘政治上ノ一大情況ヲ醸出ス而テ其情況終始兩族ノ歴史ヲ貫徹シ「アイオニア」人種ノ代表者タル雅典人ト「ドリリア」人種ノ雄邦タル士

正史ノ
初メ

巴太ト互ニ相軋轢スルハ蓋シ亦此ニ基ク○「アイオニア」族ハ共和ノ精心ニ富ミ其性活潑輕浮ニシテ商業ヲ屬ミ雅遊ヲ好ミ美術ヲ愛ス○「ドリリア」族ハ之ニ反シ其風俗甚タ質朴ニシテ貴族政治ヲ貴ヒ奴隸制度ノ最モ酷ナル者ヲ施行ス

(廿七) 希臘ノ正史ナル歴史ハ紀元前七百七十六年第一「オリムピア」祭紀トシテ知ラレタル時期ヲ以テ始マル○此紀元ハ其連續スル年紀其レテ希臘人ガイリスニ近キ「オリムピア」ノ「ジュピター」ノ四年毎ノ祭日ニ於テ競走ニ於ケル勝利者ノ次第ニ依ツテ計算セシ所ハ其ノ連續スル年紀ノ始デアアル○第一ノ「オリムピア」祭紀ハ紀元前七百七十六年ノ仲夏ニ於テ始マリシ、第二ノ「オリムピア」祭紀ハ紀元前七百七十二年ノ仲夏ニ於テスル等「オリムピア」祭紀ハ每四年ニ回リ來ル所デ

(解) 希臘ノ正史ハ紀元前七百七十六年所謂第一「オリムピア」祭典ノ時期ヲ以テ始マル○此紀元ハ即チ連續タル年紀ノ始ニシテ希臘人ハ每四年イリスノ近郊ニ舉行セル「オリムピア」ノ「ジュピター」祭典ノ時競走會ニ勝利ヲ得タル者ノ名ヲ以テ其年紀ヲ數フ○第一ノ「オリムピア」祭紀ハ紀元前七百七十六年ノ仲夏ニ始マリ第二ノ「オリムピア」祭紀ハ紀元前七百七十二年ノ仲夏ニ始マリ爾後四年毎ニ之ヲ舉行ス

政治ノ
變革ノ

ア「祭紀ハ同七百七十二年ノ仲夏ニ始マリ爾後四年毎ニ之ヲ舉行ス
(廿八) 此時代ニ於テ希臘ヲ眺メル所デ(紀元前第八世紀ノ中央ヲ云フ)余輩ハ政府ノ性質ニ於テ重要ノ變革ガ起ツタリシ(Had taken place)トテ發見スル○其ノ「世界ノ幼時」其レテホーマーガ描畫スル所ノ其ノ「世界ノ幼時」ニ於ケル英雄時代ノ間諸種ノ希臘種族ハ王ノ配下ニアリシ、然レモ今政府ガ共和トナリタリシ而シテ余輩ハ小自由邦ニ於テ一所ニ聚メラレタル人民ヲ發見ス○(士巴太ハ邦其レハ尙ホ王ノ名ヲ保チシ所ノ單ナル邦アリシ)○實ニ各都府ガ其レ自ラノ小領地ヲ以テ獨立ノ共和政治ヲ形造リシ、而シテ其所ニ小國ノ此分レ出ツル「ガ」(parceling out)希臘ニ於テ政治學ノ迅速ナル發育ノ大原因デアリシト一ツノ疑ガアラヌ

(解) 此時代(紀元前第八世紀ノ中葉トス)ニ於ケル希臘ノ狀態ヲ觀察スルニ己ニ其政體ニ一大變革ヲ起セリ○是ヨリ先キ荷馬ノ稱シテ「幼稚ノ世界」ト唱ヘタル勇士ノ世ニ在テハ諸種族皆王ノ統轄ニ屬セシト雖モ是ニ至リ變シテ共和政治ト爲リ人民相集リテ自由ノ小邦ヲ爲セリ○(唯士巴太ノミ依然トシテ王名ヲ存ス)○各府孰レモ皆其小領地

ニ據リテ獨立ノ共和政治ヲ構成セリ蓋シ希臘政論ノ進歩迅速ヲ致セシハ主トシテ小國
分立ノ故ニ因ルヤ敢テ疑ヲ容レズ

ヘルラ
ス人ノ
一致

(廿九) 縦ヒ希臘人ハ政治上ニ分離サレシト雖、アタ 彼等ハ尙ホ或ル同國ノ感情ニ依テ結合サ
レシ○此レノ根元ハ彼等ガ惣テヘルラス人デアリシトノ覺感デアリシ、ボリチカルリ 而シテ此感情ハ
共有ノ國語、文學及ビ宗教ノ而シテ均シク惣テニ迄開カレシ所ノ教規、殿堂及ビ祭禮ノ所持
ニ依テ養成セラレシ○然レ、ボリチカルリ 各希臘人ノ第一ノ感情ハ彼レノ都府ニ向ツテアリシ而シテ其
所ニ土地トシテ希臘ニ向ツテ愛國心ノ感情ガ尙ホ稀レニアリシ○余輩ハ間モナク波斯ニ
依ツテ征服ノ切迫スル危險ニ逆ツテイサヘモ結合カ如何ニ不充分ニアリシ乎而シテ部分
ノ爭ノ如何ナル長キ連續ガ主要ナル諸州ノ間ニ行ハレシ(was carried on)乎ヲ見ルデアロフ
○終ニ(in the end)希臘人ガ合衆聯合ノ大ナル主義ヲ發見セシ、然レ、ボリチカルリ 此レガ彼等ノ歴史ノ
終末ニ近ヅク迄アラザリシ然ル時其レガ餘リ遅クアリシ

(解) 希臘人ハ政治上ニ於テ各々相分離セリト雖、ボリチカルリ 猶同國民タルノ感情ヲ抱キテ相結
合ス○而シテ其根柢スル所ハ他ナラス各自均クヘルラス族ナリト知覺スルニ在リ蓋シ

此感情ヲ養成スル所以ノ者ハ言語、文章、宗教ノ同一ナルト及ヒ教規、神廟、祭日ノ共同
ナルト是ナリ○然レ、ボリチカルリ 各人ノ第一ニ愛重スル所ハ己レノ市府ニシテ希臘全土ヲ愛重ス
ルノ感情ニ至テハ殆ントコレナシ○夫ノ波斯ノ大舉入寇ニ遭ヒ危急存亡ノ秋ニ際スル
モ尙且聯合微弱ナリシト諸大洲常ニ相爭鬪シテ止マサリシトハ後章ニ記スルカ如シ○
晩年ニ至リ合衆聯合ノ大主義ヲ知ルニ至リシト雖、ボリチカルリ 希臘滅亡ノ期己ニ逼リ又之ヲ如何
トモスルヲナシ

第二 士巴太及ヒ雅典ノ興起

(三十) 此篇ニ於テ余輩ハ二ツノ最モ重要ナル希臘ノ州即チ士巴太及ヒ雅典ノ歴史ヲ一覽
スル(Balance at)デアロフ、而シテ余輩ハ總テノ希臘ガ紀元前凡ソ五百年波斯人ニ逆ツテ結
合セシ時ノ年期マデ(down to) 彼等ノ歴史ヲ追跡スルデアロフ

(解) 此章ニ於テハ希臘ノ二大洲士巴太、雅典ノ史ヲ叙シ紀元前五百年頃希臘全國連
合シテ波斯人ニ抵抗スルノ時ニ至ル

(三十一) 正確ナル希臘史ノ首メニ於テ余輩ハ士巴太人ヲペロポソニ於テ強大國

論旨

士巴太

(dominant power)ト發見ス○彼等ハ其大ナル「ドリア」族ノ波流其レハ紀元前大約一千百年ニ希臘ノ南半島ヲ溢流シタリシ所ノ其大ナル「ドリア」族ノ波流ハ分部デアリシ「ドリア」族ハアーゴス、メスシニア及ビラコニア即チラセディモンナル三州ヲ設立セシ而シテ定住セシ、然レ其竟ニ(Hittite)士巴太人再言スレバラコニア即チラセディモンノ人民ガ他ノ州ヲ越エテ最上權ヲ得シ

(解) 希臘正史ノ始メニ當リ士巴太人大ニ威チペロポネ子サス州ニ震フ○其民ハ紀元前千百年ノ頃既ニ希臘半島ノ南部ニ蔓衍シタル「ドリア」族ノ一部タリ○「ドリア」族ハアーゴス、メッセニア、ラコニア即チラセディモンノ三州ニ殖民シテ之ニ住ス就中士巴太人即チラコニアノ民獨リ強盛ニシテ其勢竟ニ他州ヲ制馭スルニ至レリ

(三十二) 權威其レチ士巴太ガペロポネ子サスノ他州ヲ越エテ領收セシ所ハ權威ハ專ラ彼女ノ特別ノ制度其レチ口碑ガリカーガスト稱セラレタル立法官ニ迄販スル所ノ制度ニ迄原ツイテアリシ○此人物ニ付テ如何ナル事モガ知ラレヌ而シテ或人ハ爾ノミナラズ彼レノ存在ヲ否ンタ○然レ其リカーガスハ紀元前八百五十年頃即チ信據スベキ歴史

ガリカー

士巴太
特事ノ
原因

ノ始メノ前凡一百年ニ何所カニ存在シ爲セシテ而シテ彼レハ尙多ク分明ニ既ニ現存スル慣習及ビ規則ヲ説明シ而シテ確定セシテ其レガ信ズベクアル

(解) 士巴太ノ國勢能クペロポネ子サスノ諸州ニ冠絶シタル所以ハ主トシテ其法制ノ特異ナルニ因ル、口碑ニ據レハ此法ハリカーガスト稱スル立法官ノ制定スル所ト爲ス○此人傑ノ記傳世ニ傳ハラサルヲ以テ或ハ其世ニ在リシチ非トスル者アルニ至ル○然レ其紀元前八百五十年即チ正史ノ未タ起ラサル以前五十年頃此人アリテ古來ノ習慣制度ヲ解釋固定シタルヤ明ナリ

(三十三) 然レ其士巴太人ノ特別ノ制度ハ止ムヲ得ズ事情其レニ於テ彼等ガ生活セシ所ノ事情カラ發生セシ○ペロポネ子サスノ他ノ部分ニ於テハ「ドリア」族ノ勝者ガ土着ノ「アキア」族ト漸次混同セシ然レ其ラセディモンニ於テハ分離ガ持續サレシ○容易ニ服從セシ所ノ「アキア」族ノ斯様ナル者ハ縱ヒ或ル政事上ノ權利無シト雖其彼等ノ身體ノ自由ヲ保ツ可ク許サレシ、然レ其過半ノ部分ハ奴隸タルコトニ迄化セラレシ而シテ「ヘロツ」トシテ知ラレシ○士巴太ノ市人ガ斯様ニ奴隸及ビ臣屬ノ十倍ノ數ノ裡ニ貴族(リカーガ

出スルヨリハ寧口彼レノ臟腑ヲ猛出ス可ク(To tear out)其レヲ許セシ所ハ士巴太ノ少年ニ付
 テ聞ヒタ○女兒ガ男兒ノ其等ニ迄殆ント同様ナル體術(athletic exercises)ニ於テ然レ凡別ニ
 教育サレシ○此レガ剛勇ナル婦女其人ノ愛國心ノ影響ガ男ノ其レヲ扶持スル丁ニ於テ歷
 史上有名ノ事デアアル所ノ剛勇ナル婦人ノ種族ヲ成育セシ○「汝ノ精ヲ以テ又ハ其レノ上
 ニ販レ」ガ戰場(Field of battle)ニ向ツテ彼レノ出發ニ於テ彼女ノ子息ニ迄士巴太ノ母ノ訓誡
 デアリシ
 一シヤン

(解) 此制度ニ從ヘハ羸兒ハ皆棄テ、之ヲ殺シ其強壯ニシテ生存スル丁ヲ許サレシ者
 ノ内男兒ハ七歳ニシテ家ヲ辭シ公共ノ教育ヲ受ク○士巴太人ハ常ニ共同シテ生ヲ營ミ
 ○同一ノ食卓ニ就テ會食ス食料ハ各其田圃ノ穀菜ヲ醃シテ之レニ充ツル者ニシテ皆粗
 惡ナリ○專ラ體操武術ニ注意セシヲ以テ七歳ニシテ其教育ヲ始メ六十歳ニ至ラサレハ之
 ナ廢セス○且人々ヲノ飢渴寒暑ニ慣レ艱難ニ屈セラシム○又軍略秘計ヲ教ヘンカ爲メ
 ニ窃盜スル丁ヲ許ス、事若シ發覺スレハ之レニ嚴刑ヲ加フ○嘗テ一少年アリ狐ヲ盜ン
 テ外套ノ裡ニ隠シ臟腑ヲ割出サル、ニ至ルモ猶之ヲ露サスト是レ人口ニ膾炙スル所ナ

教育ノ結果

リ○女兒モ殆ト男兒ト均ク體術ヲ練習スト雖凡其教場ヲ異ニス○是ヲ以テ勇壯ノ婦人
 續々輩出シ其愛國心ニ因テ男子ノ愛國心ヲ獎勵扶助シタル丁史上ニ嘖々タリ○士巴太
 人ノ將ニ戰場ニ赴カントスルヤ其母常ニ訓戒シテ曰ク「汝ハ汝ノ精ヲ以テ凱旋セヨ否
 ラサレハ死シテ精ニ載セラレテ販レ」ト

(三二六) 士巴太ノ教育ハ勇者ヲ生セシ然レ凡其他何者ヲモ生ゼザリシ、其人民ハ文學及
 ビ技術其レニ向ツテ世界ガ希臘ニ迄負恩サル、所ノ文學及ビ技術ニ迄何モ助力セザリシ○
 演説ハ格別ノ輕蔑ニ於テ保モタレシ而シテ哲學ハ其ノ「賢語」(wise saws)其レノ約言ヲ余輩
 ハ尙ホ「ラコニツク」トシテ記スル所ノ其等ノ「賢語」ニ依テ代ラレシ○商賣ハ士巴太ノ市人
 ニ迄禁ゼラレシ而シテ鐵鏡ノミガ彼等ノ僅少ナル賣買取引ニ向ツテ許ルサレシ○美術
 ハ懦弱ニ迄誘導スルトシテ獎勵セラレザリシ○耕耘ノ勞ハ專ラヘロツツニ依
 テ行ハレシ(were carried on)○斯クシテスパルタ人ハ都府其所ニ彼等ハリカーガスノ規律ニ
 迄從フテ彼等ノ生活ヲ過ゴセシ所ノ都府ニ住居セシ然ルニ開化セシ生活ノ惣テ通常ノ業務
 ハ彼等ノ臣屬ニ迄委子ラレシ○此規律ガ疑ヒナク彼等ヲ剛勇ナル兵士ト爲セシ然レ凡人民
 チハムンツツ
 レフ
 イントレヒツド

トシテハ彼等ハ愚カニ、惠ミナク而シテ其等ノ殘忍ナル時ニ向ツテイスラモ殘忍デアリシ

(解) 士巴太ノ教育ハ獨リ軍士ヲ養成スルニ止リ希臘當時ノ文學技術ニ至テハ世界萬

國其恩波ヲ被ラサル者ナキモ士巴太人一モ與ツテカアル所ナシ○殊ニ演説ヲ賤ミ哲學

ニ代ユルニ「賢語」ヲ以テス「賢語」トハ世ニ所謂「ラコニク」ナル者ニシテ簡約ナル格

言ナリ○府民ノ商業ニ從事スルヲ禁シ唯鐵錢アリテ僅々タル賣買ノ媒介ニ供ス○美術

ハ人ヲ懦弱ナラシムル者トシテ棄テ、之ヲ顧ミス○耕耘ノ事業ハ專ラ「ヘロット」チシ

テ之ヲ職ラシム○斯ノ如ク士巴太人ハ常ニ市府ニ住居シテリカীগスノ法則ヲ遵奉シ

文明國通常ノ職業ハ舉ゲテ之ヲ僕隸ニ委任ス○此法ハ士巴太人チノ勇猛ナル軍人タラ

シメシト疑ナシト雖モ人民トシテ之ヲ觀察スレハ暗愚不仁ニ過キ暴虐ナル常時ニ在テ

スラ尙且殘刻ナルヲ免レス

士巴太
人ノ政體

(三十七)

士巴太ノ政體ハ特別デアリシ○邦國ノ首領ニ於テ二人ノ結合セシ王其レハ軍兵

ヲ指令セシ而ノ公同ノ供性ヲ掌リシ所ノ二人ノ結合セシ王ガアリシ○然レモ彼等ノ權

カハ屢々名ノミデアリシ而シテ常ニ議官ニ依テ而シテ惣テ士巴太人ノ議會ニ依テ牽制セラ

レシ○議會ガ年々「エフ・オ・アス」ト稱セラレタル五人ノ官吏其ハ通例ノ事トシテ惣テノ權

カヲ執行セシ所ノ五人ノ官吏ヲ撰擧セシ、其レ故ニ士巴太ハ實ニ王政ノ相貌ノ下ニ寡人共

和政治デアリシ

(解) 士巴太ノ政體ハ一種特異ナリ○上ニ二王アリ相共ニ軍隊ヲ總督シ公祭ヲ掌トル

○然レモ其權カハ往々有名無實ニシテ常ニ議官及ビ民會ノ制限スル所ト爲ル○民會ハ

毎年五名ノ官吏ヲ撰擧ス之ヲ「エフ・オ・アス」ト稱シ諸般ノ權力ヲ執行セシム故ニ其外形

ハ君主政治ニシテ其實ハ寡人共和政治タリ

(三十八) リカীগスノ制度ノ下ニ士巴太ハ侵略ノ武國トナリシ、彼女ハメッセニア人

ヲ征服セシ(紀元前七百四十二年ヨリ七百二十四年マデト而シテ六百八十五年ヨリ六百六

十八年マデトノ二戰ニ於テ)アーギヴズナル彼女ノ強カナル匹敵ヲ屈伏セシ(紀元前五百四

十七年)而シテ斯クシテ彼女躬カラテ「ドリア」聯邦ノ盟主ニ迄擧ゲシ○ペロポネ子

サスノ制馭スル國トナツタトコロデ士巴太ガ紀元前第六世紀ニ於テペロポネ子サス外ノ

希臘諸州ノ内國ノ事務ニ於テ干渉ノ權利ヲ占ムル可ク始メシ而シテ時其レニ於テ余輩

士巴太
ノ政體

ガ達シタ所ノ時ニ於テ惣テノ諸州カ波斯人ノ侵掠ニ逆ツテ彼等ノ兵ヲ結合ス可ク促カサレシ(were called upon)トノ其レガアラナンドリシ(ナラバ)彼女ハ結局惣テノ諸州ヲ彼女ノ支配ノ下ニ持來タシタデアロフトノ其レガ信スベクアル(何トナレバ)彼等ハ當時彼女ノ跋扈スツニイヲ非議ス可キ一ツノ有様ニ於テアラザリシ故ニ

(解) 士巴太ハリカイガスノ制度ニ因テ強盛ナル尙武國ト爲リメッセニア人ヲ征略シ(紀元前七百四十二年乃至七百二十四年及ビ六百八十五年乃至六百六十八年ノ二役ニ於テ)又強敵アーギウスヲ服從シテ(紀元前五百四十七年)一大強國ト爲リ遂ニ「ドリ」ア」聯邦ノ盟主ト爲ル○士巴太既ニペロポン子サスノ大權ヲ掌握シ紀元前第六世紀ニ至リ遂ニ進ンテペロポン子サス以外ナル希臘諸州ノ内政ニ干涉セントス然レモ當時能ク之ニ顔顔スル者ナキヲ以テ若シ(將ニ次章ニ於テ記載セントスル時代ニ當リ)波斯人ノ入寇ニ對シ諸州止ムヲ得ス其兵ヲ結合シテ之ヲ防禦スルノ事徴セハ必ス諸州ヲ服從スルニ至リシナラン

(三十九) 士巴太ノ興起ト並馳シテ他州其レハ民政ノ自由ヲ或ル他ノ希臘ノ州ヨリハ尙

雅典

遙カ推進メル可クノミナラズ尙ホ又惣テノ希臘ヲ越エテ智力ノ最上權ヲ主張ス可ク豫期サレシ所ノ他州ノ成長ガアリシ○此レハ雅典デアリシインテレクチュアル

希臘ノ眼ナル、技術及ビ雄辨ノ母ナル、有名ノ才智ニ迄ノ產地ナル雅典ヨアツキイト

(解) 士巴太ノ興起スルヤ之ト共ニ勃興シタル他ノ一州アリ嘗ニ民政自由ノ主義ヲ擴

張セシノミナラス其智力ノ卓絶ナルト希臘全國ニ冠タリ○是レ則チ雅典ナリ歌ニ曰ク
希臘 ぎりーきこくのまこととて
世名 よにもなだかきけんじんを
美術 びじゆつ
雄辨 ゆうべん
兼又 かねまた
産母 うみにしほ
雅 はあせん
典 ずぞ

古史

(四十) 雅典人ハ「アイオニア」人種其レノ内テ實ニ彼等ハ華デアリシ所ノ「アイオニア」人種ニ迄屬セシトノ其レガ知ラル、○雅典ノ創立ハ小説時代ニ迄溯ル(runs back)○最初ニ雅典人ハ他ノヘルラス人ノ如ク王ノ配下ニアリシ然レモ正確ナル雅典ノ歴史ガ始マルトノ時ニ依テ余輩ガ雅典人ハコドラスガ王ノ最後デアル所デ王ノ支配ノ下ニアル可ク止ンダリシトテ發見スル

(解) 雅典人ハ「アイオニア」人種ニ屬シ該人種中最モ絶倫ト爲ス○而テ其建國遠ク小

政府ノ性質

説ノ時代ニ在リ○國初ハ他ノヘルラス人ノ如ク帝王ノ治下ニ在リシト雖モ其正史ノ起ル時ニ至リ王政ヲ廢ス最後ノ王ヲコドラスト云フ

(四十一) 然レモ雅典ノ政務ハ此時ニ於テ惣テノ人民ニ依テニアラズ然モ獨リ貴族ノ特權アル階級ニ依テ扱ハレシ○斯クシテ縱ヒ共和政治ト雖モ雅典ハ此時ニ於テ民主政治デアラザリシ○王權(kingly power)ガ執政ノ官ニ迄場所ヲ讓ツタリシ、此レガ最初ニ王族(yal family)ニ迄限ラレ而シテ終身(For life)保タレシ、然ル後ニ其レガ十年間保タレ而シテ執政官ノ數ガ九員ニ迄増サレ而シテ在官ノ期限ガ一年ニ迄減セラレタ所デ終ニ貴族ノ全体ニ迄委任サレシ(Vas thrown open)○其所ニ又後日「アレオパガス」ト稱セラレタル元老院(Great mass)ガ政府ニ於テ何タル一ツノ參與ヲ有セザリシヲ見ル、而シテ寡人政府ガ彼等ノ特權ヲ濫用セシトノ其レガ其所ニ權力ガ一類(one class)ノ人ニ迄限ラル、所ニ通例起ル通り雅典ニ於テ起リシ

(解) 然レモ當時雅典國ノ政權ハ貴族中特權ヲ有スル者ノ掌握ニ皈シ廣ク衆庶ノ共議

ニ出ツルニ非ス○故ニ其政体共和政治ナレモ未タ民主政治ニハ非サリシナリ○而テ執政官一人代テ王權ヲ掌握シ其初ハ王族ヲ限テ終身之ニ任シ其後任期ヲ十年ト定メ終ニ貴族タル者ハ悉ク此官ニ任スルヲ得セシメ更ニ其定員ヲ九人ニ増加シ其任期ヲ一年ニ短縮ス○又「アレオパガス」ト稱スル元老院アリ是レ亦唯リ貴族ヲ以テ組織ス○是ヲ以テ衆庶ハ毫モ政治ニ干渉スル能ハス、凡ソ政權ノ一種族ニ皈スル所ニハ必ス寡人政府其特權ヲ濫用スルノ通弊アリ雅典ノ如キモ亦之ヲ免ル、能ハス

(四十二) 人民ノ不平ガ終ニドレーコト稱サレタル政事家ガ紀元前六百二十四年ニ於テ法律ノ成文律(written code)ヲ記ス可ク(to draw up)任命セラレシト程左様ニ重大ニナリシ○彼等ハ極端ノ嚴峻ナルトニ依テ著シクサレシ、何トナレバ彼レハ一様ニ惣テノ罪ニ迄一瀆神及ビ殺人ニ迄ヨリハ少ナカラズ些少ノ竊盜ニ迄モ死ノ罰ヲ附加セシ故ニ○此故ニドレーコノ法律ハ墨汁ニ於テナラズ然レモ血ニ於テ書セラレタ可ク云ハレシ、而シテ余輩ハ彼レガ此至極ノ刻薄ナルトナリ「小罪ハ死ニ相當セシト而シテ彼レハ大ナル者ニ向ツテ一ツノ尙嚴峻ナル刑罰ヲ知ラザリシトナリ」云フトニ依テ辨解セシトナリ告ゲ

コトノ法律

ラル、

註* スミス氏ノ希臘史〔ヨリ〕

(解) 既ニシテ人民ノ不滿漸ク增長シ遂ニ紀元前六百二十四年ドレーコト稱スル政治家ニ任命シテ成文法典ヲ記定セシム○其法律極メテ峻嚴ナルヲ以テ著ハル何トナレハ苟モ罪ヲ犯シタル者ハ其輕重ヲ論セス擧テ之テ死刑ニ處シ竊盜ヲ罰スルニ瀆神、殺人ヲ罰スルト毫モ異ナラサレハナリ○故ニドレーコノ法律ハ書スルニ墨ヲ以テセスシテ血ヲ以テセリト云フニ至ル、聞クドレーコ嘗テ其法ノ嚴酷ナルヲ辨解シテ曰ク「小罪猶且死刑ニ當ル只大罪ヲ罰スヘキ嚴刑アルヲ知ラス」ト

革命

(四十二)

ドレーコノ立法が普及ノ不平ヲ鎮定ス可ク誤リシ貴族政治ノ傲慢ナル行爲ガ人民ノ暴發ニ迄導キシ而シテ其所ニ無政ノ有様其レカラ紀元前第六世紀ノ首メニ於テ雅典人ガソロンニ依テ救濟セラレシ所ノ無政ノ有様ガ來リシ○ソロンガ執政ノ一員ニ擧サレタリシ而シテ紀元前五百九十四年雅典ノ憲法ヲ改定ス可ク委任サレシ○好結果ナル方法其レニ於テ彼レガ此役務ヲ遂ゲシ所ノ好結果ナル方法ガ彼レノ生國(Native country)ノ幸福

ノ基礎ヲ置キシ

(解)

ドレーコノ法度ハ以テ人民ノ不平ヲ治ムル能ハス貴族政治愈々專横ヲ極メ終ニ民心ヲシテ破裂セシムルニ至リ一時無政ノ境ニ陥ル然ルニ紀元前第六世紀ノ初メソロン出テ、其亂ヲ救フ○ソロンハ執政官ノ一人ニ撰ハレ紀元前五百九十四年雅典憲法改正ノ任ヲ受ケ○善ク其業ヲ成シ大ニ國家幸福ノ基礎ヲ開ク

ソロンノ法律

(四十四)

ソロンノ憲法ノ主タル目的ハ壓制ナル貴族政治ヲ廢止ス可ク而シテ其レニ向ツテ中和ノ政府其レハ惣テノ雅典ノ市人ヲ權力ノ參與ニ迄許ルス然レトモヨリ高キ等級ニ迄重キ勢カヲ與フルデアロウ所、中和ノ政府ヲ代用スル可クアリシ○ソロンノ立法ハ大ナル政事上ノ賢明ニ依テ著シクサレシ而シテ其レノ下ニ雅典ガ繁榮ニ於テ速カナル進歩ヲ爲セシ、然レ其レハ彼レノ同時人ヲ満足サセルトカラ遙カデアリシ○最多ノ中和ナル政事家ノ如ク彼レハ一方ニ依テハ過度ニ(Too far)進ムトニ付テ而シテ他ニ依テハ充分急進ニアラヌトニ付テ非難サレシ

(解)

ソロン憲法ノ主眼ハ壓制ナル貴族政治ヲ廢シ之ニ代フルニ中和ノ政治ヲ以テス

ルニ在リ故ニ府民ヲノ悉ク參政ノ權ヲ得セシムト雖モ又貴族ニ與フルニ特權ヲ以テス
○其法度大ニ政略ノ宜ニ適ヒ府民爲メニ嚴々トノ繁榮ニ赴クヲ得タリ然レモ未タ以テ
時人ヲ満足セシムルニ足ラス○是ヲ以テソロンモ亦世ノ中和主義ヲ執ル政事家ノ如ク
或ハ其急進ニ過クルヲ以テ誹ラレ或ハ其保守ニ過クル以テ責ラル

(四十五)

結果ハ黨與ノ爭鬪其ハピシストラタスト稱セラレタル首領其人ハ總裁官或ハ希
臘人ガ其レヲ稱セシ通り「タイラント」ノ位置ヲ取リシ(紀元前五百六十年)所ハ首領ニ依テ
權力ノ略取ニ於テ終リシ所ハ黨與ノ爭鬪デ有シ、然モ語其ハ必ズシモ權力ヲ濫用セシ所ノ
者ナラズ單ニ權力ヲ篡奪セシ所ノ者ヲ表セシ所ハ語ナリ○其所ニソロンノ憲法ガピシスト
ラタスノ下ニ廢止セラレシヲ信ズ可キ一ツノ理由ガアラヌ、○雅典ハ縱ヒ總裁官ノ下ト
雖モ其レノ共和ノ政府ヲ樂シム可ク續キシ○ピシストラタスハ温和ニ支配セシ、技術ヲ獎
勵セシ而シテホームナ出版セシ而シテ爾ノミナラズ彼レノ權力ヲ彼レノ子息ニ迄傳ルルニ
於テ成就セシ、然レモ紀元前五百十年此温和ナル篡奪ノ半世紀後ニピシストラタスノ家族
ガ放逐サレシ

ピシストラタス

(解)

是ヨリシテ遂ニ黨派ノ爭鬪ヲ來タシピシストラタスト稱スル首領遂ニ政權ヲ篡
奪スルニ至リテ騷擾漸ク止ム、ピシストラタス紀元前五百六十年ヲ以テ總裁官即チ希
臘人ノ所謂「タイラント」ノ位ヲ占ム蓋シ「タイラント」(按虐政家)ノ義ハ必スシモ方今
ノ如ク政權ヲ濫用スル者ヲ謂フニ非スシテ唯政權ヲ篡奪スル者ヲ云ナリ○然レモ當時
ソロンノ憲法ヲ廢シタリト信スヘキ理由一モ之アルナシ○故ニ雅典人ハ假令總裁官
ノ治下ニ居ルト雖モ依然トシテ共和政治ノ惠ニ浴セリ○ピシストラタスノ政治寛和ニ
シテ技術ヲ獎勵シ荷馬ノ詩集ヲ出版シ且政權ヲ數子ニ傳フルヲ得タリ然レモ後五十年
ヲ經テ紀元前五百十年ピシストラタスノ一族故アリテ追放セララル

(四十六)

クリスセニスト稱バレタル貴族ガ今權力ニ迄登リシ○彼レハ人民ノ味方ヲ抱擁
セシ總テノ自由ノ住民ニ迄選舉權ヲ與ヘシ而シテ憲法ニ迄政治上ノ改良其レニ迄雅典ノ
偉大ナルノ甚タ多クガ販スベクアル所ノ政事上ノ改良ヲ挿入セシ○新キ憲法ノ下ニ
州ガ純正ノ民主政治デアリシ而シテ自由及ビ同等ノ確定ガ愛國ノ氣象ニ迄大刺聲ヲ與ヘシ
○結果ハ雅典ガ速カニ中央希臘ノ重大ノ州デアアルベク興起セシデアリシ

クリスセニストノ改良

(解) 是ニ至リクリスセニスト稱スル一貴族政權ヲ掌握ス○クリスセニス人民ニ黨シ自由ノ民ニ與フルニ撰擧權ヲ以テシ大ニ憲法ヲ改定シ國運因テ以テ隆盛ニ趣クヲ得タリ○新憲法出テ、純然タル民主政治ト爲リ自由同等確立シテ大ニ愛國ノ精心ヲ發起ス○是ヨリシテ雅典頓ニ中央希臘ノ強州大トナル

新軍紀

(四十七) 時期其レニ於テ余輩ガ今達シタ所ノ時期ニ於テ(紀元前第五世紀ノ首メ)希臘ハ形態其レテ彼女ガ彼女ノ歴史ノ最モ盛大ナル時ノ間着クル可クアリシ所ノ形態ヲ被ムリタリシ(had put on)○此時ニ於テヘルラスノ歴史ニ於ケル新ナル年紀ガ始マル○希臘人ハ大ナル外國ノ入寇ノ患難ニ堪ユル可ク持チシ○希臘ニ於テ像イデアトラレタル歐羅巴ガ波斯ニ依テ代表サレタル老亞細亞ニ出會ス可クアリシ而シテヘルラスノ子孫ガ爭鬪カラ強ク而シテ高尚ニサレテ出テ來ル可クアリシエニノブルド

(解) 此ニ至リ(紀元前第五世ノ初)希臘己ニ極盛ノ端緒ヲ開キ○更ニ歴史ノ新年紀始マル○而シテ今ヤ將ニ外國ノ一大侵入ヲ受クヘキ時機ニ際シ○希臘人ハ歐洲ヲ代表シテ亞細亞ノ代表者タル波斯ト會戰シヘルラスノ子孫苦戰ノ中ニ強健且高尚トナラント

スルノ機運ニ迫レリ

第三章 第二時代ノ歴史

CHAPTER III. HISTORY OF THE SECOND PERIOD.

波斯戰爭ノ首メカラケロニアニ於テ馬基頓ノ非立ノ勝利迄紀元前五百年ヨリ三百三十八ニ至ル

第一 波斯ノ侵寇

波斯ノ關係

(四十八) 余輩ハ既ニ如何ニシテサイラスニ依テ建立サレタル而シテカムビセスニ依テ擴張サレタル大ナル東方ノ王國ガダリアス其人ハ紀元前五百二十一年波斯ノ王トナリシ所ノダリアスニ依テ固コンソリデータード定サレシ乎ヲ見タ○サイラスノ征服ノ中ニ小亞細亞ニ於ケルリディアノ王國ガアリシ○今リディアノ波斯征服ノ恰度前ニクリーサスナル其國ノ王ガ小亞細亞ノ海岸ニ於ル希臘ノ都府ヲ彼レ自分ノ支配ノ下ニ降ストニ於テ成就シタリシ其レ故ニ彼等ガ又波斯ニ迄從屬トナリシ

(解) 波斯ハ東洋ノ大帝國ニシテ居魯士之ヲ創立シ堪比亞之ヲ擴張シ尋テ紀元前五百

アイオニアノ叛

二十一年大流士王位ニ登リ愈々之ヲ鞏固ニセシテハ前編己ニ之ヲ記セリ○居魯士ノ四方ヲ征服スルヤ小亞細亞ノ王國呂底亞ヲ討平ス○是ヨリ先キ小亞細亞ノ海濱ナル希臘ノ市府呂底亞王クリーサズノ爲ニ服從セラル是ニ於テ市府亦共ニ波斯ニ屬ス

(四十九) アイオニアノ都府ハ爭鬪無シニ服從シ爲サ、リシ而シテ或ル時ノ後其所ニ紀元前五百年此等ノ都府ノ一般ノ叛逆ガ繼ギシ○雅典人ガアイオニアニ於ケル彼等ノ同胞テ助ク可ク些少ノ軍勢ヲ以テ二十ノ舟ヲ送遣セシ○上陸ガ小亞細亞ノ海岸ニ於テ爲サレシ而シテ紀元前四百九十九年リディアノ首府ナルサーデイスガ掠奪サレ而シテ不意ニ燒カレシ

(解) 然レモアイオニアノ市府肯テ從ハス暫シシテ皆波斯ニ叛ク時ニ紀元前五百年トス○雅典人其同族タルアイオニアヲ救ハント欲シ軍艦二十艘ト陸兵一隊ヲ發遣ス○其兵小亞細亞ノ海岸ニ上陸シ馬太ノ首府サーデイスヲ降シテ火ヲ放ツ(紀元前四百九十九年)

大流士ニ及ホシタル感動

(五十) 此突出ガ只ニアイオニアノ都府ノ上ニダリアスノ忿怒ヲ引下スト(Drawing down)ノ効驗ヲ有セシ而シテ謀叛ガ速カニ鎮定サレシ(紀元前四百九十四年)○波斯ノ王ガ次キニ

雅典人ヲ懲罰ス可ク決心セシ○サーデイスノ燒ケルトノ報知ガダリアスニ迄廣ラサレシ時ニ彼レハ彼レノ弓ニ向ツテ喚ビシ而シテ雅典人ノ上ニ彼レ躬カラ報讐ス可ク助力ニ向ツテ「オーラマズダ」ニ迄祈禱ヲ以テ天空ノ方ニ矢ヲ放チシ○然ル後ニ彼レハ彼レノ從僕ノ一人ニ彼レガ食ニ迄坐セシ(sat down)時ニ日々ニ度彼レニ迄「主公ヨ雅典人ヲ記憶セヨ」ナル語ヲ誦ス(可ク)命セシ

(解) 此叛乱タル徒ラニ大流士ノ憤怒ヲ惹クニ止マリ幾クモナク討平セラル(紀元前四百九十四年)○是ニ至リ大流士意ヲ決シテ更ニ雅典人ヲ懲罰セントス○會々サーデイス府燒滅ノ報ヲ聞クヤ王直ニ弓ヲ呼ヒ天ヲ射テ復仇ヲ得ントテ陽神ニ祈ル○且一日三タヒ食スル毎ニ待臣ヲシテ呼ハシメテ曰ク「王雅典人ヲ忘ル、莫レ」ト

(五十一) 彼レノ目的ノ施行ニ於テダリアスガマードニアスナル彼レノ婿ニ雅典人ニ逆ツテ軍勢ヲ進メル可ク委任セシ○軍勢ガスレーヌヲ通シテ馬基頓其レハ速カニ服從サレシ所ノ馬基頓ニ迄テ進ミシ然レモ尙遙カニ行クノ其レガ能スベクアラザリシ、而シテ應援ス可ク送遣サレタリシ所ノ艦隊ガマウント、エーゾスノ半島ヲ離レテ大ナル暴風ニ依テ

第一ノ進軍

破壞サレシ其レ故ニ紀元前四百九十二年マードニアスハ不面目ニ於テ小亞細亞ニ迄還リシ

(解) 大流士其志ヲ達セント欲シ先ツ其婿マードニアスヲシテ軍ヲ帥ヒ雅典ヲ撃タシム○其軍スレースヨリ進ンテ立ドコロニ馬基頓ヲ降ス然レモ其ヨリ復進ムヲ得ス會艦隊ノ援軍マウント、エーゾスノ近海ニ於テ颶風ノ爲メニ破壊セラルマードニアス意ヲ失シテ軍ヲ小亞細亞ニ旋ス時ニ紀元前四百九十二年ナリ

更ニ爲
ス備

(五十二) 此失敗ガ只ダリアスノ決意ニ迄憤怒ヲ添加セシ○希臘ノ征伐ニ向ツテ彼レノ準備ヲ推進メツ、アル (pushing forward) 間ニ彼レハ主タル希臘ノ都府ニ迄彼等ノ正當ノ君主ヲ彼レノアルノ證據トシテ土及ビ水ノ貢納ヲ要求ス可ク使者ヲ送遣セシ○島ノ邦國ハ一般ニ彼等ノ服從ヲ爲セシ其通り又大陸ノ邦國ノ多クカ爲セシ而シテ西方ノ幼稚ノ開化ガ東方ノ專制ニ依テ壓倒セララル可クアリシノ其レガ見エシ○然レモヘルラスノ天稟カ邦國ノ二個ニ於テ貴ムヘキ勇者ヲ發見セシ、何トナレバ雅典ト而シテ士巴太カ奮然ト要求ヲ拒絶セシ而シテ彼等ノ連合カ彼等ノ後ニ小國 (Asser states) ノ大半ヲ防禦ノ同盟ニ於テ引キ

シ故ニ

(解) 軍事己ニ失敗シテ大流士ノ激心益々熾盛ヲ加ヘ○愈々軍備ヲ修メ且使テ希臘ノ諸大府ニ遣ハシ水土ヲ献シテ大流士ヲ君主ト仰クノ意ヲ證セシム○是ニ於テ島嶼諸州皆其要求ニ應シ本土諸州亦多ク之ニ從ヒ西洋幼稚ノ文明殆ト東洋專制國ノ爲ニ覆滅セントスルノ勢アリ○然レモヘルラス人種天賦ノ勇氣ニ大州ニ顯レ雅典士巴太ノ二國憤然トシテ其使ヲ拒絕シ且小邦ヲ糾合シテ同盟防禦ニ從事ス

希臘ノ
征伐

(五十三) 其レガ希臘ニ向ツテ結合サル、可キ時デアリシ何トナレバ紀元前四百九十年ノ春ニ於テダリアスノ準備ガ整フテアリシ故ニ○莫大ナル軍勢ガダテイスト稱セラレタル將帥ノ下ニセーモスカヲ途次ニ於テシクレイデイス島ヲ降シツ、エジアン海ヲ横ギリテ六百艘ノ三列橈船ニ於テ出帆セシ而シテユーピアノ島ニ於ケルエレトリアヲ奪取スルノ後アッティカノ東岸ニ於ケルマラソンノ灣ニ於テ上陸ヲ爲セシ○波斯人ハ今雅典ニ於テ進ム可ク用意セシ

(解) 紀元前四百九十年ノ春大流士ノ戰備己ニ整フ宜ク希臘諸州ノ一致聯合スヘキノ

秋ナリ○波斯ノ大將ダテイス大軍ヲ帥ヒセーモス島ヨリ小艦六百艘ヲ以テエジアン海
ヲ航シ行クシクレーディス島ヲ降シユーピア島ノエレトリアヲ畧シアッティカノ東岸マ
テソン灣ニ上陸シ○此ニ兵ヲ按シテ將ニ雅典ニ進マントス

マラ
ンノ
戦
結
果

(五十四) 然レ此レハ争鬪無シニ有ル可クアラザリシ而シテマラソンノ平原ガ歴史ニ於
テ尤モ緊要ニシテ且ツ記憶スベキ者ノ一ツナル戦鬪ノ場所デアリシ○其所ニ山ト而シテ海
ノ間ニプラティアカラ六百人ニ依テノ外援ケラレサル然レ此レミルタイアデスノ才智ニ依テ
率ヒラレタル而シテ充分ノ愛國ノ勇氣ニ依テ感動サレタル一万人ノ僅少ナル雅典ノ軍兵ガ其
數十倍ノ波斯軍ニ出會セシ而シテ其レヲ破リシ、紀元前四百九十年九月ナリ

(解) 然レ此レ波斯豈戰ハスシテ雅典ニ入ルヲ得ヘケンヤ而テマラソンノ平原ハ兩軍
交戦ノ地タリ是ヲ史上關係最モ大ニシテ且記憶スヘキ戦鬪ト爲ス○此時雅典ノ兵僅ニ
一萬人山海相迫ルノ峽道ニ陣ス之ヲ援クル者六百ノプラティア兵アルニ過キス然レ此
其兵勇壯ニシテ愛國心ニ富ミ加ルニ饒將ミルタイアデス之ヲ指揮セシテ以テ十倍ノ波
斯軍ニ當リ大ニ之ヲ破ル實ニ紀元前四百九十年九月ナリ

結
果

(五十五) 波斯王ハ直チニ希臘人ト抗敵ヲ新タニス可ク能シテアラザリシ何トナレバ他
ノ事務ガ彼レノ注意ヲ惹キシ故ニ、而シテダリアスガ終ニ彼レノ目的ヲ再擧ス可ク彼レ躬
カラチ自由ニ發見セシ時ニ紀元前四百八十五年ニ彼レハ死亡ニ依テ斷タレシ (was out of)
○ザークセズナル彼レノ子息ガ王位ニ迄嗣ギシ而シテ迅速ニ勞ヲ執リシ○結果ハマラソ
ンノ戦後十年ニ爲サレタル他ノ而シテ遙カ尙多ク恐ルベキ侵入デアリシ

(解) 當時波斯王會々多事ニシテ未タ希臘ト再戦スルニ暇アラス後將ニ其志ヲ果サン
トスルニ臨ミ俄ニ死ス時ニ紀元前四百八十五年ナリ○其子ザークセズ位ヲ繼キ父ノ遺
志ヲ奉シ○マラソン戦争ノ後十年再ヒ希臘ヲ攻ム其勢更ニ猛烈ナリ

(五十六) 十年ノ此間隙ノ間ニ雅典人ハ怠惰ニアラザリシ○此時ニ於テ雅典ニ於テ首領ノ
人ハセミストクルス及ビアリストアイデスデアリシ○アリストアイデスハ純粹ノ愛國者デアリ
シ然レ此レ彼レハ頑固ニ而シテ執拗ニ思考サレシ○之レニ反シテ (on the other hand) セ
ミストクルスハ俗陋ナル政事家デアリシ、彼レハ波斯人ニ依テ侵寇ノ再擧ニ逆ツ準備スル
トニ迄雅典人ガ彼等ノ氣力ヲ傾クルデアロウトト而シテ殊ニ海軍ガ造爲サル、デアロウ

雅
典
ニ
於
ケ
ル
事
件

トテ屬マセシ、アリスタイデスハ此政畧ニ抗抵セシ○此等ノ二首領ノ間ニ其所ニ久シキ
 競争ガアリシ、然レモ終ニアリスタイデスガ放逐サレシ (ostracized)* ○セミストクルスノ
 活潑ナル勸言ノ下ニ雅典人ガ切迫セル戦闘ニ向ツテ準備スルコトニ迄而シテ殊ニ三列撓船
 ノ大艦隊ヲ築造スルコトニ迄彼等ノ氣力ヲ傾ケシ○然ル時ニ征伐ニ向テ準備ノ聲ガ惣テ亞
 細亞ヲ通シテ響キシ故ニ雅典及ビ士巴太ニ依テ招集サレタル希臘諸州ノ惣會議 (general co-
 ngress)ガコリンスノ地峽ニ於テ開設サレシ○縱ヒ諸州ノ數者ハ恐怖ニ依テ躊躇セシ (stayed
 away)ト雖モ尙ホ此レハ眞實ノ國會 (national meeting)デアリシ、而シテ士巴太ガ波斯ニ逆
 ツテ同盟ノ盟主デアルデアロウコトノ其レガ議決セラレシ

(解) 雅典人モ亦空ク此十年間ヲ經過セス○當時雅典ニ二傑士アリ一チセミストクル
 ス一チアリスタイデスト云フ○アリスタイデス誠意國ヲ愛ス然レモ爲人執拗ニ人言
 ナ容レズ○セミストクルスハ之ニ異ナリ鋭敏ニシテ政事ニ通曉シ國人ヲ鼓舞シテ波斯
 人ノ再襲ニ備ヘシメ特ニ心ヲ海軍ノ設置ニ用ユ而テアリスタイデス此政畧ニ抗シ○兩
 雄隙ヲ構ヘ久ク相軌轢ス然レモアリスタイデス終ニ貝殼彈劾法ヲ以テ流刑ニ處セラレ

○是ニ於テ雅典人セミストクルスノ黨議ヲ奉シ銳意戰備ヲ整ヘ殊ニ三列撓船ヲ以テ一
 大艦隊ヲ編制ス○既ニノ波斯人希臘ヲ攻撃スルノ準備完ク成ルノ風説亞細亞諸州ニ聞
 ヘ雅典士巴太ノ兩國希臘列邦ノ代議士ヲ招集シテ會議ヲコリンス地峽ニ開ク○或ハ
 敵ノ勢ヲ恐レテ會セザル者數州アリト雖モ誠ニ希臘全國ノ會議タルニ背カス、此會士
 巴太ヲ推シテ防戰同盟ノ長ト爲サンコトヲ議決ス

貝殼彈劾 (Ostracism)ノ制ハ雅典人ガ嫌惡スベキ官人 (public men)ヲ除ク (getting
 rid of)ノ目的ニ向ツテ工夫シタリシ所ノ方法デアリシ而シテ或ル關係ニ於テ甚良法
 デアリシ何トナレバ其レガ競争スル政事家ノ間ノ終リナキ爭ヲ止メシ故ニ○其レガ
 其レノ刑罰ニ向ツテ投票スルコトニ於テ市人ガ貝殼 (ostracism)ノ上ニ非難スベキ人ノ名
 ナ書セシコトノ事實カラ其レノ名稱ヲ導キシ而シテ若シモ其所ニ彼レノ放逐ニ向ツテ投
 票ノ過半數ガアリシナラバ彼レハ十年間放逐サレシ○アリスタイデス及ビセミストクル
 スノ間ノ爭ガ終ニ雅典人ガ結局アリスタイデスヲ放逐ス可ク投票セシコト程左様ニ鋭ク

ナリシ○投票セシ所ノ其等ノ裏ニ必定 (No Doubt) 多ク其人ノ敵視ハアリスタイデス其人ハ「正直」トノ知ラレシ所ノアリスタイデスノ嚴格ナル端正ニ依テ惹キ起サレタリシ所ノ多クガアリシ○貝殼彈劾ノ票ガ取ラレツ、アリシ時ニアリスタイデスヲ識ラヌ所ノ文盲ノ市人ガ貝殼ノ上ニ彼レニ向ツテ書ス可ク彼レニ乞ヒシトノ譚ガ事情ニ迄眞デアル○「而シテ如何ナル名ヲ余ガ書スルデアロウ乎」○アリスタイデス○「而シテ請フ如何ナル惡事ナアリスタイデスガ汝ニ爲シタカ乎」○「オー、何ニモ無シ、然レモ余ハ常ニ正直ト稱セラレタル彼レヲ聞クトニ付テ倦テアル」

(解) 貝殼彈劾法ハ雅典人其悅ハサル所ノ官吏ヲ退黜セントスル時ニ用ヒシ者ニシテ時ニ或ハ良法タルアリ何トナレハ政事家久ク相軋轢シテ止マサル時ニ當リ之ヲ遮遏スルヲ得レハナリ○其法市民己レノ嫌惡スル人ヲ罰セントスル時其名ヲ貝殼 (即チ蠣殼) ニ書シ之ヲ一處ニ投ス故ニ此名アリ而シテ其投票多數ナル時ハ其人十年間追放セラル、チ例ト爲ス○此時アリスタイデストセミストクリスノ爭議甚タ激裂ト爲リ遂ニ雅典人ナシテ貝殼彈劾法ヲ用ヒテアリスタイデスヲ追放セシム○其投票者多クハアリ

ザイデスノ
侵入ノ
始

スタイデスノ嚴正ニ過クルヲ惡ミシヤ蓋シ疑ヲ容レサル者ニシテ人常ニアリスタイデスヲ呼ンテ正人ト稱スト云フ○傳ヘ曰フ此時不文ノ一市人アリ其アリスタイデスタルヲ知ラス進ンテ貝殼ニ記載センヲ請フ○アリスタイデス問テ曰ク誰ノ名ヲ記セン○對ヘテ曰クアリスタイデスト○又問フ彼レ汝ニ何等ノ惡事ヲ爲スヤト○曰ク否然レモ余ハ常ニ其正人ト呼ハル、チ聽クヲ厭フノミト

(五十七) 彼レノ廣キ領地ノ各部カラザークセズガサーデイスニ於テ斯様ナル軍勢其レハ嘗テ以前ニ見ラレナンドリシ所ノ斯様ナル軍勢ヲ聚メシ○其レヲ歐羅巴ニ迄移ストニ向ツテ彼レハハレスポント其所ニ其ガ廣サ一哩デアル所ハハレスポントヲ横ギリテ小舟ノ二重ノ橋ヲ築造サル可ク起セシ、而シテ紀元前四百八十年ニ於テ大軍 (vast host) ガ (ヘロドタスハ其レチ二百五十万ノ戰士及ビ船ノ水夫ニ於テ置ク) 通行ヲ爲ス可ク七晝夜 (seven days and nights) チ取リツ、二列ニ於テ橋ヲ渡リシ○千二百艘ノ三列撓船 (各ガ二百ノ漕手及ビ三十ノ戰士ニ依テ乘込マレタリ) 及ビ數多ノ尙小ナル船カラ成立スルトコロノ大艦隊ガ其レノ進路ヲ北方ヘレスポントニ迄追シ而シテ陸軍ト不斷ノ交通ニ於テアル可ク如

ク左様ニ海岸ニ迄近接ニ保モチツ、西方ニ向ヒシ○其間ニ莫大ナル軍隊ハ歐羅巴ニ進入シタ所デススチニアド ミンホワイレ フロチヂアス アーレイス及ビ馬基頓ヲ通シテ西方ニ進行セシ而シテ然ル後ニセツサリヲ通シテ南方ニ向ヒツ、其レ躬カラテ強大ナル洪水ニ於テ希臘ノ北部ノ諸州ヲ越エテ注ギシ而シテアッティカノ方ニ進行セシ

(解) サトクセズハ其大國ノ各部ヨリ未嘗有ノ大軍ヲ募リ之ヲサーティスニ集ム○而シテ其兵ヲ歐羅巴ニ進メント欲シ乃チヘレスポント海峡ノ幅員一里間ニ二條ノ船橋ヲ架ス、紀元前四百八十年大軍(ペロドタスノ説ニ據レハ戰士及ヒ水夫ヲ合セテ二百五十萬人アリト云フ)二列ヲ爲シ之ヲ渡ルニ七晝夜ヲ費ス○又一千二百艘ノ三列撓船(各船二百ノ棹手及ヒ三十ノ戰士ヲ載ス)ト許多ノ小舶ヨリ編制セル一大艦隊ハ北方ヘレスポントニ進航シ陸軍ト交通ヲ斷タサラシメンカ爲メ海岸ニ沿フテ更ニ西ニ向フ○既ニシテ大軍歐羅巴ニ入ルヤスレース及ヒ馬基頓ヨリ西進シセツサリヨリ南轉シテ希臘ノ北部諸州ニ侵入ス其勢恰モ洪水ノ決スルカ如ク更ニアッティカニ向ツテ進行ス

前節ノ續キ

(五十八) 希臘人ハイターノ險峻ナル山及ビマリス灣ノ縁ヲ形造ルトコロノ沼ノ間ニ在ル

トコロノ狭キ山 峽ニ於テ彼等ノ據處ヲ取ル可ク決意セシ○(七十二頁大圖ヲ見ヨ)○此レハサーモピリーマツンティン○ゴアツンノ高名ナル通路デアアル○然レモサーモピリーノ防禦ニ迄派遣サレシ所ノ其レハ只小軍デアリシ○北希臘ニ於テサークセズノ到着ガ知レテナリシ時ニ希臘人ハ彼等ノ宗教上ノ祭禮ノ一ツヲ祝賀スルノ点ニ於テアリシ而シテ儀式ヲ放棄スアライツアル(give up)可ク欲セヌトコロデ彼等ハ祭禮ヲ終ヘテアリシ其時ニ彼等ハ充滿ノ軍勢ニ於テ進ム可ク能シテアルデアロウ迄通路ヲ保持ス可ク足レルノミノ人(merely men enough)ヲ送遣ス可ク決意セシ○場所ノ防禦ハ大約七千ノ兵其レノ精銳ガ三百ノ士巴太人カラ成立セシ所ノ七千ノ兵ヲ以テレオニダスナル士巴太王ニ迄委任サレシ

註* 直譯スレバ温泉ノ門ナリ、通路ガ數多ノ温泉ヲ保ツ而シテ「ピリ」即チ門ガ通路ノ二ツノ口デアアル

(解) 希臘人ハイターノ峻山トマリス灣ナル沼地トノ間ニ在ル山峽ニ陣セント欲ス○(七十二頁希臘ノ大地圖ヲ參觀スヘシ)○是レ有名ナルサーモピリー峽ナリ○然レモ此時出テ、山峽ヲ防守セシハ僅ニ一小兵ニ過キズ○初メサークセズノ北部希臘ニ侵入ス

ルノ報アルヤ國人會々祭事ヲ執行セントシ儀式ヲ廢スルヲ欲セス乃チ先ツ僅ニ山峽ヲ
衛ルヘキ兵ヲ送り祭事畢ルヲ待テ大軍ヲ出スヲ擬ス○防禦諸務一ニ士巴太王レオニダ
スニ委ス、所屬ノ兵大約七千其中精銳ハ唯三百ノ士巴太人アルノミ

(五十九)

波斯ノ軍ガサーモピリーニ達セシ而シテ通路ヲ推シ行ク可ク求メシ時ニ希臘ノ

守兵ガ倔強ノ防禦ヲ爲セシ而シテ二日ノ間敵ヲ抑止ニ於テ保チシ、然レモ第三日ニ於テ叛

者ガ波斯王ニ迄如何ニシテ山路ヲ取ルヲ依テ希臘人ノ位置ガ「轉」シラレ得シ乎ヲ指示セ

シ(pointed out)○此舉動ガ知レテ爲リシ時ニ希臘ノ士官ノ大半ハ退ク可ク欲セシ何トナレ

バ位置ガ最早(No longer)支ヘラルベクアラザリシ故ニ○然レモレオニダスハ退ク可ク否

ミシ○士巴太人トシテ彼レハ法律ニ依テ勝ツ可ク否ヲサレバ彼レニ迄委託サレタル場所ニ

於テ死ス可ク束縛サレシ○彼レノ三百ノ士巴太人ハ同一ノ感情ニ依テ動かサレシ而シテ七

百ノセスピア人ガ彼等ノ運命ヲ分ツ可ク決意セシ○同盟軍ノ自餘ノ者ハ退ク可ク許サレシ

○此レガ爲サル、所デレオニダス及ビ彼ノ同志ガ出來ベキ丈ケ其レ丈ケ高價ニ彼等ノ生

命ヲ賣ル可ク決心セシ、左様ニシテ彼等ハ通路ノ前面ニ於ケル開ケル場所ニ迄進ミシ而シ

テ必死ノ勇氣ヲ以テ波斯人ヲ進撃セシ○然レモ此勇氣ハ無効デ(ロミイ)アリシ、何トナレ

ハ彼等ノ槍ハ幾モナク折ラレシ而シテ敵ハ前後(front and rear)カラ込ミ入りツ、(pouring

エ)物テノ側ニ於テ希臘人ヲ繞圍セシ故ニ○レオニダスが斃レシ而シテ驍勇ナル隊ガ一

人ニ迄殺サレシ○戦争ノ月日ハ紀元前四百八十年八月デアリシ

(解) 波斯軍己ニサーモピリーニ達シ直ニ山峽ヲ抜カントス希臘ノ衛兵固ク守テ之ヲ

防ク一二日第三日ニ至リ叛者アリ私ニ波斯王ニ告グルニ間道ヨリ進マハ希臘人復保ツ

能ハサルヲ以テス○希臘ノ將士之ヲ知り其他位ノ已ニ支ユ可カラサルヲ慮リ多ク退カ

ント欲ス○レオニダス之ヲ肯セス○蓋シ王ハ士巴太人ナルヲ以テ其國法ニ從ヒ勝ヲ得

サレハ其地ニ戰死セサルヲ得ス○部下三百ノ士巴太兵モ亦其感ヲ同フシ七百ノセスビ

ア人亦生死ヲ共ニセンヲ期ス○乃チ他ノ同盟兵ハ退軍ヲ許ス○レオニダス及ビ其部

下務メテ性命ヲ高價ニ鬻カント欲シ進ンテ山峽前面ノ廣野ニ陣シ勇ヲ奮テ波斯軍ヲ襲

フ○己ニシテ鎗折レ力竭キ前後敵兵ノ圍ム所ト爲リ戰遂ニ利アラス○レオニダス戰死

シ勇士猛卒悉ク死シ復一人ノ存スル者ナシ○實ニ紀元前四百八十年八月ナリ

(六十) 余輩が見タ通り希臘ノ艦隊ハユーピア島ノ北岸ヲ離レテ位置ヲ取ツタリシ○此所ニ劇烈ナル海戰(naval action)其レハ縦ヒ勝敗未決ト雖、希臘人ノ勇氣ヲ奮起ス可ク助ケシ所ノ劇烈ナル海戰ガ戰ハレシ○其レハ又神ガ彼等ノ味方ニ於テアリシ乎ノ如ク見エシ何トナレバ二回ノ大ナル暴風ニ於テ波斯ノ艦隊ノ殆ンド半ガ破壊サレシ故ニ○然レモサーモビリーノ通路ガ奪ハレタリシト而シテ敵ガ雅典ニ進ミツ、アリシトノ其レガ希臘艦隊ノ指令官ナルセミストクルスニ迄知レテナリシ時ニ彼レハ雅典ニ近キサラミス灣ニ迄艦隊ヲ南方ニ退ケシ

(解) 是ヨリ先キ希臘ノ艦隊位地チユーピア島ノ北岸ニ占メ○此ニ激烈ノ海戰アリ勝敗未タ決セスト雖、大ニ希臘人ノ勇氣ヲ鼓舞ス○而シテ波斯ノ艦隊半ハ二大颶風ノ爲メニ破壊セラレシハ恰モ鬼神ノ希臘人ヲ擁護スルガ如シ○會々希臘艦隊ノ提督セミストクルスハサーモビリー山峽ノ守既ニ敗レテ敵軍雅典ニ進向スルノ報ヲ聞キ艦隊ヲ率ヒ南下シテ雅典ノ近傍サラミス灣ニ退ケ

雅典ノ事件

(六十一) サークセズノ近寄ノ報知ガ雅典ニ於テ大ナル騷擾ヲ生ゼシ、然レモ託宣ガ雅典

典人ニ彼等ハ彼等ノ「木壁」ニ於テ安全ヲ求メ子ハナラヌヲ告ゲシ○此レハ彼等ノ船ヲ意味ス可ク釋義サレシ○其レ故ニ惣テノ人民ガ都府カラ遷サレシ而シテ波斯人ガ雅典ノ所持ヲ取リシ而シテ其レチ灰ニ迄夷ゲシ

(解) サークセズノ來リ迫ルノ報ヲ聞キ雅典府大ニ騷擾ス巫アリ雅典人ニ告テ曰ク汝等宜ク難ヲ木壁中ニ避クヘシト○即チ其意ヲ解シテ木壁トハ船舶ノ義ナリトナシ○府民悉ク府ヲ去テ船ニ移ル敵兵即チ雅典ヲ取り之チ火ニス

サノミスラ戰

(六十二) 希臘ノ命運ハ光榮アル海軍ノ戰ニ依テ決セラル可クアリシ○サラミス灣ニ於テ希臘人が三百六十六船ノ彼等ノ全艦隊ヲ聚メタリシ○縱ヒ波斯人ハ重ク暴風ニ依テ失フタリシト雖、モ彼等ハ尙ホ凡ソ一千ノ船ヲ有セシ而シテサーモビリーノ戰ノ後二ヶ月ニ敵對スル艦隊ガ戰ニ向ツテ整列サレシ○波斯ノ陸軍ハ海岸ニ沿フテ排列サレシ(was drawn up)而シテ東方ノ國王ガ華々シキ勝利ヲ豫期シツ、光景ニ臨ムトコロノ高丘ノ上ニ高キ椅子ニ於テ彼レノ坐ヲ取リシ

王ガ岩崖其レハ海ニ生セルサラミスヲ越エテ眺ムル所ノ岩崖ノ上ニ坐セシ、而シテ船ガ

數千ニ依テ下ニ整列スル而シテ諸國ニ於テノ人ハ惣テガ彼レノモノデアリシ○彼レガ日ノ出ニ於テ彼等ヲ計算セシ而シテ日ガ没セシ時ニ彼等ハ何所ニアリシ乎

(解) 今ヤ希臘ノ國運ハ實ニ大海戰ノ決スル所ナリ○既ニシテ希臘人ハ全艦隊三百六十六艘ヲサラミス灣ニ屯集ス○波斯ノ艦隊ハ暴ニ颶風ノ爲ニ甚シク損壞セラレシト雖

凡餘ス所尙ホ大約一千艘アリサーモピリーノ戰後踰月ニシテ兩軍ノ艦隊各戰備ヲ修メ○波斯ノ陸軍ハ海濱ニ沿フテ陣スサークセス王海角ノ丘上ニ高坐ヲ設ケ傲然戰場ヲ瞰望シ謂ヘラク勝利日ナ期シテ竣ツ可シト歌ニ曰ク

海生 望 岸 王
うみにおひにしさらみすを のぞめるきしにわらまして
波 浮 千々 船 四方從 集 兵 士
おみにうかべるちいのおね よもおつまるいくさびと
君 御言 畏 きみのみよとしかしこみき そのいきはいのたのもしと
朝 計 おしたにかぞへたまいしを もあべにいづこもきけむ

(六十二) サラミスハ希臘人ニ向ツテ全勝(Complete Victory)デアリシ、波斯人ハ二百以上ノ船ヲ失ヒシ而シテサークセスハ恐怖ヲ以テ打タレテ紀元前四百八十年十月途其レニ於テ彼

結果

レガ來リシ所ノ途ニ依テ彼レ自分ノ領地ニ迄退軍ヲ鳴ラセシ

(解) サラミスノ戰爭希臘人ノ全勝ト爲リ波斯人二百餘艘ヲ失フ、サークセス大ニ恐レ故道ヲ經テ兵ヲ本國ニ退ク時ニ紀元前四百八十年十月ナリ

(六十四) サークセスガ退去セシ時ニ彼レハ後邊ニマードニアスト稱セラレタル彼レノ將官ノ一人ノ麾下ニ三十万ノ軍ヲ遺セシ○翌年ニ(following year)決戰(decisive combat)其レニ

於テ希臘人が全ク成功シテアリシ所ノ決戰ガ此軍ト而シテポーサニアスナル士巴太ノ將帥及ピアリスタイデスナル雅典ノ將帥ノ下ノ七万ノ希臘軍トノ間ニプラテティアニ於テ戰ハレシ四百七十九年ノ九月廿五日ナリ○同日ニ於テミケール(小亞細亞ニ於テ)ニ於テノ戰ガ波斯艦隊ノ殘餘ノ破壞ヲ仕遂ケシ

(解) サークセスノ退クヤ其將マードニアスニ委スルニ卅萬ノ兵ヲ以テス○翌年(紀元前四百七十九年)九月二十五日マードニアス希臘兵トプラテティアニ決戰シ希臘人全勝ヲ得タリ此時希臘ノ兵七万人ポーサニアス士巴太軍ニ將タリアリスタイデス雅典軍ニ將タリ○此日又小亞細亞ノミケールニ戰ヒ波斯ノ餘艦ヲ破壞ス

イブラテ
ルミケ
ケ

(六十五) サラミス、プラティア及ビミケールナル此等ノ三戰ガ戰爭ヲ決着セシ而シテ波斯人ガ決シテ再ビ希臘其レ躬カラテ侵ス可ク敢テセザリシ○其レハ眞デアアル波斯人ガ諸所ノ據所其レヲ彼等ガエジアン海ノ北ニ保モチシ所ノ據所カラ撤去サレシ前數年間ヨリ久シク爭鬪ガ行ハレシ(Went on)然レモ終ニ彼等ハ全ク歐羅巴カラ驅逐サレシ○斯クシテ希臘ノ自由ガ安全ニサレシトノ其レガアリシ而シテ希臘ノ獨立ノ保存ハ歐羅巴ノ開化ノ保存ヲ意味セシトノ其レガ記憶セラレバナラヌ

(解) サラミス、プラティア、ミケールノ三戰ヲ以テ全局ノ勝敗ヲ決シ波斯人復敢テ希臘ニ侵入セス○然レモ波斯人ノ猶エジアン海ノ北部ニ據レル間ハ兩國ノ戰鬪依然トシテ數年ニ亘ル後遂ニ悉ク之ヲ歐羅巴州外ニ追フ○是ニ於テカ希臘ノ自由幸ニ維持スルヲ得タリ、希臘ノ獨立ヲ保ツハ即チ歐羅巴ノ文明ヲ維持スル所以ニシテ宜ク記憶セサル可カラサル所ナリ

第二 ペリクルスノ時代

(六十六) サラミスノ戰ニ繼グトコロノ半世紀(紀元前四百八十年ヨリ四百三十年迄)ハ雅

典ノ歴史ノ最モ燦然タル年代而シテ世界ノ歴史ニ於テ最モ有名ナル紀元ノ一ツヲ形造ル○其レハ通例其レノ連續ハ殆ント其政事家其人ハ縱ヒ只一私人(Private citizen)ト雖モ四十年間雅典ノ政事ヲ越エテ左右スル勢力ヲ有チシ所ノ其政事家ノ在官ノ生涯ト一致シツ、イラストラアス「ペリクルスノ時代」ト稱セラル、コントローリシク

(解) サラミスノ役後五十年間(紀元前四百八十年ヨリ四百三十年ニ至ルマテ)ハ雅典史極隆ノ世ニシテ亦萬國史中最盛ノ一紀元タリ○世此時期ヲ呼ンデ「ペリクルスノ時代」ト云フ、ペリクルスハ當時ノ爲政家ニシテ其身一市人ヨリ出テ雅典ノ政權ヲ掌リシト前後四十年其公務ニ從事セシ年限殆ント此時代ト長短相均キヲ以テナリ

(六十七) 雅典人ガ今取リシ所ノ權威ノ主タル原因ハ波斯戰爭ニ於テ其邦ニ依テ演ゼラレタル華々シキ役割デアリシ○エジアン海ノ島及ビ海岸ニ於ケル今脱厄シタル希臘都府ノ自由ヲ保持ス可ク同盟其レニ付テ雅典ガ彼女ノ海軍ノ勢力カラ自然ニ盟主トナリシ所ノ同盟ガ爲サレシ○然ル間ニ内地ノ諸州ハ士巴太ニ迄附着セシ○海濱ノ都府ハ雅典ニ迄服從ノ種類ニ迄致サレシトノ其レガ間モナク起リシ(Game about)、雅典人ハ聯合カラ脱ス可ク諸州

ノ權利ヲ拒ミシ同盟ノ別段ナル財政ヲ雅典ノ其レニ於テ混同サル可ク惹起セシ而シテ同盟
 國ノ船舶及ビ金錢ヲ彼等自分ノ宏大ヲ爲遂グルトニ於テ使用セシ○アルライス縱ヒ此レハ淺見ノ政畧
 デアリシトスルモ其レハ少ナクモ雅典人ヲ暫時マニ(time being)ノ間殆ント帝國ノ地位ニ於テ置
 キシ而シテ小共和國ヲ勢力及ビ華美ノ驚クベキ度ニ迄進メシスフレンドア(carried forward)

(解) 當時雅典ノ威權ヲ執リシハ主トシテ波斯戰爭ニ偉功ヲ立テタルニ由ル○其後エ
 ジアン海ノ諸島及ヒ沿岸ノ諸府ハ外患既ニ除キ其自由ヲ維持センカ爲ニ盟會ヲ結フ、
 雅典ハ海軍強盛ナルヲ以テ勢ヒ自ラ其盟主ト爲ル○然レハ内地諸州ハ皆士巴太ニ屬ス
 ○既ニシテ沿海諸府ハ恰モ雅典ノ屬州タルカ如キ狀アリ雅典人ハ諸州同盟ヲ脱スルノ
 權理ヲ拒ミ同盟ノ財政ト自國ノ財政ヲ混シテ一ト爲シ其船舶金錢ヲ以テ強盛ヲ圖ルノ
 用ニ供ス○是レ素ヨリ深謀遠慮ノ政畧ニ非スト雖モ猶且之ニ由テ一時殆ト帝王ノ位地
 ヲ取り藁爾タル一小共和國驚クヘキ強盛ヲ極ムルニ至ル

(六十八) 希臘ノ天賦ガ文學及ビ技術ノ其レノ最盛ノ花ヲ咲カセシリツチエント フロツサムス(put forth)トノ其
 レハ雅典人ノ智力ガ國民ノ偉大ナルトノ誇大ノ感情ニ依テ鼓舞サレシ時ノ此時代ノ間ニア
インテリクト ナシヨナル グレイトチツス プラウド センス スチミユレト

此時代ノ概説

リシ○此レハ傑出ノ戯曲編述ノ而シテ建築及ビ彫刻ノ絶倫ナル工事ノ時代デアリシ
 ○自由國ニ於テ左様ニ有力ノ器械デアル所ノ辨論術ガ今熱心シテ研究サレシ而シテ
 雅典人ハ雄辨ノ最高ノ形ニ於テ開陳サレタルインストルメント(put forth)愛國ノ純粹ノ訓誡ヲ聽聞スルトニ
 迄價レテナリシ○畢竟タフ(The fine)雅典ノ共和國ハペリクルスノ尽力ノ下ニ市人が殆ント惣
 テ同様ニ官ヲ充タシ或ヒハ職務ヲ營ム可ク適セラレシトノ其レガ記録セラル、ト
 程斯様ナル教育ノ上達セル有様ニ達セシ、其レ故ニ官職レノアデツド(public offices)ノ大半ノ部分
 ハ抽籤ニ依テ充タサル、デアロウトノ法制ガ稀レニ有能ノ而シテ適應セシ人ノ外或
 ル者ノ選舉ニ於テ成績セシレサレツド

(解) 當時雅典人ノ智力國運ノ隆盛ニ鼓舞セラレ文學技術大ニ進歩ヲ加ヘ○戯曲建築
 彫刻ノ諸術最モ巧妙ニ達シ○自由國ニ在テハ有力ノ一大器械タル辨論術ノ如キモ國人
 勵精ノ之ヲ學ヒ且常ニ高雅ナル雄辨ヲ以テ論述セル愛國ノ教訓ヲ聞クニ慣レタリ○蓋
 シ雅典共和國ノ教化普及スルニ至リタルハ主トシテペリクルスノ盡力ニ由ル書ニ曰ク
 市人ハ一般ニ才器ヲ成シ皆能ク其職ニ堪ヘ業ヲ營ムトテ得而シテ官吏ノ大半ハ抽籤法

争亂ノ
端緒

ヲ以テ之ヲ任スト雖凡皆能ク才能ヲ備ヘ其任ニ堪ヘサル者稀ナリ

(六十九) 之レニ反シテ(on the other hand)其恐ルヘキ内乱(civil strife)其レハ希臘ノ光榮ヲ破壊セシ所ノ内乱ノ種子ガ蒔カレシコノ其レハ此時代ニ於テアリシ、何トナレバペリクルス彼レ躬カラガペロポネ子サスノ戰亂トシテ知ラレタル其慘淡タル戰鬪ノ破裂ヲ見ル可ク存命セシ故ニ

(解) 然リト雖凡此時ニ當リ希臘ノ光榮ヲ滅亡スル内亂ノ徵已ニ萌シペリクルス在世ノ際已ニ所謂ペロポネ子サスノ一大戰爭アリ

(七十) 嘗テ生活セシ所ノ甚ダ有能ノ政事家ノ一人ナル此大ナル人ハ紀元前四百二十九年ニ於テ雅典ニ於テ暴レシ所ノ疫癘ニ迄犠牲ニ落チシ○彼レノ終焉ノ床ガ彼レノ光榮アル生涯ノ多クノ有名ナル偉績ヲ誦道セシ所ノ彼レノ朋友及ビ贊嘆者ニ依テ繞圍サレシ○臨終ノ愛國者ガ云ヒシ「汝等ハ忘却スル汝等ハ余ノ性質ノ只一ツノ有價ノ部分ヲ忘却スル、余ノ同胞市人ノ誰レモガ余ノ或ル行爲ニ依テ喪服(morning robe)ヲ着クル可ク嘗テ強ヒラレザリシ」ト

ペリク
ルス

争亂ノ
時限

(解) 紀元前四百二十九年疫癘雅典ニ流行スルニ際シ古來賢明ナル政治家ノ一人タル英傑ペリクルス亦疫癘ニ罹リテ卒ス○其終リニ臨ミ朋友故舊病床ニ待シテ其平生ノ偉績ヲ稱賛ス○ペリクルス曰ク「卿等忘レタリ卿等實ニ余ノ品行中ニ一美事アルヲ忘レタリ余ノ事ヲ行フヤ常ニ平和ヲ目的トシ未タ嘗テ同胞市民ヲシテ喪服ヲ着ケシムルノ悲境ニ遭遇セシメタル」ト

第三 ペロポネ子サスノ戰亂

(七十一) ペロポネ子サスノ戰亂ハ一方ニ於テハ雅典及ビ彼女ノ同盟國ト而シテ他ニ於テハ士巴太及ビ彼女ノ同盟國ノ間ノ戰鬪デアリシ○其レハ紀元前四百三十一年ニ於テ始マリシニ二十七年續キシ而シテ一般ニ希臘ヲ衰弱スルコトニ於テ而シテ全ク雅典ノ權威ヲ破滅スルコトニ於テ終リシ

(解) ペロポネ子サスノ亂ハ雅典及ヒ其同盟ト士巴太及ヒ其同盟トノ間ニ開キタル爭隙ニメ○紀元前四百卅一年ニ起リ二十七年ヲ經テ漸ク止ム此亂ノ爲メニ希臘全國大ニ衰弱シ雅典ノ勢力全ク挫折ス

戦争ノ原因

(七十二) 此戦乱ハ雅典ノ大ナル勢力ガ希臘都府ノ多クノ他ノモノ、裏ニ攪起セシ所ノ猜忌ニ依テ起サレシ、然レ其レハ内實(Internal Reality)ヨリ深キ原因ヲ有セシ、其レハ「アイオニア」族及ビ「ドリリア」族ノ間ノ、民主政治及ビ寡人政治トノ間ノ「避クベカラザル争闘」ノ破裂デアリシ、雅典ハ「アイオニア」族ノ而シテ民主政諸州ノ首領デ而シテ士巴太ハ「ドリリア」族ノ而シテ貴族政諸州ノ首領デアレバナリ

(解) 此戦争ハ希臘諸府ノ雅典ノ強盛ヲ妬ムニ起ルト雖其實ハ更ニ遠因アリ蓋シ「アイオニア」族ト「ドリリア」族即チ民主政治ト寡人政府トノ間ニ避ク可カラサル争闘ノ破裂ニ過キス而シテ雅典ハ「アイオニア」族即チ民主政治諸州ノ首領ニシテ士巴太ハ「ドリリア」族即チ貴族政治諸州ノ首領タリ

(七十三) 戦亂ノ直チノ機會ハコリンスト而シテ彼女ノ殖民地ノ一ツナルコルシラトノ間ノ争闘デアリシ○後者ト左袒シツ、雅典ガ「ドリリア」聯邦ノ忿怒ヲ激興セシ、而シテ紀元前四百三十一年士巴太ノ軍ガアッティカニ侵寇セシ○四百二十一年ニ至ル迄(down to)戦争ノ最初ノ十年間雅典人ハ海ニ依テ而シテ士巴太人及ビ彼等ノ同盟ハ陸ニ依テ基ダヨリ強クアリ

最初ノ十年間

アルシピアス

ル所テ二黨ガ殆ント同様ノ成功ヲ以テ争ヒシ○然ル後ニ「ニシアス」ノ和睦ト稱セラレタル和睦其レハ五十年間續ク可クアリシ所ノ和睦ガ決定サレシ(紀元前四百二十一年)、然レ其聯邦ノ多クハ其レノ條款ヲ以テ不満足デアリシ故ニ其レハ恐ラク斯様ナル永續(long duration)ノモノデアル可クアラザリシ而シテ實ニ抗敵ガ殆ンド直チニ再發サレシ

(解) 此戦争ノ端緒ハコリンス州ト其殖民地タルコルシラトノ争闘ニ在リ○此時雅典ハコルシラテ援ケシヲ以テ「トリリア」聯邦大ニ憤怒シ紀元前四百三十一年士巴太ノ一軍アッティカヲ襲撃ス○其始メ十年間紀元前四百二十一年ニ至ルマテハ兩軍ノ勝敗殆ント相半ハシ雅典人ハ海軍ニ長シ士巴太人及ビ其同盟ハ陸軍ニ長セリ○既ニシテ和ヲ講シ五十年間ノ和睦ヲ約ス(紀元前四百二十一年)之ヲ「ニシアス」ノ和約ト稱ス○然レ其聯合諸州多クハ此條約ヲ悦ハサルヲ以テ和睦永續セス幾モナク再ヒ開戦ス

(七十四) 戦争ノ再發ガソクテイスノ美貌ノ放恣ナル年少ノ徒弟ナルアルシピアスノ政事上ノ勢力ニ依ツテ急迫サレシ、彼レハ燦然タル才能ヲ有セシ然レ其レハ名ヲ好シデアリシ而シテ彼レハ彼レニ一身ノ榮達ノ機會ヲ供スルトシテ戦争ヲ再發ス可ク

熱心シテアリシ

(解) 其再戦ヲ促セシハアルシビアデスノ煽動ニ由ルアルシビアデスハ蘇克拉底ノ門人ニシテ放蕩ノ美少年ナリ才智ニ富ムト雖モ功名ヲ好ムヲ以テ其名ヲ世ニ著スノ好機會ヲ得ント欲シ固ク戰議ヲ執ル

シラキ
ユース
ノ遠征

(七十五) アルシビアデスガシ、ボイルドリー島ニ於ケル都府ナルシラキユースヲ征服スルノ策ヲ建議セシ(brought for ward)○其レハ豪膽ナル策デアリシ而シテ其レノ好果アル實行ガ士巴太ヲ越エテ雅典ニ迄大ナル偏重ボイルドヲ與ヘタデアロウ○雅典人が策ヲ採用セシ而シテ紀元前四百十五年ニ於テシラキユース人ニ逆ツテ艦隊及ビ軍兵ヲ送遣セシ○士巴太ガシラキユース人ニ迄援兵ヲ送りシ而シテ斯クシテペロポネ子サスノ戰亂ガ再發サレシ○起業ノ半バニ於テアルシビアデスガ瀆神ノ罪狀ニ於テ雅典ニ迄召還サレシ、然レモ彼レハ脱ス可ク處セシ而シテ士巴太ニ迄越エ行キシ○シラキユースノ遠征ハ全失敗(total failure)ヲ證明セシ(紀元前四百十三年)而シテ大ニ雅典ノ勢力ヲ損セシ

(解) アルシビアデスシ、ボイルドリー島ノ一府シラキユースヲ征服センヲ謀ル○此策危險

ナリト雖モ若シ善ク功ヲ奏セハ雅典ヲシテ士巴太ヲ凌駕セシムルヲ得ヘシ○雅典人其策ヲ用ヒ紀元前四百十五年陸兵艦隊ヲ發シテシラキユースヲ攻ム士巴太モ亦タ兵ヲ出シテシラキユースヲ援ク是ニ於テペロポネ子サスノ戰爭再ヒ起ル○役半ハニアルシビアデス瀆神ノ罪ヲ得テ本國ニ召還サレ逃レテ士巴太ニ行ク○既ニシテシラキユース出征ノ兵全ク失敗シ(紀元前四百十三年)雅典人ノ勢大ニ衰フ

戰爭ノ
末年

(七十六) 後ノ八年間ペロポネ子サスノ戰爭ハ主トシテ亞細亞ノ海岸ヲ離レテ海ニ於テ行ハレシ(was carried on)○士巴太ハ彼女躬カラテ波斯ト連合セシ而シテ雅典ニ逆ツテ爭鬪ヲ續ク可キ方便ヲ士巴太ニ與ヘシ所ノ其レハ波斯ノ黄金デアリシ○然レモ雅典ハ豪膽ナル敵對ヲ爲セシ而シテアルシビアデス(其人ハ其間ニ指揮官ニ迄喚ビ返ヘサレタリシ所ノ者ナリ)ノ引率ノ下ニ驚クベキ勇氣ヲ以テ鬪爭ヲ持續セシ(kept up)○然レモライサンダーナル士巴太ノ海軍提督ガ紀元前四百五年ニヘレスポント海峡ニ於ケルエゴス、ボタモスニ於テ雅典人ノ在洛ノ平船ヲ襲撃セシ時ニ不幸ナル禍災ガ落チシ○翌年(following year)ニ於テ雅典ノ攻圍及ビ降服ガ大ナルペロポネ子サスノ爭鬪ヲ結尾ニ迄致セシ

(解) 後八年間ハ此戰爭專ラ亞細亞沿岸ノ海上ニ行ハレ○士巴太ハ波斯ト同盟シ其軍資ヲ得テ久ク雅典ト戰フ○雅典ノ兵亦勇敢ニ屈セスアルシビアデス(是ヨリ先キ再ビ本國ニ召還サレテ總督ト爲ル)ノ指揮ニ從ヒ能ク戰テ大ニ勇名ヲ著ハス○然レモ士巴太ノ水師提督ライサンダーヘレスポント海峡ノエゴス、ボタモスニ於テ雅典ノ艦隊ヲ海濱ニ襲撃シテ大ニ之ヲ破ル實ニ紀元前四百五年ナリ○翌年雅典府園マレテ降ヲ乞ヒペロポソ子サスノ大戰爭其局ヲ結フ

結果ノ

(七十七) ペロポソ子サス戰亂ノ結果ハ士巴太ニ希臘ノ最大權力ヲ遺セシ○雅典ハ二等國(second-rate state)トシテ背地ニ迄沈ミシ、然レモ彼女ハ彼女ノ政事上ノ專權ヲ失ヒシ間ニ彼女ハ愈々多ク(more and more)文學技術及ビ哲學ニ於テ先導者トナリシ

(解) ペロポソ子サスノ戰爭ヨリ士巴太遂ニ希臘ノ最大強國ト爲ル○又雅典ハ降リテ二等國トナリ其政權ヲ失フト雖モ文學技術哲學ニ於テハ益々進歩シテ能ク之ニ及ブ者ナシ

第四 士巴太及ビ齊武專權ノ時代

士巴太ノ強盛

(七十八) 雅典ノ衰弱後士巴太ガ希臘ニ於テ匹敵無シニ立チシ而シテ三十四年間(エゴスボタモスニ於テノ勝利カカリユークトラノ敗績迄紀元前四百五年乃至三百七十一年)ラセディモン人ガ希臘ニ於テ無比ノ制馭ヲ施行セシ○士巴太ノ支配ハ極メテ專制デアリシ而シテペロポソ子サス戰亂ノ首メニ於テ雅典ノ制馭カラノ「解放者」トシテ士巴太ヲ以テ左袒シタリシ(had sided)所ノ希臘ノ諸州ハ今士巴太ノ羈絆ヲ雅典ノモノガアツタリシヨリハ甚ダヨリ多ク苛酷ニ發見セシ

(解) 雅典衰微ノ後希臘諸州能ク士巴太ニ抗スル者ナク三十四年間(エゴス、ボタモスノ勝利ヨリユークトラノ敗軍マテ即チ紀元前四百五年ヨリ三百七十一年ニ至ル)其威全國ニ振フ○然レモ其政治專ラ壓制ヲ事トス、是ヨリ先キペロポソ子サス戰爭ノ始ニ當リ諸州士巴太ヲ以テ雅典羈絆ノ救援者ト爲シ專ラ之ニ左袒ス然ルニ今ヤ其苛政反テ雅典ニ超ユルヲ覺フ

齊武ノ興起

(七十九) 其間ニ齊武ニ於テ新シキ國其レハ彼女ノ傲慢ヲ挫折ス可クアリシ所ノ新シキ國ガ興起シツ、アリシ○齊武ノ盛大ハ(エパミノンダス及ビペロヒダスナル)二人其人ハ如何

第二時代ノ歴史

ニシテ彼等自分ノ勇壯ナル氣象ヲ以テ彼等ノ同胞市人ヲ感ゼシム可キ歟ヲ知リシ所ハ
 二人ノ所作デアリシヒロイツク スピリット○士巴太ノ侮辱ニ向ツテ彼等躬カラテ復讐ス可ク齊武人が此等ノ首
 領ノ下ニ長キ而シテ勇壯ナル争闘ヲ始メシ○此戦争ノ決戦ハリユークトラ其所ニエパミノ
 ンダスガ紀元前三百七十一年全ク士巴太人ヲ破リシ所アツタリーノリユークトラニ於テ戦ハレシ○
 此敗績ノ故ニ(in consequence of)士巴太ガ俄カニ而シテ永久ニ彼女ノ高キ所領カラ落チシ

(解) 此頃齊武新ニ興リテ士巴太ノ驕傲ヲ抑制セントス○齊武ノ強大ヲ致セシハ專ラ
 エパミノンダスペロピダス二人ノ功ニ由ル、二人義勇ノ精心ヲ以テ巧ニ同胞市民ヲ鼓
 舞ス○市民ハ士巴太ノ凌辱ニ報ユルヲ念ト爲シ二人ニ從ヒ義兵ヲ擧ケ久ク之ニ抗敵ス
 ○紀元前三百七十一年リユークトラノ地ニ決戦シエパミノンダス大ニ士巴太人ヲ破ル
 ○此敗績ヨリ士巴太ノ國勢忽チ衰ヘテ復振ハス

(八十) 齊武ハ今希臘ノ主要國デアル可ク興起セシ而シテ此位地ヲ彼女ガエパミノンダス
 ナル彼女ノ大ナル首領ガ存命セシ間(as long as)有チシ○然レモ士巴太人及ヒ雅典人ニ逆ツ
 テ行ハレタルマンティニアノ戦(紀元前三百六十二年)ニ於テ齊武ノ首領ガ勝利ノ兵ニ於
 テ死セシ○エパミノンダスノ斃レト共ニ齊武彼女躬カラガ倒レシ何トナレバ其所ニ彼レノ
 位置ヲ取ル可キ誰レモガアラザリシ故ニ

(解) 今ヤ齊武ハ希臘ノ最強國ト爲リ驍將エパミノンダスノ在世中ハ嘗テ國威ヲ損セ
 ス○紀元前三百六十二年マンティニアノ役ニ士巴太及ヒ雅典ノ兩國ト戦ヒエパミノン
 ダス捷戦ノ中ニ死ス○其後能ク之ニ嗣ク可キモノナク齊武ハエパミノンダスト共ニ斃
 レテ復振ハス

(八十一) 士巴太及ヒ齊武ノ間ノ争闘ハ其レガ爲セシ通り大ナルヘロポン子サス戦亂ニ繼
 ク所デ(其レノ兩方ニ於テ殆ント惣テノヘルラスノ諸州ガ關係サレシ所ノモノナリ)希臘ノ
 全体ノ疲弊ニ於テ結果セシ○如何ナルカニテモ殘リシ者ハ單ナル内訌(intestine broils)
 ニ於テ消費サレシ而シテ此後間モナク希臘ハ馬基頓ノ非立ニ迄容易ナル餌食ト落チシ

(解) 士巴太齊武兩國ノ戦争ハ猶往時ノヘロポン子サス大戦争ノ如クヘルラス諸州殆
 ト皆之ニ關係シ希臘全國之カ爲メ大ニ疲弊シ○僅ニ存スルトコロノ餘力ハ徒ラニ之ニ
 内亂ニ糜シ幾モナクシテ希臘國馬基頓王非立ノ魚肉スル所ト爲ル

戦争ノ
結果

齊武ノ
強盛

第四章 第三年期ノ歴史

CHAPTER IV HISTORY OF THE THIRD PERIOD

非立ノ勝利カラ羅馬人ニ依ツテ希臘ノ併呑迄

第一 馬基頓ノ專權(非立)

古代ノ馬基頓

(八十二) 馬基頓人ハ縦ヒ親密ニ種族ニ依テ希臘人ニ迄結縁サレシト雖ヒ彼等ノ南方ノ親戚ガ彼等ノ興起スル進ミヲ追ヒツハアリシ間ニ矇昧ニ於テ止マリタリシ○然レハ紀元前四世紀ノ中葉ニ於テ彼等ハ豪氣ナル而シテ勢力アル君主ノ下ニ來リシ○此レガアミンダス二世ノ子ナル非立デアリシ

(解) 馬基頓人ハ希臘人ト同種ニ屬スト雖ヒ希臘人ノ大業ヲ成シツハアルノ間ハ矇昧トシテ未タ世ニ著レス○紀元前第四世紀ノ中葉ニ至リ豪邁ノ君出テ馬基頓ニ君臨ス○アミンダス二世ノ子非立是ナリ

(八十三) 非立ハ紀元前三百五十九年ニ於テ馬基頓ノ政治ヲ執リシ○彼レハ少キ人ノ時ニ人質ノ態裁ニ於テ齊武ニ於テ住居シタトコロデ希臘ノ政事ト親密ニサレシ(was well acquainted with) 而シテ彼レガ王トナリシ時ニ彼レハ馬基頓ノ昇進ニ向ツテノ策ヲ經營セシ(sot on foot) ○此レハ如何シテモ(by any means) 希臘國ヲ征服ス可クアラザリシ然レハ希臘ノ一州トノ馬基頓ヲ承認サレテモツ可ク而シテ然ル後チニ恰カモ雅典士巴太及ヒ齊武ガ引續キテアツタリシ如ク其レヲハルラスノ率先國ト爲ス可クアリシ

非立ノ企謀

非立ノ行為

(解) 紀元前三百五十九年非立始テ馬基頓ノ政柄ヲ執ル○王少ニシテ齊武國ニ質トナリ能ク希臘ノ政治ヲ暗知ス位ニ即クニ及ンテ大ニ馬基頓ヲ興起センコトヲ企圖ス○其初志敢テ希臘ヲ征服セント欲スルニ非ス唯馬基頓ヲシテ希臘ノ一列國ト認メシメ年月ノ後之ヲ希臘諸州中ノ首領タラシムルヲ猶雅典士巴太及ヒ齊武ノ相尋テ其首領トリシカ如クナラシメント欲スルニ過キス

(八十四) 非立ハ巧ニ彼レ躬カラテ希臘ノ國事ト混同スルヲ(mixing up)ニ依テ着手セシ、而シテ彼レハ終ニ彼レガヘルラスノ大ナル宗教上ノ集會ナル祭儀會(Amphictyonic Council)ノ會員トシテ承認サレシヲ程斯様ナル巧妙ヲ以テ處セシ(希臘ノ一州トシテ馬基頓ノ承認ニ迄均シキ許可ナリ)○一歩一歩(Step by step)彼レノ野心ガ彼レハ征服ノ偉

大ナル計畫ニ付テ思考ス可ク始メシ迄増長セシ

(解) 非立巧ミニ權謀ヲ用ヒテ先ツ希臘ノ國事ニ干渉シ遂ニ「アムフィオニク、カ
ウンシル」即チ希臘宗教大會議ノ會員ニ列ス是猶馬基頓ノ希臘列國ノ一タルヲ許スニ
異ナラス○爾來非立ノ志望次第ニ增長シ遂ニ征定ノ偉畧ヲ圖ルニ至ル

(八十五) 此策畧ヲデモスセニスナル大ナル雅典ノ雄辨家が分明ニ察知セシ而シテ彼レ
ガ警誡ニ於テ彼レノ聲ノ雷音ヲ發スルヲ始メシ、然レモ雅典人ハ彼等ノ愛國ノ熱心ノ
多クヲ失フタリシ其故ニ彼等ハ只緩慢ニ此等ノ警誡ヲ取リシ

(解) 雅典ニ雄辨家アリデモスセニスト稱ス夙ニ非立ノ異謀アルヲ看破シ大聲疾呼シ
テ國人ヲ覺醒スト雖モ國人既ニ愛國ノ誠意ニ乏ク敢テ意ヲ茲ニ注ク者ナシ

(八十六) 雅典ノ上ニ非立ノ直接ノ侵伐ハ約リ紀元前三百五十八年ニ始マリシ而シテ二
十年間彼レハ戰爭及ビ權謀ノ錯雜シタル政略其レハ終ニ(Cat Jengh)彼レヲ希臘ノ主人ト爲
セシ所ノ錯雜シタル政略ヲ續ケシ○紀元前三百三十八年ニ於テケロニア(ビオシアニ於ケ
ル)ニ於テ彼レハ雅典人及ビ齊武人ヲ越エテ結局ノ勝利ヲ得シ、此レガ希臘ノ自由ヲ壓潰セ

非立ノ
功業

デモス
セニス

非立成
業ノ原
因

シ而シテ其レヲ事實(Reality)馬基頓ノ州郡ト爲セシ

(解) 紀元前三百五十八年ノ頃非立兵ヲ舉テ雅典ヲ侵伐ス爾後二十年間或ハ戰爭ヲ起
シ或ハ權謀ヲ施シ遂ニ希臘ノ君主ト爲ル○紀元前三百三十八年大ニ雅典齊武ノ兩軍ヲ
ビオシアノケロニアニ敗リ希臘ノ自由ヲ撲滅シ其全土ヲ併セテ馬基頓ノ一州ト爲ス

(八十七) 非立ノ驚クベキ成功ノ主タル原因ハ二様デアリシ、第一彼レノ贊嘆スベキ兵
制ナリ、其レガ羅馬人ニ迄抗敵サル可ク來リシ迄ハ敵ナキ馬基頓ノ方陣ハ彼レノ
創爲デアリシ○第二彼レノ政事上ノ權謀ナリ、希臘ノ分裂セシ有様ノ而シテ人心腐敗ノ

一般ナル流行ノ利ヲ取リツ、彼レハ契約シツ、追從シツ、賄賂シツ、恐嚇シツ
、邦國ニ逆ツテ邦國ヲ政治家ニ向ツテ政治家ヲ玩弄セシ(played off)其レ故ニ彼レハ兵力ニ
依テヨリハ外交政略ニ依テ尙ヨリ多クヲ獲シ

(解) 非立驚クヘキ鴻業ヲ成ス其大原因ニアリ其一ハ精練ナル軍制是ナリ當時馬基頓
ニ方陣ナル者アリ非立ノ創意編制スル所ニシテ後世羅馬人ト戰フニ至ルマテ嘗テ之ニ
敵スル者ナシ其二ハ非立ノ政略上ノ機智ニ富ミシト是ナリ當時希臘ノ國內分裂シ且世

道ノ敗類セルニ乘シ或條約ヲ結ビ或ハ甘言ヲ啗ハシ或ハ賄賂ヲ餌ハニシ或ハ威ヲ以テ恐嚇シ或ハ計ヲ以テ反間シ專ラ各州政治家ヲ籠絡ス蓋シ其志ヲ得タルハ兵力ニ由ルヨリモ寧ロ外交政略ニ出ルモノヲ多シトス

其後ノ計

(八十八) 非立ハ今波斯ノ上ニ戰爭ヲ爲シ而シテダリアス及ビザークセズニ依テ希臘ノ往時ノ侵寇ヲ復讐ス可クヘルラスノ惣ノ軍勢ヲ結合スルコトノ彼レノ志ヲ宣告セシ○此レハ非立ノ爲ニ(On the part)政略ノ甚ダ巧ナル點筆デアリシ、其レガ未開人ニ逆ツテヘルラス族ノ大ナル國民ノ起業ノ光榮アル幻像ヲ以テ彼等ノ想像ヲ充タスコトニ依テ彼等ノ獨立ノ亡失ノ思想カラ希臘人ノ心ヲ轉ゼシ

非立ノ死

(解) 是ニ於テ非立宣言シテ曰ク余將ニヘルラスノ全軍ヲ合セテ波斯ト戦ヒ以テ昔日大流士及ビザークセズ入寇ノ讐ヲ報セントスト○是レ非立ノ自ラ爲ニセル巧妙ナル政略ニシテ蓋シヘルラス全國ヲ舉テ夷狄ヲ征討スルノ一大盛觀ヲ以テ希臘人ノ思想ヲ盈タシ以テ其獨立ヲ失フコト思フニ違アラサラシメントスルニ在ルナリ

治世ノ後四十六ノ年齢ニ於テ彼レ自分ノ臣民ノ一人ニ依テ暗殺サレシ (紀元前三百三十六年)

(解) 然ルニ此舉未タ行ハレス軍備半ニシテ非立一賊臣ノ爲ニ暗殺セラル (紀元前三百三十六年)年四十六在位二十二年ナリ

第二 歷山大王ノ成績

歷山王

(九十) 非立ハ歷山大王トシテ知ラレタル彼レノ子アレキサンダーニ依テ嗣ガレシ○二十年齡ニ於テ彼レハ彼レノ父ノ權力ニ迄嗣續者ト而シテ彼レノ父ノ武才(Military genius)ヨリ遙カヨリ多クノモノトナリシ○彼レハ直チニ彼レノ父ガアツタリシ通り波斯人ニ逆ツテ希臘ノ大元帥ト承認サレシ○三百三十四年ニ於テ彼レハ彼レノ大遠征ニ於テ出發セシ(On the part)而シテ彼レハ決シテ馬基頓即チ希臘ニ迄販ラザリシ故ニ余輩ハ今希臘ノ歴史本部カラ余輩ノ眼ヲ彼方ニ轉ジ年少ナル征服者ノ不可思議ナル成績ヲ追跡セ子バナラヌ

(解) 非立死シ其子歷山位ヲ嗣グ世ニ所謂歷山大王是ナリ○王年甫メテ二十ニシテ父王ノ業ヲ承ク而モ用兵ノ才略ハ實ニ其右ニ出ツ○即位ノ初直ニ父ニ代テ波斯征討軍ノ

總督トナリ○紀元前三百三十四年遠征軍ヲ帥サテ發ス王再ヒ馬基頓(即チ希臘)ニ還ラザルヲ以テ暫ク眼ヲ希臘史外ニ轉シテ其非常ノ偉蹟ヲ踪子サル可ラス

歴山王
最初ノ
勝利

(九十一) アレキサンダーハ三萬五千人ノ小軍ヲ以テヘレスポント海峡ヲ渡リシ而シテゲラニカス(小亞細亞ニ於ケル)ニ迄進行セシ○此所ニ較々彼レ自分ノモノヨリハ尙大ナル波斯軍ガ出會サレ而シテ破ラレシ紀元前三百三十四年ナリ○彼レハ然ル後ニ小亞細亞ノ波斯ノ州郡ヲ通シテ勝チテ通行セシ而シテ叙利亞ニ入りシ○シリシア及叙利亞ノ境界ニ近キイッ○サスニ於テダリアス、コドマンナスノ麾下ノ莫大ナル波斯軍カ出會サレシ○土地ノ性質ガ數ニ於テ波斯ノ超過ガ應ジ爲サザリシト程斯様ナルモノデアリシ、アレキサンダーガ此所ニ著シキ勝利ヲ獲シ(紀元前三百三十三年)而シテダリアスハ彼レノ母及ビ彼レノ妻ヲ俘虜ト遺シツ、逃去セシ

(解) 歴山王三萬五千ノ寡兵ヲ帥キテヘレスポント海峡ヲ渡リ(小亞細亞)ノグラニカスニ進ミ○此ニ波斯ノ兵ト會戰シテ之ヲ敗ル時ニ紀元前三百三十四年ナリ○王長驅シテ敵ヲ敗リ小亞細亞ノ波斯領ヲ過ギ遂ニ叙利亞ニ入ル○波斯王大流士コドマンナス大

軍ヲ將テシリシア及ヒ叙利亞國境ノ近傍イッ○サスニ會戰ス○地形頗ル我ニ利アリ敵ノ大軍モ亦其効ナク王遂ニ大勝ヲ得(紀元前三百三十三年)大流士僅ニ身ヲ以テ免レ王母王妃共ニ希臘軍ノ虜トスル所トナル

其後ノ
變動

(九十二) アレキサンダーハ直チニ波斯人ヲ追跡シ(Follow up)爲サトリシ然レモイッサスカラ此時ニ於テ波斯ノ支配ノ下ノタイアゲーザ及ヒ埃及ニ逆ツテ進行セシ○此等ノ場所ノ服從ニ向ツテ二十ヶ月ガ足リシ○アレキサンダーノ方ニ於テ遠見ナル(farsighted) 政略ノ所爲ナルアレキサンドリリアナル大港市ノ創設ハ埃及ニ於テ彼レノ逗留ノ結果デアリシ

(解) 歴山王直ニ波斯人ヲ逐ハス更ニ轉シテ當時波斯ノ屬領タルタイアゲーザ及ヒ埃及ニ進ミ○僅ニ二十月ニシテ之ヲ平ク○歴山港ノ創設ハ王ノ埃及ニ寄寓シタル結果ニシテ亦深遠ナル政略ノ存スル所ナリ

ア
一
ベ
争
ノ
戦

族制ノ
起原ノ

楚語

ノ據所ヲ撰ンダリシ而シテ彼レノ帝國ノ充分ノ軍勢ヲ排列セシ○然レモ亞細亞ノ兵士ハ歐
シラント羅巴(兵)ニ迄劣リテアリシ而シテ侵寇スル軍勢ハ第一等ノ武才ニ依テ引率サレシ○結果ハ
 五方ヨリハ少キ希臘人ニ依リテ百万人ノ波斯軍ノ全キ敗北デアリシ(紀元前三百三十一年)
 ○巴比倫シユーサ及ヒパーセポリスナル帝國ノ三首府ガ殆ント抗抵無シニ降服セシテ程左
 様ニ勝利ガ結局デアリシ、而シテ波斯ノ國王ハ出奔人トナリシ而シテ間モナク暗殺サレシ
 (註)* 縦ヒ此役ハアーベラノ名稱ヲ保ツト雖モ其レガ實ニ二十哩隔リタル一村ヲ落ナルゴ
イガメラニ於テ戰ハレシ
 (解) 歷山王既ニ波斯ノ沿海諸州ヲ略定セシヲ以テ紀元前三百三十一年更ニ其心中ニ
 進入シテ敵ヲ求ム○爾來數戰ヲ經テ最後ノ戰ヲ亞西里亞ノアーベラニ闘ク○此役ヤ大
 流土預シメ地形ヲ相シ全國ノ兵ヲ擧テ此地ニ排置ス○然レモ亞細亞ノ兵ハ歐羅巴人ノ
 敵ニアラス況ンヤ入寇ノ兵ハ不世出ノ英將之ヲ帥ユルヲヤ○是ヲ以テ五方ニ足ラサル
 希臘兵能ク百万ノ波斯兵ヲ破ル(紀元前三百三十一年)○希臘兵ノ向フ所勢破竹ノ如ク
 波斯ノ三首府巴比倫シユーサパーセポリス風ヲ望ンテ降り波斯王倉皇遁逃シ忽ニシテ

歷山王
ノ功名

暗殺セラレ

(九十四) スクメ二十五ノ年齢ニ於テアレキサンダーハ彼レ躬カラテ西方亞細亞ノ君主ト
 見シ○然レモ征服者ノ功業ノ最モ著名ナル部分ガ今始マル可クアリシ○東國ノ華美ナル首
 府ニ於テ滞在スル(settling down)ノ代リニ彼レハ其所ニ征服ス可キ土地或ハ人ガアリシ
 間(so long as)推シ行ク可ク堪ヘ難キ刺撃ニ依テ促カサレシ
ソレスノカシ イルレシメチンロイムニス アイツド

(解) 歷山王齡僅ニ二十五歳ニシテ既ニ西方亞細亞ノ君主トナル○然レモ其事業ノ最
 モ世ニ著ル、者ハ更ニ此以後ニ在リ○王功名ノ心ニ激セラレ悠々トシテ波斯ノ盛都ニ
 安居スルヲ欲セス苟モ土地人民ノ征略ス可キ者アラハ進ンテ之ヲ取ランヲ謀ル

(九十五) 波斯ノ東ニ迄無限ノ殷富ノ者デアアル可ク信ゼラレタル新シキ且ツ知ラレザル世
 界ガ在リシ而シテ彼レハ其レニ侵入ス可ク決意セシ○半バ探索シツ、半バ征服シツ、彼レ
 ハ彼レノ途ヲ北部印度ニ於ケルハイファシス(近代ノサトレッジ)河丈ケ左様ニ遙カ茫漠タル
 東國ニ迄推シ進メシ(紀元前三百二十六年)* ○彼レハ此所ニ統御シツ、發見サレシ所ノ王
 公ヲ服從セシ而シテ次ギニ東方ニ推シ寄せ而シテ大陸其レハ大ナラザル距離ニ於テ盡ル可
ノレス レニシ テダミキ

印度ノ
征遠ノ

第三年期ノ歴史

ク信ゼラレシ所ノ大陸ノ服従ヲ果タス可ク欲セシ

(註)* 五十五頁ニ對セル地圖ニ於テアレキサンダーノ進路ヲ見ヨ○パーセポリスカラ彼
 レハエグバタナニ迄其所ヨリシテ東方メデアハハカニアパーシア而シテアリア
 ナ通シテ後者ニ於テアレキサンドリアノ市府(近世ノパラット)ヲ經營シツ、次ギ
 ニ南方ドランジアナヲ通ジ、次ギニ(三百二十年ニ於テノ終リニ)東北ノ方アラコ
 シアヲ通シテ其處ニアレキサンドロポリス(近世ノカンダハハナルカ)ヲ經營シツ
 、次ギニ北方パロパミサス即チヒンド、クッシュノ山脈ヲ越エテオクザス河ヲ渡
 リ而シテ(三百二十九年ニ於テノ首メニ)バクトリアアナ及ビングデアアナヲ横キリ
 ツ、マラカンダ(近世ノサマーカンド)ナル後者ノ首府ニ迄、次ギニ北方ジアクザ
 ーティス河ニ迄其所ニ彼レハアレキサントリア、エスケート(即チ最後若シクハ最
 遠)ヲ經營セシ、次ギニ再ビ跡返リテ種々ノ方角ニ於テツグデアアナ及ビバクトリ
 アナヲ馳驅シツ、次ギニ三百二十七年ニ於テ東南ノ方ニバクトリアアナカライン
 ダス河^{スカーリン}其レヲ彼レハタキシラニ於テ渡リシ所ノインダス河ニ迄、次ギニ東方ブセ

フアラ及ビニシアテ經營シツ、ハイダスビス河ニ迄而シテ終リニハイフアシス河
 ニ迄進行セシ

(解) 波斯ノ東方ニ當リ一ノ新世界アリ當時未タ世ニ知ラレスト雖凡頗ル殷富ノ稱ア
 リ王心ヲ決シ將ニ此地ニ入ラント欲ス○乃チ一ハ風土ヲ探索シ一ハ人民ヲ征略シ深ク
 東方ニ進ミ北印度ノハイフアシス河(近世ノサトレッジ)ニ至ル(紀元前三百二十六年)*
 ○王其地ノ諸王ヲ從ヘ更ニ東方ニ進ミ盡ク亞細亞大陸ヲ平ケント欲ス蓋シ當時印度ヲ
 距ル丁僅ニシテ此大陸既ニ盡ルト信スレハナリ

(註)* 五十五頁ニ對スル地圖ニ就キ歷山王行軍ノ經路ヲ參觀スヘシ○王パーセポリ
 スヨリエグバタナニ至リ其レヨリ東方馬太ハハカニアパーシア及ヒアリアニ
 達シ此處ニ歷山府(近世ノハラット)ヲ建ツ次ギニ南方ドランジアナヲ過ギ次
 ギニ(紀元前三百三十年ノ末)東北ノ方アラコシアニ入り此地ニアレキサンド
 ロポリス府(現時ノカンダハハナランカ)ヲ建ツ次ギニ北方パロパミサス即チ
 ヒンド、クッシュノ山脈ヲ横キリオクザス河ヲ渡リ且(紀元前三百二十九年ノ始)

バクトリアナ及ヒソグディアナニ入りソグディアナノ首府マラカンダ(近世ノサマーカンド)ニ至リ次ギニ北方ジヤクザーティス河ニ達シ此地ニアレキサンドリア、エスケート府(「エスケート」トハ最終或ハ最遠ノ義ナリ)ヲ建ツ是ニ至リ更ニ踵ヲ旋ラシテソグディアナヲ縦横ニ馳驅シ紀元前三百二十七年バクトリアナヨリ東南シテイ نداス河ニ至リタキジラ地方ニ於テ之ヲ渡リ次ギニ東方ハイダスビス河ニ至リ此ニブセフアラ及ヒニシアノ二府ヲ建テ遂ニハイフアシスニ達ス

印度ヨリ歸ル

(九十六) 然レ臣彼レノ兵士ガハイフアシス河ヨリ或ル遙方ニ行ク可ク辭レニミシ、其故ニ彼レハ本國ニ皈ル可ク準備ス可クモチシ○彼レノ歩ミヲ再踏スル^{レト}ノ代リニ(In Place)彼レハ全ク新規ノ道路ニ依テ皈行セシ(Went back)トノ其レハ彼レノ聰明ナル才智ノ證據デアル○彼レハハイダスビス河及ビイ نداス河ヲ下ル可ク(To sail down)艦隊ヲ築造セシ同時ニ彼レノ軍ノ旅團ハ彼等ノ河堤ヲ進ミ下リシ○印度洋ニ達スル所デアレキサンドーガ彼レノ水師提督ニアカスヲ艦隊ヲ以テ廻リテユーフラティス河ニ迄送遣セシ、彼レ彼レ射カラハゼドロ

シア(ベルチスタン)及ビカーマニアノ沙漠地方ヲ通シテ波斯ニ迄陸上ニ彼レノ軍ヲ引率セシ○縦ヒ彼レノ軍兵ハ恐ルベク沙漠ニ於テ苦惱セシト雖モ尙ホアレキサンドーハ彼レノ軍勢ノ大半(Greater part)ヲパーセポリスニ迄持テ返リシ(紀元前三百二十四年)而シテ新ナル企業ニ向ツテ準備ス可ク始メシエンタープライゼス

(解) 然レ臣王ノ軍兵皆ハイフアシス河以東ニ進ムヲ悦ハス王己ムヲ得ス本國ニ皈ルノ準備ヲ爲ス○其途ヲ取ルヤ故道ニ出デスシテ新路ニ就ク亦以テ王ノ智略人ニ過クルヲ知ルニ足ル○王一艦隊ヲ編制シテハイダスビス及ヒ印度ノ兩河ヲ下ラシメ陸軍ヲシテ其兩河ニ沿ヒテ進マシム○己ニ印度洋ニ達スル後水師提督ニアカスヲシテ艦隊ヲ將テユーフラティス河ニ廻航セシメ親ラ陸軍ヲ督シゼドロシア(ベルチスタン)及ビカーマニアノ沙漠地方ヲ經テ波斯ニ入ル○沙漠ヲ通過スルニ當リ軍兵大ニ艱難ニ遭フト雖モ其大半ヲ以テ恙ナクパーセポリスニ歸ルヲ得タリ是ヲ紀元前三百二十四年ト爲ス王是ニ於テ更ニ一功業ヲ舉ルノ備ヲナス

歴山王崩ス

(九十七) アレキサンドーノ計策ハ三十三ノ年齢ニ於テ巴比倫ニ於テ彼等ノ計畫者ノ俄カ

ノ死去(紀元前三百二十三年)ニ依テ終リニ迄持來サレシ○斯クテ少壯(early manhood)ノ氣力ニ於テ切斷サレテ(cut off)彼レハ彼レノ權力ノ又ハ彼レノ計策ノ一ツノ嗣續者ヲ遺サハリシ○彼レノ臨終ノ病床ニ於テ誰レニ迄彼レハ帝國ヲ遺セシカヲ問ハレシ時ニ彼レハ「最強ノ者」ニ迄ト云ヒシ○然レモ其所ニ充分強キ誰レモガアラザリシ○斯クシテ莫大ナル領地ガ彼レノ死後間モナク碎片ニ迄分裂セシ而シテ政略及ヒ征服ノ彼レノ豪氣ナル計畫ガ彼レノ墳墓ニ於テ埋没サレシ

(解) 然ルニ王疾ニ罹リ忽然巴比倫ニ崩ス時二年三十三其謀ル所ノ事業空ク終テ告ク○王壯ニシテ崩スルヲ以テ其遺業ヲ襲クヘキ者ナシ○其終リニ臨ミ人アリ王ニ問フテ曰ク誰ニ帝國ヲ傳フヘキヤト王答テ曰ク勇武絶倫ノ者ニ傳フヘシト○然レモ勇武絶倫ノ人ナシ○是ヲ以テ王ノ崩後大帝國忽チ四分五裂シテ其政略及ビ征定ノ偉業モ王ノ身ト共ニ墳墓ノ中ニ歸ス

(九十八) 縦ヒアレキサンダーノ大帝國ハ殆ンド直チニ片々ニ分裂セシト雖モ尙ホ彼レノ功業ノ結果ハ物テノ時ニ迄殘存シタ○一大結果ハ征服セシ土地ノヘルラス風ニ感化スル

歷山王
征服ノ
結果

ト再言スレバ希臘ノ思想及ヒ希臘ノ開化ニ迄彼等ノ風化スルヲデアリシ○希臘ノ國語ガ許多ノ國其所ニ人民ガ出生ニ依テ希臘人デアラザリシ所ハ許多ノ國ヲ通シテ物テノ政府及ヒ文學ノ言語トナリシ○斯クシテ彼女ハ其レガアリシ如ク世界ノ大部分ノ智力上ノ征服ヲ爲セシト其レハ希臘ガ彼女ノ政治上ノ自由ヲ失フ可ク始メシトノ瞬間ニ於テアリシ

(解) 歷山王ノ大帝國忽チ分裂スト雖モ其功業ハ永ク万世ニ赫耀ス○其一大結果ハ王ノ征服シタル地方皆希臘ノ思想及ヒ其文明ニ風化シタルト是ナリ○書ニ曰ク「希臘語ハ本希臘人ニ非サルノ諸國ト雖モ皆之ヲ取りテ公務及ヒ文學ノ用語ト爲ス○故ニ希臘ノ政治ノ自由ヲ失フノ時ハ正ニ是レ其才智上ノ勝利ヲ世界ノ過半ニ得ルノ時ナリ」ト

第三 歷山王ノ嗣續者

(九十九) アレキサンダーノ大帝國ハ云ハレタ通り彼レノ死後片々ニ迄落チシ而シテ彼レノ麾下ニ戰フタリシ所ノ將帥ガ碎片ニ向ツテ二十年間劇烈ニ爭鬪セシ○三百一年ニ於テ斷然タル戰鬪ガフリジアニ於ケルイプサスニ於テ起リシ其レノ結果ハ叙里亞及ヒ東方ヲセリユーカーカスニ迄埃及ナトレミーニ迄スレースタリシマカスニ迄而シテ馬基頓ヲカッサア

帝國ノ
分裂

ンダーニ迄與ヘシ所ハモハナリ○此等ノ人ニ依テ經營サレタル諸王國ノ内二個ガ特別ナル大切ノモノデアルスチハチ埃及ニ於ケルトレミー家ノ王國及ビ東方ニ於ケルセリユールカスインテレスト家ノ王國ナリ

(解) 既ニ記載スルガ如ク歴山王ノ崩後大帝國滅裂シ嘗テ王ノ麾下ニ在リテ戰鬥ニ從事シタル諸將互ニ割據シテ其碎片ヲ爭ヒ相激戦スルヲ二十年ノ久キニ及フ○紀元前三百一年ニ至リフリジアノイプサスニ大戰シテ局ヲ結ビ叙里亞及ヒ東國ハセリユールカスニ埃及ハトレミーニスレースハリスマカスニ馬基頓ハカッサンダーニ皈ス○是等諸將ノ創設シタル王國中埃及ノトレミー家東土ノセリユールカス家ノ兩王國特ニ世ニ著ル

埃及

(百) 埃及ハアレキサンダーノ將帥ノ一人ナルトレミー、ソータートシテ知ラレタルトレミーノ鐵ニ迄落チシ○彼レハ不撓ナル國王デアリシ久シキ在位(紀元前三百二十三年乃至二百八十三年)ノ間概シテ(on the whole)善ク埃及ヲ支配セシ○希臘人及ヒ馬基頓其人ヲ彼レガ彼レト共ニ連レ行キシ所ノ或ハ其人ハ埃及ニ迄移住セシ所ノ希臘人及ヒ馬基頓人ガ支配スル種族デアリシ、然レモ埃及人ハ壓抑セラレザリシ何トナレハ文官(civil rulers)ノ多

クハ本土人デアリシ而シテ格別ノ尊敬ガ舊來ノ埃及ノ宗教ニ迄拂ハレシ故ニ

(解) 埃及ハ歴山王ノ一將世ニ所謂トレミー、ソーター王ノ手裡ニ皈ス○王勇壯英邁ニシテ久ク(紀元前三百二十三年ヨリ二百八十二年マデ)埃及ヲ統御シ其間概シテ善政ヲ施セリ○當時其治權ヲ掌握セシ者ハ嘗テ王ニ從ヒ若クハ好ンテ自ラ移住シタル希臘人及ヒ馬基頓人ナレモ文官ハ概シテ土人ニ採リ且特ニ埃及古來ノ宗教ヲ尊敬セシヲ以テ埃及人モ亦壓制セラレシコナシ

(百一) トレミー一世ハ亦トレミート稱セラレタル國王ノ連續ニ依リ下ツテトレミーノ血統ノ最後ナル女王クレオパトラノ時迄繼續サレシ○彼女ノ死去ニ於テ(紀元前三十年)埃及ハ羅馬ノ州郡トナリシ

(解) トレミー第一世ノ子孫亦トレミート稱シ相嗣テ女王クレオパトラニ至ルクレオパトラハトレミー統ノ最後ノ君ナリ○女王死シテ埃及羅馬ノ一州トナル

(百二) 埃及ノ歴史ハトレミー家支配ノ三世紀間主トシテ歴山特里亞其レハ首府ト爲サレシ所ノ而シテ其レハ速カニ大ナル而シテ繁榮スル都府トナリシ所ノ歴山特里亞ノ歴史デ

歴山府ノ文明

トレミ家

アル○文學、哲學及ビ技術ガ熱心シテ研究サレシ、宏大ナル歴山特里亞ノ書籍館ハライブラリー五十万卷ニ迄膨張サレシ而シテ新奇ニシテ且一種ノ開化及ヒ文明ガリブラリー(希臘埃及及ヒ猶太ノ混合ナリ)トレミー家ノ累世壇制ノ下ニ尼綠河畔ニ於テ興起セシ

(解) トレミー家治世三百年ノ間埃及ノ歴史ハ概シテ歴山府ノ歴史ニ過キス初メ歴山府ヲ國都ト爲ノヨリ幾モナク盛大繁榮ノ都府ト爲リ○文學、哲學及ヒ技術ノ若キ府民致々トノ之ヲ講究シ府ノ大書籍館ハ其藏書ノ多キ五十万卷ニ及フ而テ新奇特殊ノ開化文明(即チ希臘埃及及ヒ猶太三國ノ文明ヲ以テ混成セル文明)ハトレミー家累世專制政治ノ下ニ於テ尼綠河畔ニ隆興ス

(百三) セリユールカス家ノ王國ハアレキサンダーノ將帥ノ他ノ者ナルセリユールカスニ依ツテ建國サレシ(紀元前三百十二年)○最初ニ王國ハ只巴比倫及ビスシアナメディア及ビ波斯ナル近傍ノ地方カラ成立セシ、然レテセリユールカスガ其後彼レ躬カラチ一方ニ於テハインダス河及ビユーフラテイス河而シテ他方ニ於テジアクザール河及ヒ印度洋ノ間ニ横タハル所ノ惣テノ國土ノ君主ト爲セシ○尙ホ其他ノ増加ガ間モナク小亞細亞ノ殆ント惣テニ於

セリユールカスノ王國

テ爲サレシ○セリユールカスガ今彼レノ首府ヲ巴比倫カラ叙里亞ニ於テアンディオックノ新置ノ希臘都府ニ迄遷セシ

(解) セリユールカスモ亦歴山王ノ一將ニシテセリユールカス家ノ王國ヲ創立ス(紀元前三百十二年)○其初メハ僅ニ巴比倫及ヒ其近隣地方ナルスシアナ馬太波斯ノミチ以テ王國ヲ成スニ過キスト雖レ後數年ナラスシテセリユールカス四方ヲ征服シ東西ハ印度ユーフラテイス兩河ノ間南北ハジアクザール河及ヒ印度洋ノ間ニ在ル諸國ノ君主ト爲ル○後幾モナク更ニ小亞細亞ノ過半ヲ其版圖ニ加ヘ○都ヲ巴比倫ヨリ希臘人ノ新市府叙里亞ノアンディオックニ遷ス

(百四) 二百八十年ニ於テ暗殺ニ依テ死セシ所ノセリユールカスハセリユールカス家トシテ知ラレタル王其人ハ凡ソ二世紀間彼レガ建國シタリシ王國ヲ越エテ支配セシ所ハ王ノ系統ニ依テ嗣續サレシ○然レテ歴史ノ此部分ハ格別ニ龜鑑タルベクアラマ而シテセリユールカス家ノ王國ハ文明ノ歴史ニ於テ一ツノ著明ナル重要ノモノデアラザリシ○二世紀ガ戰爭及ヒ叛亂其レノ半ハニ於テ王國ガ漸次ニ其レノ宏大ナル割合ヲ失ヒシ所ハ戰爭及ヒ叛亂ノ譚ヲ以テ

晩年ノ史

充タサルハ、其レノ殘餘ハ終ニポムペーニ依テ征服サレ而シテ紀元前六十五年ニ於テ羅馬帝國ニ迄併呑サレシ

(解) 紀元前二百八十年セリユーカーカス暗殺セラレテ後セリユーカーカス統ノ諸王相續テ位ニ登リ二百年間セリユーカーカス創立ノ王國ヲ統御ス○然レモ此間ノ歴史タル一事ノ以テ龜鑑ト爲シ文明史ニ影響ヲ及ボスニ足ル者ナシ○其二百年間ノ歴史ハ徒ニ戰爭反逆ヲ以テ充滿シ漸ク邦土ノ大部ヲ失ヒ僅ニ其餘ス所ノ部分モ紀元前六十五年遂ニポムペーノ征定スル所トナリテ羅馬帝國ニ併呑セララル

第四 馬基頓及ヒ希臘ノ晩年ノ歴史

(百五) 余輩ハ今紀元前三百二十三年ニ於テアレキササンダー大王ノ死亡ニ迄續イテ馬基頓及ヒ希臘ニ於テ起リシ所ノモノニ迄返ヘル○アレキササンダーノ死亡ニ於テ希臘人ハ馬基頓王ノ踏臺ニ迄ヘルラスヲ束縛セシ所ノ連鎖ヲ破毀スルノ高キ希望ニ依テ感動セラレシ○雅典ガデモスセニス及ヒハイペリデスノ下ニ率先テ取リシ、彼等ガ希臘諸州ノ聯合ヲ構成セシ而シテ「ラミア戰爭」ト稱セラレシ所ノモノニ於テ從事セシ (紀元前三百二十三年)

希臘ニ抗ス

希臘末世ノ政治

乃至三百二十一年) ○然レモ聯邦ガ不成功デアリシ而シテ馬基頓ノ羈軛ガ以前ヨリハヨリ多ク確ト彼等ノ上ニ固着サレシ

(解) 今翻テ紀元前三百二十三年歴山大王ノ崩後相續テ馬基頓希臘ノ兩國ニ關スル沿革ヲ記スヘシ○大王ノ崩スルヤ希臘人ハ慨然トノ昔時ノ自由ヲ回想シ久クヘルラスヲ縛シテ馬基頓王ノ脚椅ニ繫キタル連鎖ヲ斷テ以テ其獨立ヲ復セントテ望ム○是ニ於テ雅典人デモセニスハイペリデスヲ戴イテ之カ首唱ト爲リ希臘諸州ノ同盟ヲ結ヒ所謂「ラミア戰爭」ニ從事ス(紀元前三百二十一年ヨリ三百二十一年ニ至ル)○然レモ同盟諸軍其効ヲ奏セス馬基頓ノ羈軛更ニ嚴酷ヲ加フ

(百六) 國ガ全ク羅馬人ノ權力ノ下ニ來リシ前ニ希臘歴史ノ終リノ日ハ彼等ノ前ニ往キシ所ノ時カラ種々ノ方法ニ於テ區別サル、○希臘ノ主ナル邦ハ馬基頓、アキーア、エトリア及ヒ士巴太デアリシ、馬基頓ハ容易ニ知ラル、デアロウ所ノ理由ニ向ツテ、アキーア及エトリアハ希臘ノ政事ニ於ケル新事實即チ諸州ノ聯合同盟(Federal Leagues)ノ構成カラナリ

希臘同盟

史ニ比スレバ大ニ相逕庭スル者アリ○當時希臘ノ諸大州ハ馬基頓アキリアエトリア及
ビ士巴太トス而テ馬基頓ノ強盛ナル理由ハ容易ニ知ルヲ得ベク又アキリア及ヒエトリ
アハ希臘政治上ノ一新事件即チ諸州同盟聯合ヲ成立セシテ以テ當時世ニ著ル

(百七) 此等ノ同盟ノ性質ハ瑞西ノ及ビ余輩自分ノ共和國ノ諸州ノ同盟聯合ニ迄同様デア
リシ、再言スレバ其所ニ諸州ノ方ニ於テ彼等ノ權力ノ部分而シテ殊ニ和親及ヒ戰爭ノ疑題
ノ彼等ノ支配ヲ中央政府其レニ於テ惣テガ參與ヲ有セシ所ハ中央政府ニ迄委棄ス (give
up) 可ク承諾ガアリシ ○此等ノ同盟ガ今希臘ノ政事ニ於テ格別ノ重要ノモノデアル可ク來
リシ何トナレバ都府ガ一個一個 (one by one) ニ立チシ間ハ彼等ガ馬基頓王逆ツテ彼等ノ自
由ヲ保ツコトノ一ツノ機會ヲ有セサリシトノ其レガ發見サレシ故ニ ○此等同盟聯合ノ最モ
重要ノモノハアキリア (紀元前二百八十年ニ於テ構造セテレタル) 及ヒエトリアノ同盟デア
リシ ○此等ノ二大同盟ノ外ニ其所ニ尙小ナル聯合ガアリシ、其故ニ一端 (one end) ニ於テハ
士巴太而シテ他ニ於テハ馬基頓ノ取除ヲ以テ希臘ノ大半 (Great Part) ハ種々ノ同盟ノ裡ニ分
割サレシ (was parted out)

聯合ノ結果

(解) 此等同盟ノ形狀ハ今瑞士諸州及ヒ北米合衆國ノ聯合ノ如ク諸州ハ各自一部ノ權
力殊ニ宣戰講和ノ權力ヲ中央政府ニ委任シ共ニ中央政府ノ政治ニ參與ス ○蓋シ各州孤
立スル時ハ馬基頓王ニ抗シテ其自由ヲ維持スルヲ能ハス是レ當時希臘ノ政治上特ニ同
盟ノ必要ナル所以ナリ ○此數同盟中其主タル者ハアキリア同盟 (紀元二百八十年ニ編
成ス) 及ヒエトリア同盟トス ○此二大同盟ノ外猶小聯合アリテ一方ニハ士巴太他ノ一
方ニハ馬基頓ヲ除キ希臘ノ大半ハ皆聯合ニ加盟ス

(百八) 希臘諸州ノ此等ノ聯合ハ有用ノ目途ヲ達セシ何トナレバ彼等ハ馬基頓ニ逆ツテ獨
立ノ體面ヲ保持ス可ク彼等ヲ得セシメシ故ニ ○(ヘルラスガ彼女ノ旺盛ナル時ニ於テ產出
シタリシ所ノ種類ノ二人ノ愛國者ナル) アレイタス及ビフィロピイメンノ下ニアキリア同盟
ノ諸州ハ著明ナル昇達ニ迄興起セシ (紀元前二百四十五年乃至二百二十二年)、然レハ士巴太
ノ猜忌ナル我慾ガ尙ホ一度不和及ヒ爭鬪ニ迄導キシ而シテ馬基頓ノ王ガ裁定者トシテ招カ
ル所デ尙ホ一度主人デアリシ

(解) 希臘諸州聯合ハ能ク馬基頓ノ壓制ニ抗シテ獨立ノ體面ヲ維持シ其素志ヲ達スル

ヲ得タリ○アキーア同盟諸州ハ二人ノ愛國者アレタスフイロヒーメン(其人トナリ頗ル希臘ノ盛時ニ盡出セル愛國者ニ類ス)ヲ推戴シテ國勢大ニ振フ然レハ士巴太嫉妬專恣ニシテ國中和セス内亂ヲ醸ス馬基頓王其調和ヲ委任セラレ之ニ由テ遂ニ再ヒ希臘ノ國主トナル

馬基頓及ヒ羅馬

(百九) 然レハ馬基頓其レ躬カラガ將ニ尙大ナル國ニ依テスナハチ羅馬ニ依テ併吞サル可クアリシ○余輩ガ直チニ見ルデアロウ如ク羅馬人ハカルセージノ勢力ヲ破壊シタトコロデ彼等ノ野心ヲ東方ニ向ケシマノ其レハ此時ニ於テアリシ○久シキ爭鬪(紀元前二百年乃至百六十八年)後馬基頓ノ王國ガ紀元前百六十八年ニパイドナノ戰爭ニ於テ轉覆サレシ而ノ馬基頓王ノ最後ナルパーセアスガ羅馬ノ將軍ノ凱旋ヲ俘虜トシテ裝飾セシ

(解) 然レハ馬基頓モ亦將ニ一大強國羅馬ニ併合セラレントスルノ勢アリ○羅馬人既ニカーセージ國ヲ取り漸ク東方諸州ヲ窺フニ至リシハ蓋シ此時(後篇ニ至リテ記載スルカ如ク)ニ在リ○爾後戰鬪久シキヲ經テ(紀元前二百年ヨリ百六十八年ニ至ル)紀元前百六十八年ニ至リ終ニパイドナノ役ヲ以テ馬基頓國覆滅セラレ最後ノ國王パーセア

希臘ノ末世

ス敵ノ虜トナリ羅馬一將軍ノ凱旋式ヲ飾ルノ具トナル
(百十) 此事變ノ後希臘共和國ハ短キ時ノ間獨立ニ遺サレシ、然レハ尙ホ一度彼等躬カラノ内ニ爭鬪スル所デ彼等ハ終ニ(紀元前百四十六年)アケーアノ名稱ノ下ニ羅馬ノ州郡ニ迄變ゼラレシ

(解) 此後數年間ハ希臘ノ共和諸州猶ホ獨立スト雖内亂交々起リ(紀元前百四十六年)終ニアケーアト稱スル羅馬ノ一州ト爲ル

ヘルラ衰微

(百十一) 晩年ノ希臘ノ智力上ノ歴史ハ其レノ隆盛ナル時代ノ其レカラ異ナル性質ノモノデアリシ○其所ニ學者ノヨリ多クガアリシ然レハ創造スル才智ノヨリ少シガアリシ○余輩ハアレキサンダーノ東洋ノ征略及ビ東國ノ新シキ王國ニ於テ希臘ノ統御ガ亞細亞ヲヘルラス風ニ化スルベク傾キシヲ見タ、然レハ其處ニヘルラス彼女躬カラニ於テ亞細亞ノ反照ノ勢力ガアリシ○卑屈及ビ諂諛ノ東洋ノ習俗ガ舊來ノ豁如タル獨立及ビ俠氣ヲ代理セシ、愛國心及ビ公共心ガ衰微セシ、文學ガ其レノ活氣ヲ失ヒシ、技術ガ品格落チシ而シテ人民ハ村夫子、諂諛者、及ビ僥倖者ノ國民ニ迄沈落セシ

夫レハ希臘デアリシ然レモ最早活希臘デアラザリシ

(解) 希臘末世ノ文運ハ大ニ其盛時ト異ナリ○學者ノ數ハ加フル所アレモ創意發明ノ才智ヲ減セリ○蓋シ歴山王ノ東洋征服ト東方新王國ニ於テ希臘ノ統治トハ亞細亞ナシテ能ク希臘ニ風化セシムト雖モ希臘ノ亞細亞ヨリ反動ノ影響ヲ蒙ルモノ亦少カラス○東洋卑屈諛諛ノ弊風漸ク浸潤ノ往時ノ質朴ナル獨立勇敢ノ氣象ヲ一掃シ愛國ノ情公共ノ心日ニ愈々消耗シテ文學ハ氣骨ヲ失ヒ技術ハ粗惡ニ流レ上下惡弊ニ沈淪シ矜誇阿諛俗ヲ爲シ實着ノ風地ヲ拂ヒ投機ノ業ヲ好ム後人ノ歌ニ曰ク

ぎりーきこくはあのみにて

いきたるすがたなかりけり

○温習ニ向ツテノ分析一覽

第一正確ナル年期「ドリア」族ノ移住カラ波斯戰爭ノ首メニ迄紀元前千百年乃至五百年

第二年期「波斯戰爭」ノ首メカラケロニアニ於テ馬基頓ノ非立ノ勝利迄紀元前五百年乃至三百三十八年

ノ三年

期

第三年期「非立」ノ勝利カラ羅馬人ニ依テ希臘ノ併呑ニ迄紀元前三百三十八年乃至百四十六年

第一年期紀元前千百年乃至五百年

主要ノ日附

紀元前

英雄時代ハ希臘ノ種族ノ一般ノ移住ペロポ

ン子サスニ於テ「ドリア」族ノ殖民及ビ小亞
ドリア族ノ移住……………千百年

細亞ノ海岸及ビ其他ニ於テ殖民ノ建立ヲ以
小亞細亞ニ於テ

テ終リシ○續ク三或ハ四世紀ニ於テ士巴太
經營サレタル殖民……………(凡)千年

人ガリカーガスニ依テ設立セル政府ノ形態
リカーガスノ時代……………(凡)八百五十年

ノ下ニメッセニア人並ニ他ノ者ヲ征服シテ
第一メッセニア戰

ペロポン子サスノ率先ノ邦トナリシ○雅典
爭ノ始……………七百四十二年

人ハ其間ニ寡人政治トナリタリシ○ヨリ多
第二ノ始……………六百八十五年

ク中和ノ政府ガソロンニ依テ設立サレシ、
ソロンノ政体……………五百九十四年

然レモ爭鬪ガ數々デアリシ而シテピシスト
ピシストラダス

總覽

ラタスガ權力ヲ略取セシ其レハピストラタ
ス家が放逐サレシ而シテ雅典ガ純粹ノ民主
政治トナリシ迄彼レノ子孫ト留存セリ

總裁官トナリシ……………五百六十年
ピシストラタス
家ノ放逐……………五百十年

第二年期紀元前五百年乃至三百三十八年

小亞細亞ニ於テアイオニアノ希臘人ガ波斯
カラ叛キシ而シテ雅典ガ彼等ニ援兵ヲ送り
シ○其レ故ニダリアスガ希臘ニ逆ツテマー
ドニアスヲ送遣セシ、然レモ彼レハ彼レノ
艦隊ガ暴風ニ依テ破壊サル、所デ馬基頓ヨ
リ尙ホ遙カニ進マザリシ○然ル後ニダリア
スガダティスノ下ニ莫大ノ軍勢ヲ送遣セシ
然レモ其レガマラソンノ戰ニ於テ破ラレシ
○ダリアスガ死シタトコロデ彼レノ子ザー

波斯ニ逆テアイ
オニア希臘人ノ叛乱……………五百年
マードニアスノ遠征……………
……………四百九十二年
マラソンノ戰……………四百九十年

總覽

クセズガ無數ノ陸軍及ビ艦隊ヲ以テ希臘ノ
上ニ動キシ、彼レハサーモペリーニ於テ成
功シテアリシ而シテ雅典ヲ略取セシ、然レ
モサラミスニ於テ而シテ殘餘ノ軍勢ハアラ
ティア及ビミケールニ於テ破ラレシ○其レ
ハ波斯ノ計畫ヲ全ク失敗ス可ク惹起セシ所
ノモノナリ○サラミスノ戰ニ繼グトコロノ
半世紀ハ雅典ノ歴史ノ最モ燦然タル時代デ
アリシ(「ペリクルス」ノ時代)、然レモ雅典
ノ宏大ナル「ガペロポン」子サスノ戰亂ニ迄
導キシ○此レハニシアスノ和睦ニ依テ中絶
サレシ、然レモ再發サル、所デ雅典人ガ種
々ノ交戦ニ於テ挫折サレ而シテ終ニエゴス

サーモペリーノ
戰……………四百八十年
サラミスノ戰……………四百八十年
プラティアノ戰……………四百七十九年
ミケールノ戰……………四百七十九年
ヘロポン子サス
ノ戰亂ノ始……………四百二十一年
ニシアスノ和睦……………四百二十一年
エゴス、ホタモス

ポタモスニ於テ破ラレシ、其故ニ此戰ノ結
 果ハ士巴太ノ專權デアリシ○士巴太ハリユ
 ークトラニ於テ彼女ノ敗北ニ迄援群ニ續キ
 シ○セペスガ今暫クノ間率先國トナリシ、
 然レモ希臘ハ不和ニ依テ分裂サレテ間モナ
 クケーロニアノ戰ニ於テ馬基頓ノ非立ニ依
 テ服従サレシ

第三年期紀元前三百三十八年乃至百四十六年

馬基頓ノ非立ハ戰爭及ビ權謀ニ依テ彼レ躬
 カラテ希臘ノ君主トナセシ而シテ然ル後ニ
 波斯ニ逆ツテ大元帥ト推撰サレシ、然レモ
 彼レハ死セシ而シテ彼レノ子アレキサンダ
 ーガ勞ヲ執リシ○彼レハグラニカスニ於テ
 馬基頓ノ非立ノ
 死亡……………三百三十六年
 ………………三百三十四年

總覽

而シテイツサスニ於テ彼等ヲ破リツ、小亞
 細亞ニ於ケル波斯人ニ逆ツテ、然ル後ニ彼
 等ヲアーベラノ決戰ニ於テ敗リツ、埃及及
 ビ亞西里亞ニ迄進ミシ○彼レハ其後東方イ
 ンダス河外ニ迄進ミシ而シテ其レヨリシテ
 已比倫ニ迄返リシ其處ニ彼レハ死セシ○ア
 レキサンダーノ死後彼レノ將帥ガ爭ヒシ而
 シテ帝國ガ分割サレシ○希臘ハ其間ニ内亂
 ノ有様ニ迄陥イリシ而シテ終ニ羅馬ノ州郡
 トナリシ

第五章 希臘ノ文明

CHAPTER V. GREEK CIVILIZATION.

第一 政事ノ思想

(百十二) 希臘ノ歴史ハ縦ヒ短キ年期ノ間(偉大ノ時代ハ紀元前四百九十年マテソノ戰
ト而シテ紀元前三百三十八年馬基頓ノ非立ノ凱旋トノ間ノ一世紀又半ニ迄限ラル)世
界ノ只小部分ノ歴史ト雖ヒ希臘人ハ世界ニ真正ノ自由及ヒ真正ノ開化ハ何テアル歟ヲ示ス
可ク最初ノ人民デアリシトノ理由ニ向ツテ永久ナル利益ノモノデアアル○希臘ノ共和國ニ
於テ「世界ノ政治上及ヒ智力上ノ生活ガ始マリシ」トノ其レガ云ハレタ
バイマシント
コムモンウエニス

(解) 希臘史ハ其關スル所僅ニ薑爾タル一小國ニシテ且年紀ヲ經ルト少シト雖ヒ(其
盛世ハ紀元前四百九十年マテソノ戰ヨリ同三百三十八年馬基頓王非立ノ凱旋ニ至ル
一世紀半トス)其甚タ緊要ナル所以ノ者ハ全世界ニ於テ始メテ真正ノ自由真正ノ文明
ノ何物タルヲ知ラシメタルハ希臘人ナルヲ以テナリ○或ハ曰ク世界ノ政治及ヒ智力ハ
始メテ希臘共和國ニ發達スト

(百十三) 世界ノ開化ニ迄希臘ニ依テ與ヘラレタル大ナル補助ハ自由自治ノ邦國ノ
實際ノ例デアリシ○東洋諸國ニ於テ單一ノ政府ハ擅制政治デアリシ、其所ニ獨裁ノ
君主ガアリシ而シテ其所ニ臣民或ハ奴隸ノ一塊ガアリシ然レモ政事上ノ意味ニ於ケルニツ
フライ
セルフ○ガヴァニシヤ
アソリユート
モリス

ノ人民ハアテサリシ○「人民ニ依テ人民ノ爲メニ人民ノ政府ナル」共和政治ノ説明ヲ與フ
ル可ク其レハ希臘諸州ニ向ツテ遺サレシ○此レハ大事實デアリシ、人心(Man's mind)ガ擴
張シ能フトノ而シテ進歩ガ出來ベクアルトノ其レハ自由ノ大氣ニ於テノミデアアル何トナ
レバ政事上ノ自由ハ智力上ノ自由ヲ意味スル故ニ其故ニ、此レ無シニハルレスノ才智ノ種
子ハ恐ラク決シテ文學及ヒ技術ノ彼等ノ富盛ノ稟實ヲ結ハナシダテアロウ
フロベナリー
フレイテシヤギン
アトモフワイヤ
エクス

(解) 希臘ノ嘗テ大ニ世界ノ文明進歩ヲ資益セシ所以ノ者ハ其始メテ自由自治ノ制
度ヲ實行シタルヲ以テナリ○東洋諸國ニ在テハ其政體皆專制ニシテ上ニ專横ノ君主ア
リテ下ニ政治上ノ所謂人民ナル者ナク其人民ハ唯臣屬若クハ奴隸ノ一團塊タルニ過キ
ス○然ルニ希臘諸州始メテ民主政治ノ的例ヲ世界ニ示セリ民主政治トハ人民ノ政治ニ
シテ人民ノ爲ニ人民ノヲ設クル者タリ○蓋シ自由ノ空氣中ニ於テノミ人心能ク發達シ
百事能ク進歩スルヲ得ルハ疑フベカラザル一大實理トス何トナレハ政治上ノ自由ハ
即チ智力上ノ自由ノ謂ヒナレハナリ故ニ希臘ニ於テ若シ政治ノ自由微リセハ恐ラクハ
其才智ノ萌芽ハ文學技藝ノ上ニ美果ヲ結バザリシナルベシ

支配セシ○此等ノ神ガ彼等ノ姉妹及ビ神孫(Divino progeny)ト共ニ往古ノ希臘人ニ依テ尊崇サレタル神ヲ包括セシ○十二神ガオリムプス山ノ高嶺ニ於テ居住ス可ク而シテ神會即チ神ノ會議其レハ其所ニ開設サレシ所ノ神會ヲ形造ル可ク假想サル、所デ特ニ大ナル「オリムピア」神ト稱セラレシ

學生ハ此所ニ「オリムピア」神ノ名稱及ヒ主要ノ性質ヲ羅旬ノ名稱其レニ依テ彼等ハヨリ多ク一般ニ知ラル、所ノ羅旬ノ名稱ト共ニ發見スルデアロフ

第一 「ズース」即チ「ジュピター」ハ神ノ主領及ビ父ナリ○彼レハ常ニ彼レノ右手ニ於テ電光及ヒ彼レノ脇ニ依テ鷲ヲ以テ椅子ノ上ニ坐セシトシテ表セラル、

第二「ポセイドン」即チ「子プテューン」ハ地震神ニシテ而シテ海ノ支配者ナリ、彼レノ標記ハ三叉戟デアアル

第三 「アポルローン」即チ「アポルロ」(又「フィバス、アポルロ」ト稱セラレタル)ハ詩感ノ、歌及ヒ音樂ノ神ナリ○彼レハ勇壯ナル美質ノ想像ノ美男トシテ象ラレシ○(「アポルロ、ベルヴェディア」ノ像ガ千五百二年ニ於テ發見サレシ)

第四 「アーテミス」即チ「ダイアナ」ハ神人ノ内ノ獵女、畜群ノ及ビ田獵ノ○ナリ神「アポルロ」ノ双生ノ姉妹トシテ彼女ハ月ノ神デアリシ

第五 「ヒフエイストス」即チ「ヴァアルカン」ハ地火ノ神ナリ、彼レハ鍛冶工トシテ表出セラル、

第六 「ハーノス」即チ「マーキュリー」ハ神ノ使者ナリ、能辯ノ神及ヒ貿易ノ保護者ナリ、彼レハ彼レノ羽翼アル鞋ニ依テ及ヒ彼レノ蛇杖即チ錫杖ニ依テ記セラル、

第七 「エーレス」即チ「マース」ハ戰鬥ノ吶喊、人ノ殺害及ビ市邑ノ破壊ニ於テ喜悅シタル軍ノ神ナリ

第八 「ヒーラ」即チ「ジュノー」ハ「ジュピター」ノ妻女ニシテ美麗ナル然レモ婀娜ナラザル女神ナリ

第九 「アシーナ」即チ「ミナーヴァ」(又「パルラス」)ハ才智及ヒ戰ノ女神ナリ

第十 「ヘステア」即チ「ヴェスタ」ハ竈ノ女神ナリ

第十一 「デイミーター」即チ「シーレス」ハ耕作ノ女神ナリ

第十二 「アフロダイト」即チ「ヱイナス」ハ愛及ビ美麗ノ女神ニシテ通常「イーロス」即チ「カピッド」ナル彼女ノ子ト共ニ表出サル、○小説ガ彼女ハ海泡カラ起リシ而シテ「サイプラス」ノ島ニ於テ上陸セシト云フニ走ル○「オディセー」ハ彼女ヲ「ヴァルカ」ノ妻トシテ表ス○「ヱイナス」ハ勿論希臘ノ彫刻者ヲ以テ好マル、主意デアリシ○此女神ノ二個ノ最美ナル殘存スル像ハメディシノ「ヱイナス」及ビミロノ「ヱイナス」トシテ知ラレタル愛スベキ然レモ不全備ノ像デアル

(解) 「ズース」ハ其第二人「ポセイドン」(即チ「子プテユトン」)「ヘーデス」(即チ「ブリコト」)ト共ニ其主宰ノ權ヲ分轄シ○其身ハ精氣ト大氣トヲ運用シ兼テ全般ノ主宰權ヲ掌握シ○「ポセイドン」ハ海上「ヘイデス」ハ冥界ヲ主ル○古代希臘人ノ信奉セシ諸神ハ此三神及ヒ其姉妹子孫ニ○就中其十二神ハ殊ニ之ヲオリムプスノ大神ト稱シオリムプス山嶺ニ往シテ諸神ノ會議ヲ爲スト想像セリ

學者左ニ「オリズス」神ノ名稱特質并ニ其人口ニ膾炙セル羅甸名ヲ掲クルヲ見ルヘシ
第一 「ズース」即チ「ジュピター」ハ諸神ノ長ニシテ且父タリ○其像ハ常ニ椅上ニ坐

シ右手ニ雷光ヲ携ヘ其傍ニ鷲ヲ置ク

第二 「ポセイドン」即チ「子プテユア」ハ地震ヲ掌リ海上ヲ領ス其表号ハ三叉戟ヲ持スルニ在リ

第三 「アポルロン」即チ「アポロ」(或ハ又「ファイバス、アポロ」ト稱ス)ハ詩歌音樂ノ神ニシテ其容貌極メテ秀美勇壯ノ風ヲ表ス○(千五百三年「アポロ、ベルグエデア」ノ像ヲ發見ス)

第四 「アーテミス」即チ「ダイアナ」ハ諸神中女體ノ獵神ニシテ鳥獸田獵ヲ主ル○「アポロ」雙生ノ姉妹ニシテ月神ナリ

第五 「ヒフィストス」即チ「ヴァルカン」ハ地火神ニシテ其像ハ鍛工ナリ

第六 「ハーメス」即チ「マーキュリー」ハ諸神ノ使ニシテ辯説ノ神貿易ノ保護者タリ○其表彰ハ羽翼アル履及ヒ杖ナリ

第七 「エーレス」即チ「マース」ハ軍神ニシテ爭鬪殺戮及ヒ市邑ヲ破壊スルヲ好ム

第八 「ヒーラ」即チ「ジュノー」ハ「ジュピター」ノ妻ニシテ美麗ナレモ愛情ニ乏シ

第九 「アシーナ」即チ「ミナーヴァ」(或ハ「バルラス」ト稱ス)ハ才智及ヒ戦争ノ女神ナリ

第十一 「デイミーター」即チ「シーレス」ハ農業ノ女神ナリ

第十二 「アフロダイト」即チ「ヴァイナス」ハ情愛及ヒ美色ノ女神ニシテ其像ハ通例其子「イーロス」即チ「カピッド」其傍ニ陪ス○稗史ニ曰フ此女神ハ海泡ヨリ出現シサイ

プラス島ニ上陸スト○「オディッセー」詩篇ニハ此神ヲ「ヴァルカン」ノ妻ト爲ス○其像ハ希臘彫刻家ノ喜ンテ刻スル所ナリ○而テ遺像ノ最モ美ナル者ニ體アリ一ハメディシノ「ヴァイナス」ニシテ一ハミロノ「ヴァイナス」是ナリミロノ像ハ艶美ナレモ完全ナラサル所アリ

其他ノ諸神ノ

(百十八) 十二主神即チオリムプスノ尙大ナル神ノ外ニ其所ニ他者其レノ或ル者ハ權力及ヒ位格ニ於テ聊カヨリ劣リテアリシ所ノ他者ノ無量ノ數ガアリシ○斯様ノ者ハ「ヒーリオス」即チ「ソル」(太陽)デアリシ、希臘人ガ「ディオニソス」ト稱セシ所ノ「バッカス」其レニ迄山羊牧者及ヒ葡萄酒作夫ガ特別ノ尊敬ヲ拂ヒシ「ミューゼス」子リीडес」即チ海姫、ゴートハド、ヴァイン、ドレツサズ、カイン

希臘宗教ノ概論

「グレーセズ」等ナリ○其所ニ又神ノ子孫ナル妖怪ガアリシ「ハーピーズ」「ゴーゴンズ」「サーベラス」「センチターズ」ハスペリデスノ「ドラゴン」等ノ如シプロシニー、モンスターズ

(解) 以上オリムプスノ十二大神ノ外尙無數ノ神アリ其權力位格或ハ稍々降ル者アリ○茲ニ一二ヲ舉レハ「ヒーリオス」即チ「ソル」(太陽)、「バッカス」(希臘人ノ所謂「ディオニソス」ト稱スル神ニシテ牧牛者、葡萄酒栽培者等特ニ之ヲ尊崇ス)、「ミューゼス」子リीडес」即チ海中ノ女王、「グレーセズ」等ナリ○其他魔神(即チ諸神ノ子孫ト稱スル者アリ「ハーピーズ」「ゴーゴンズ」「サーベラス」「センチターズ」ハスペリデスノ「ドラゴン」等ノ如キ是ナリ

(百十九) 希臘人ニ依テハ惣テノ宇宙ガ人ノ如キ働者ノ數ニ依テ動キ而シテ作爲スルトシテ想像サレシ、而シテ縱ヒ此等ノ人物ニ係ル小説ノ多クハ余輩ニ迄愚ニ而シテ或ル者ハ全ク悚慄スベキモノト見ユルト雖モ尙ホ往昔ノ希臘ノ宗教ハ最少チ云フ可クモ多クノ佳麗ナル而シテ詩ノ思想カテ組成サレシ○希臘人ガ埃及小亞細亞及ヒスレースカラ彼等ノ宴會及ビエリユーシニアノ秘密祭ニ於テ施行サレタルヨリ愚カナル迷信ヲ探

希臘ノ文明

用セシトノ其レハ後日迄アラザリシ

(解) 希臘人ハ宇宙ノ諸現象ヲ以テ若干ノ主動者アリテ之カ行動運營ヲ主宰スル者ト想像ス而テ其主動者ニ關スル傳説ノ如キ今日ヨリ之ヲ視レハ多クハ荒誕無稽ナルガ如ク間々或ハ驚駭スベキ者アリト雖モ其太古ノ宗教ハ猶且詩歌ノ妙想ニ成ル者ト謂フモ亦不可ナルトナシ○然レモ其祭宴及ヒエリユーシニアノ秘密祭ニ行レタルカ如キ暗愚ナル迷信ヲ埃及小亞細亞及ヒスレーズヨリ採用セシハ實ニ晩年ニ在リ

禮拜

(百二十) 神ノ通俗ノ拜禮ハ主トシテ犧牲ニ於テ成立セシ其レハ祈禱及ヒ報謝ノ供物イザール〇ホア若シクハ謝罪ノ供物デアリシ、此等ハ平原(Oppidii)ニ於テ、山ノ嶺ニ於テ、森及ヒ林ニ於テイザール〇ホア若クハ大ナル國祭(National festivals)ノ祝賀ノ節ニ於テ特ニ神廟ニ於テ僧侶ニ依テ祭ラレシカウケレシヤン○供物ハ動物(時アツテハ一隻時アツテハ大數(太牢)ニ於テナリ)若クハ菓物、葡萄酒、蜂蜜乳汁、乳香等ノ如キ非動物(animate objects)デアリシ○神ヲ尊敬スルトノ他ノ方法ハ起立フランキンゼンズシツ、而シテ擴ダレタル腕ヲ以テ發言サレタル祈禱ノ簡短ノ態ニ依テ、誓願ノ供物、嚴格ナル行列及ヒ神舞(religious dance)ニ依テデアリシアウストロトツト

神託

(解) 通常拜神ノ法ハ祈禱恩謝若クハ贖罪ノ爲ニ專ラ犧牲ヲ供スルニ在リ而テ其儀ハ僧侶ノ執行スル所ニシテ或ハ平原ニ於テシ或ハ山嶺ニ於テシ或ハ森林樹間ニ於テシ又國民ノ大祭ニ當リテハ特ニ神席ニ於テス○其供物ハ動物若クハ非動物ニシテ動物ハ其頭數唯一ナルトアリ或ハ巨多アルトアリ(之ヲ太牢ト云フ)非動物ハ菓實、葡萄酒、蜂蜜乳汁、乳香ノ類是ナリ○其他神ヲ祭ルノ法種々アリ或ハ直立シテ兩手ヲ伸張シ以テ單簡ナル祈禱ヲ稱へ或ハ誓願ノ供物ヲ捧ケ或ハ嚴格ナル行列ヲ爲シ或ハ宗教ノ神舞ヲ奏ス

(百廿一) 希臘人ハ彼等ハ宣託カラ神意(Divine Will)ノ默示ヲ得シトナ信セシ其レニ附テ最モ知ラレタルハドドナニ於ケル「ズース」而シテデルフイニ於ケル「アポルロ」ノ其等デアリシ

(解) 國人信スラク神託ニヨリテ神慮ヲ知ルト得ルト就中ドドナノ「ジユース」神及ヒデルフイノ「アポルロ」神ノ託宣ヲ以テ其最モ著名ノ者トス

第三 希臘ノ祭事

(百廿二) 希臘ノ生活ノ最モ著明ナル形狀ノ一ツハ四大國祭ニ於テ惣テノ諸州及ヒ殖民地ノ人民ノ集會デアリシスナハチ ストライキング「オリムピア」コンツレツセズ「ピシア」エウエリ「イスミア」及ヒ「ニーミア」ノ遊戯ナリ○「オリムピア」祭ハ每四年ニイーリスニ於ケルオリムピアノ平原ニ於テ「ジユピター」ノ尊敬ニ於テ祭ラレシ、「ピシア」祭ハ每「オリムピア」祭ノ第三年ニ於テ「アポロ」ノ尊敬ニ於テ祭ラレシ、「子プ子ユーン」ノ尊敬ニ於ケル「イスミア」祭ハ其レノコリンスノ地峽ニ於テ祭ラル、イイチ「カカラ左様ニ稱セラレシ、ニ「ニーミア」ノ「ジユピター」ノ尊敬ニ於ケル「ニーミア」祭ハペロポン子サスニ於ケルニーミアノ市邑ニ於テスレバナリ

(解) 希臘風俗中ノ一大事實ハ「オリムピア」「ピシア」「イスミア」及ヒ「ニーミア」ノ四大國祭ノ日國內諸州及ヒ諸殖民地ノ人民ノ來會スルニ是ナリ○「オリムピア」祭ハ每四年イーリスノオリムピア平原ニ於テ「ジユピター」神ヲ祭ルヲ曰ヒ「ピシア」祭ハ各「オリムピア」祭ノ第三年ニデルフイノ近傍ニ於テ「アポロ」神ヲ祭ルヲ曰ヒ「イスミア」祭ハ「子プテユーン」神ヲ祭ル者ニシテ其コリンスノ地峽ニ於テ舉行スルヲ以テ此名アリ「ニーミア」祭ハペロポン子サスノニーミアニ於テ「ジユピター」神ヲ祭ルヲ曰フ

(百廿三) 惣テ此等ノ祭禮ノ大ナル景狀ハ「遊戯」其レニ於テ賞典ガ角紙アスレチック (athletic exercises)

ニ於テ競走及ビ競馬及ヒ競車ニ於テ音樂及ヒ詩ニ於テ勝者ニ送授ケラレシ所ノ其等ノ「遊戯」或ハ希臘人ガ彼等ヲ稱セシ通り「爭鬪」デアリシ○賞典ハ彼等射カラニ依テ一ツノ價格ノモノデアラザリシ、勝者ノ頭ノ上ニ置カレタル橄欖、月桂樹等ノ只ノ飾冠ナリ○然レモ此飾冠ハ其レト共ニ不朽ノ名聲ヲ運ビシ○勝者ノ姓名ガ聚會シタルヘルラス人ノ前ニ廣告チアプレット サレシ彼レノ像ガ神聖ナル樹林ニ於テ建テラレシ而シテ彼レノ贊美ガ詩人ニ依テ謠ハレシ○彼レハ凱旋ノ行列ニ於テ彼レノ居宅ニ迄還ヘリシ其所ニハ卓越セシ光榮ト而シテ有アル形ノ褒賞ガ彼レヲ待チシアトメイテッド

(解) 此等諸祭典ノ最モ盛事ナルハ「諸遊戯」即チ希臘人ノ所謂「爭鬪」ニシテ或ハ角紙競走競馬若クハ競車ノ如キ技ヲ演シ或ハ音樂詩歌ヲ鬪ハシ其勝者ニ與フルニ褒賞ヲ以テス○褒賞ハ單ニ橄欖若クハ月桂樹ノ花冠ヲ勝者ノ頭上ニ載カシムルニ過キササルヲ以テ毫モ價直アル者ニアラス○然レモ此花冠ハ實ニ不朽ノ名譽ヲ帶ヘリ○勝者ノ名ハ之ヲ國人群集ノ中ニ公告シ其像ハ之ヲ神聖ノ樹林ニ安置シ詩人ハ詩歌ヲ以テ其名譽ヲ贊

頌ス○而シテ其郷里ニ販ルヤ途上凱旋式ヲ以テ進行シ其家ニ至レハ隣里郷黨非常ノ尊
敬ト賞典ノ物品ヲ以テ特ニ之ヲ優待ス

社會上ノ文
及ヒ文學上ノ影

(百廿四) 此等ノ祭禮ハ數日間 (for several days) 續キシ而シテ希臘ノ惣テノ部分カラ無量

ノ群衆ナ一所ニ引キシ○彼等ハ斯クシテ商賣上、社會上及ヒ文學上ノ交通ニ向ツテ最良ノ

出來ベキ方便ヲ供セシ○一オリムピアノ平原ノ周邊ノ小屋ニ於テ商人ガタナイス河及ビロ

ン河ノ河岸カラ彼等ガ齎ラシメタリシ粗造ノ貨物ヲ亞細亞及ヒ亞非利加ノ富盛ナル產物

ニ向ツテ交易セシ、本國ノ種々ノ邦國ノ、彼女ノ最遠ナル殖民地ノ而シテ彼等ノ周邊ノ野

蠻國ノ社會上及ヒ政治上ノ有様ガ比較サレ得ル○哲學ノ教師ハ雅典及ヒ伊太利ノ希臘ニ於

テ發生セシ (Springs up) 所ノ説ヲ討論セシ、彫刻者及ヒ畫工ハ鑿及ヒ毛筆ノ最美ナル所製

ヲ公ニス可ク機會ヲ取リシ、同時ニ詩人及ヒ史家ハ惣テ彼等ノ新鮮ニ於テ余輩ガ斯ノ如キ

聽聞ノ缺乏ニ向ツテ唯半バ嘆稱スル所ノ其等ノ不朽ノ著作ヲ高聲ニ讀ミシ○斯様ナル交通

ハ有力ニ其智力上ノ同感其レハ或ル政治上結合ノ不在ニ於テヘルラスノ子孫ノ内ニ同國タ

ルノ最強ノ繩索デアリシ所ハ其智力上ノ同感ヲ維持ス可ク傾向セ子バナラナシ

(註) *「フイリップ、スミツス」ノ萬國史ヨリ

(解) 大凡祭典ハ數日間ニ亘リ全國各地ヨリ群集スル者實ニ夥シ○故ニ商業、交際及

ヒ文學上互ニ相資益セシト最モ大ナリ○書ニ曰ク「諸方ノ商賈オリムピア平原ノ周圍

ナル小屋ニ會シテタナイスローン河畔ヨリ齎ラシタル粗品ト亞細亞亞非利加ノ美貨

ト貿易シ以テ本國諸州遼遠諸殖民地及ヒ近隣蠻國ノ社會上及ヒ政治上ノ状態ヲ比較ス

○又哲學教師ハ雅典及ヒ伊太利ノ希臘諸殖民地ニ與フル學說ヲ討論シ彫刻師、畫工ハ

此機ニ投シテ各々自家ノ刀鑿毛筆ノ妙技ヲ誇示シ詩人、史家ハ互ニ其無窮ニ傳フヘキ

大著述ヲ朗讀シ以テ新奇巧妙ヲ競ヘリ唯憾ム吾人當時ニ生レテ親ク之ヲ聽カサルヲ以

テ充分ニ其妙作ヲ歎賞スル能ハサルヲナ○凡ソ此ノ如ク人民ノ集會交通スルハ互ニ相

輔ケ相愛スルノ感情ヲ維持スル所以ニシテ此感情ハ政治上ノ結合力存在セサルノ當時

ニ在テハ實ニヘルラス全土ノ民心ヲ結合スル一大繩索タルヤ敢テ疑テ容レス」ト

第四 希臘ノ文學及ヒ哲學

(百廿五) 神聖ナル經典ヲ側ニ擱クトコロテ希臘ノ文學ハ無比ニ古代ノ惣テノ文學ノ

文學ノ
比較

内ニ最モ價直ナルモノデアアル○其レハ羅馬ノ其レヨリハ遙カニ尙富ミテ尙偉大ニ而シテ尙多ク原創ノモノデアアル而シテ實ニ羅甸人ハ明ニ希臘人ノ模造者デアリシ○埃及人巴比倫人及ヒ非尼士亞人ノ文學ニ附テ余輩ハ只碎片ヲ有ス而シテ此等ハ思慮或ハ感情ノ高尙ナル調ヲ示スヲカラ遙カデアアル○古代ノ波斯人ハ余輩ニ「ゼンド、アヴェスタ」ナル只一個ノ重要ナル著作物ヲ遺シタ而シテ此レハ其レノ構成ニ於テ粗笨ニ而シテ初歩デアアル○印度ノ書物ノ大ナル集体（「ヴェダス」等）ハ態裁ノ其レノ缺乏カラ直價アルモノヨリハ寧ロ珍奇ニアル○希臘人ヲ以テ初メテ文藝（literary art）ノ形ニ於テ象ラレタル高尙ナル智力ノ思想ガ來リシ

（解） 希臘ノ文學ハ古代ノ文學中最モ貴重ニシテ能ク其右ニ出ツル者ハ特ニ一部ノ聖書アルノミ○之ヲ羅馬ノ文學ニ比スレハ富麗壯嚴ニシテ敢テ古人ノ辭句ヲ襲踏セス蓋シ羅甸ノ文學ハ希臘ヲ模擬シタルノ踪蔽フヘカラサル所アリ○埃及巴比倫及ヒ非尼士亞ノ文學ノ今日ニ存スル者ハ只僅ニ其斷編遺簡ニシテ且思想感情ノ高妙ヲ示スニ足ラス○古代ノ波斯人ハ「ゼンド、アヴェスタ」ト稱スル一大寶書ヲ後世ニ傳ヘタリト雖モ

其結構粗笨ニシテ精練ヲ缺ケリ○印度ノ大著作（「ヴェダス」等ノ如キ）ハ其體裁ノ全カラサルヲ以テ之ヲ妙作ト謂ハンヨリモ寧ロ奇文ト謂フベシ○然ルニ希臘ノ文學興ルニ及テ初メテ文章ノ體ヲ備ヘ結構思想殆ト妙處ニ至レリ

（百廿六） 希臘ノ文學ニ於テハ詩ガ散文ニ率先スル○余輩ニ迄殘存スル所ノ最古ノ希臘ノ詩ハ二編ノ不朽ナル史詩（即チ物譚ノ詩）其レハ「ホーマー」ノ名ニ依テ行ハル、所ノ史詩即チ「イリアッド」及ビ「オディッセイ」デアアル○此等ハ嘗テ著ハサレタル最美ナル史詩ト考ヘラル、彼等ハ世界ノ詩ノ春時ノ涼爽及ビ迷心ヲ呼吸スル○希臘文學ノ此等ノ最古ノ記念ガ大陸ノヘルラスニ迄屬シ爲サヌ然レモ殖民地ノヘルラスニ迄屬シ爲スト云フノ其レハ注意スヘキ事實デアアル○希臘ノ文學ガ起原セシマノ其レハ小亞細亞ノ海岸ニ於ケルアイオニア及ビエオリアノ都府ニ於デアリシ、何トナレハ如何ニ「イリアッド」及ビ「オディッセイ」ハ一個ノ人或ハ多クノ詩人ノ著作トシテ認メラル可クアルモ、學者ガ彼等ハ亞細亞ノ希臘人ノ編述トシテ認メラレバナラヌ一一致シテアル故ニ

（解） 希臘ノ文學ニ於テハ詩賦ハ散文ニ先チテ起レリ○其今日ニ存スル所ノ最モ古キ

者ハ世ニ所謂「ホーマー」ト稱スルニ編ノ名詩ニ「イリアッド」「オディッセイ」即チ是ナ
リ○其美妙ナルヲ古來ノ史詩中其右ニ出ツル者ナク之ヲ讀ムニ辭句秀麗所謂詩林芳春
ノ嬌姿アリテ一唱三嘆ノ妙アラシム○希臘文學中此等最古ノ遺篇ハ殖民地人ノ著作ニ
シテ希臘本州人ノニアラス是レ須ラク意ヲ著クヘキ所ナリ○蓋シ希臘ノ文學ハ亞細小
亞海邊ノ地アイオニア及ヒエオリアノ市府ニ起リシ者ニシテ「イリアッド」「オディッセ
イ」ノ如キハ其一人ノ著述カ若クハ數人ノ合著カ得テ詳ニス可ラスト雖凡學士皆謂ラ
ク兩編共ニ亞細亞地方ノ希臘人ノ著作ナリト

希臘人
中ノホ
ー
マ
ー

(百廿七) 希臘人ニ依テホーマーハ實有ノ人トシテ認メラレシ、ヘロドタスハ彼レ躬カラ
ノ前四百年ニ彼レヲ置ク其レハ彼レノ時代ヲ紀元前凡ソ八百八十年ニ於テ確定スルデアロ
ウ所ノモノナリ○此等ノ詩ハ數百年ノ間只ニ詩人其レハ會合セシ仲間ニ迄而シテ祭日ニ於
テ彼レヲ誦ヒシ或ハ誦セシ所ノ詩人ノ記憶ニ於テ宿サレシ○彼等ハ雅典ニ於テピシストラ
タスノ時代迄ハ筆記ニ迄委子ラレザリシ(紀元前五百六十年)
ホーマーノ詩ノ著者ノ趣意ニ於テハグロート氏著希臘史卷ノ二ノ第廿一章ヲ讀メ○ホー
マ

マールノ最モ有名ナル英譯 ハ、チアプマン(セークスピアノ時)ポープ及ヒクーパー(最
近ノ世紀)ロード、ダービー及ビ余輩ノ米國詩人ウヰリエム、カルレン、ブライアントノ其
等デアル

(解) 希臘人ハホーマーヲ以テ實ニ斯世ニ生存セシ一個ノ人物ト思惟シヘロドタスノ
如キハホーマー在世ノ時ヲ認メテ己レノ世ヲ距ルヲ四百年前即チ紀元前八百八十年頃
ト爲セリ○「イリアッド」「オディッセイ」ノ二詩編ハ數百年間只詩人ノ記憶ニ存シ人民ノ
會合若クハ祭日ニ際シ之ヲ公衆中ニ朗吟ス○紀元前五百六十年雅典ノピシストラタス
ノ世ニ至リ始メテ之ヲ書ニ筆スルニ至レリ

ロ
ー
マ
ー
ノ
オ
ッ
ド

(百廿八) 史詩ノ次ギノ發達ハヒーシオッド其人ハ第八世紀ニ於テ再言スレバホーマーノ
後凡ソ一世紀ニ生活シタ可ク思考サル、所ノヒーシオッドノ著作ニ於テピオシアニ於テア
リシ○ヒーシオッドノ二個ノ最モ有名ナル書ハ「シオゴニー」及ヒ「ウアーグス、アンド、デト
ズ」デアアル○此等ハ希臘人ニ依テ神學及ヒ哲學上ノ事ニ於テ大ナル考證書ノモノトシテ
仰ガレシ(Was looked up)然レ凡彼等ハホーマーノ詩ノ通り余輩ニ向ツテ同シ趣味ヲ有シ爲
イ
ン
テ
レ
シ
ト

サヌ

(解) 之ニ亞テヒーシオッドナル者ビオシアノ地ニ出テ名詩數篇ヲ著述シ大ニ史詩体ヲ改良ス世人ハヒーシオッドヲ以テ紀元前第八世紀即チホーマーニ後ル、ト大約一世紀ニ生存セシモノト思惟ス○其著作中神祇篇、事業及ヒ光陰篇最モ世ニ名アリ○國人此等ノ詩ヲ尊奉シテ神學及ヒ哲學ノ一大著作ト爲スト雖モ今ヨリ之ヲ視レハ其趣致タル蓋シ「ホーマー」詩篇ニ及ハサル所アルカ如シ

(百廿九) 史詩ハ王治ノ時代ノ間詩ノ單一ノ種類デアリシ○史詩ハ通例小説時代ノ英雄ノ勳功ヲ叙セシ而シテ此故ニ王公其人ハ其等ノ英雄カラノ子孫ヲ主張セシ所ノ王公ニ迄甚タ氣受ケ好クアリシ○然レモ王治(Regal rule)ガ共和政治ニ迄交代セシ(Gave place)時ニ活情ノ尙自由ナル吐露ニ迄獎勵サレシ所ノ詩人が興起セシ○詩ノ新体ガ情詩ト稱セラレ、然レモ此詞ガ余輩ヲ以テヨリハ尙濶大ナル意味ヲ有ス而シテ惚テ感慨ノ詩ヲ表セシ○情詩ノ最モ有名ナル著者ノ一人ハターティアスデアリシ(紀元前第八世紀ノ後部ニ於テ出生シタル)○彼レハ雅典人其人ニ迄士巴太人ガメッセニア戰爭ニ於テ將帥ニ向ツテ依頼シタル

史詩及ヒ情詩

リシ所ノ雅典人ニ依テ侮慢ニ於テ士巴太ニ迄送ラレタル雅典ニ於テノ跛者ナル學校教師デアツタベク云ハル、彼レノ奮起スル歌ガ軍役ニ於テ大ナル影響ヲ有セシ、其レガ加ヘラル、○第五世紀ニ迄屬スル所ノセオスノシモノニスガ又タ氣韻高キ情詩ノ作者トシテ指名サル、

(解) 史詩ハ王政ノ世ニ行ハレタル唯一ノ詩体タリ○此詩ハ通常小説時代ノ勇士ノ功績ヲ頌述ス是ヲ以テ當時ノ諸君主自ラ英雄ノ子孫ト誇稱スル者皆之ヲ喜フ○然レモ王政廢レテ民主政治起ルニ及ヒ詞賦自由ト爲リ詩人務メテ活潑ナル感情ヲ吐露ス○此新体ノ詩ヲ情詩ト名ク然レモ之ヲ近世ノ所謂情詩ニ比スレバ其意義更ニ廣濶ニシテ苟モ感情ヲ述フル者ハ悉皆之ヲ包含セサルナシ○情詩家中最モ有名ナルハターティアスニノ紀元前第八世紀ノ末年ニ生ル○傳ヘ言フターティアスハ跛足ニノ雅典府學校ノ教師タリメッセニアノ役ニ士巴太一將ヲ雅典ニ請フ雅典人之ヲ愚弄スルノ意ヲ以テターティアスヲ遣ハス當時ターティアスノ軍歌大ニ士氣ヲ鼓舞シタリト○セオスノ人シモノニスハ紀元前第五世紀ノ人ニシテ亦高尚ナル情詩ノ著作家ヲ以テ名アリ

樂詩

(百三十) 希臘ノ詩文學ノ進歩ニ於テ次ギノ歩ミハ樂詩ノ成育デアリシ○此體ノ主眼ナル
 形狀ハ聲音上並ニ(as well as)樂器上ノ音樂ト其レノ連接デアリシ○樂詩ハ音樂ト而シテ
 屢々踊舞ノ動作ト附帶シテ謠ハレシ○希臘ノ樂詩ニ於テ最モ著明ノ名ハサップオー、ア
 ルキアス、アナクレオン及ビピンダーデアアル○紀元前第六世紀ニ於テ著作セシ所ノサッ
 オーハレスビア人デアリシ、彼女ハ愛ニ附テ謠ヒシ而シテアルキアス其人ハ又レスビア人
 デ而シテ彼女ノ同時人デアリシ所ノアルキアスハ彼女ヲ「紫冠セシ清淨ナル愛ラシク微
 笑スルサップオー」ト稱スル○ピンダー(紀元前五百二十二年ニ生レタル)ハビオシアノ出生
 デアリシ、彼レハ樂詩人ノ「ドリック」派ノ最モ有名ナルモノデアリシ而シテ希臘人ニ依テ
 ハ彼等ノ詩人ノ中デ最モ畏敬スベキモノト思考サレシ

(解) 情詩ニ亞デ發達シタル詩體ヲ樂詩トス○樂詩ノ特異ナル所ノ者ハ其常ニ音樂
 (唱歌及ヒ樂器)ニ合奏スルニ在リ○之ヲ吟唱シテ樂調ニ伴ヒ又往々舞蹈ニ合ス其著作
 者ノ最モ世ニ著名ナル者ハサップオー、アルキアス、アナクレオン、ピンダー等トス○サ
 ップオーハ紀元前第六世紀ノ著作家ニシテレスビア地方ノ女ナリ好テ愛情ヲ吟咏スア

ルキアスハサップオート同國同時ノ人ニシテ嘗テサップオーヲ評シテ曰ク「桔梗色ノ
 冠ヲ戴キ純潔ニシテ嫣然笑ヲ含ム」ト○ピンダーハビオシア人ニシテ紀元前五百二十
 二年ニ生レ「ドリック」派樂詩家中最モ著名ナリ國人ノ之ヲ以テ詩人中最モ高尚ナルモノ
 ト思惟ス

戯曲

(百卅一) 戯曲ナル希臘文學ノ最モ高尚ナル形ガ紀元前第五世紀ペリクルスノ時代ニ於テ
 雅典ニ於テ興起セシ○悲壯戯曲ハエスキラス(紀元前五百二十五年ニ生レタル)、ソフオク
 リス(紀元前四百九十五年ニ生レタル)及ビユーリピデス(紀元前四百八十年ニ生レタル)ノ
 手ニ於テ其レノ充分ナル發達ニ達セシ○國ノ偉大ノ滿潮ニ於テ希臘ノ院本戯曲ノ
 富盛及ヒ精巧ハ最モ著シクアリシ○每春雅典ニ於テ祭ラレタル「バッカス」(「ディオニ
 ソス」)ノ祭禮ガ主要ノ時機其レニ於テ新作(new pieces)ガ持出サレ而シテ常ニ褒賞ニ向
 ツテ競争ニ於テ而シテ高等官(chief magistrates)ノ指揮ノ下ニアリシ所ノ主要ノ時機デ
 アリシ

(解) 希臘文學中戯曲ヲ推シテ最モ高尚ノ者トス紀元前第五世紀ペリクルスノ時雅典

府ニ創マル○就中悲壯體ノ戯曲ハエスキラス(紀元前五百二十五年ニ生ル)ソフオクリス(紀元前四百九十五年ニ生ル)ユーリピデス(紀元前四百八十年ニ生ル)等前後輩出シテ特ニ其妙ヲ極ム○而テ其豊富精巧ノ域ニ達セシハ國運隆盛ノ時ニ在リ○每春雅典府ナ「バッカス」(「ディオニソス」)ノ祭時ヲ以テ其巧拙ヲ闘ハスノ好機トシ衆競テ新著ヲ出シ高等官吏ノ審査ヲ受ケ褒賞ヲ得ンヲ求ムルヲ常トス

(百州二)

エスキラス、ソフオクリス及ヒユーリピデスノ傑作ニ於テ示サレタル希臘ノ

悲壯戯曲ハ余輩ノ戯曲カラ而シテ殊ニセークスピアノ演劇カラ甚異ナリテアリシ○セーク

スピアノ悲壯戯曲ハ人類ノ生活及ヒ情慾ヲ以テ處シ、希臘ノ悲壯戯曲ハ神及小説時代ノ英

雄ヲ以テス○脚色ニ迄係リテハ希臘ノ戯曲作者ハ「時及ヒ場所ノ一致」ノ規則ヲ遵奉ス可

ク束縛セラレシ、再言スレハ仕組ガ「ツ」ノ場所ニ迄テ而シテ演出ニ於テ占領サレシ所ノ其

レニ甚シク超過セヌトコロノ時ノ間隙ニ迄限ラレバナラヌ○「コーラス」ノ目前ニ於テ

而シテ些少時間ノ範圍内(Within the compass)ニ起ル可ク假想サレ能ハサリシ所ノ惣テハ

説話ナル可クモチシ而シ所作サレ能ハザリシ○セークスピアハ全ク時ト而シテ場所ノ制

セーク
スピア
トノ比

限ヲ懸念セザリシ○「キング、リリア」ノ如キ斯様ナル演題ガソフオクリスニ依テ脚色サレ
タリシ「ナラバ」五段目(With act)ニ先ズル所ノ惣テハ説話サレ而シテ五段目耳ガ所作サレ
タテアロウ

(解) エスキラス、ソフオクリス、ユーリピデス諸氏ノ名作ニ係ル悲壯體 戯曲ハ近世

ノ戯曲ト其趣ヲ異ニシ之ヲセークスピア氏ノ作ニ比スレハ殊ニ其差ノ著キヲ見ルベシ

○セークスピア氏ハ人事及ヒ人情ヲ叙シ希臘ノ諸家ハ神明及ヒ古代英雄ノ事績ヲ述ブ

○且ツ其脚色構案ノ如キモ希臘ノ諸家ハ「時處統一」ノ規矩ヲ守リ全局ノ光景事變必ス

之ヲ一處ニ限り而シテ其事實ニ發ベキ時間ト之ヲ戲ニ施スノ時間ト太シキ逕庭アルモ

ノハ取テ以テ粉本トナサス○是ヲ以テ「コーラス」ノ目撃又ハ數時間ニ了スヘシト思

ハレサルカ如キ事蹟ハ特ニ之ヲ口演ニ附シ敢テ所作ニ呈スルヲ得ス○セークスピア

氏ハ之ニ反シテ時ト處トノ如キハ全ク措テ問フヲナシ○故ニ其著ス所ノリリア王ノ一

曲ノ如キモ若シソフオクリスヲシテ代テ之レカ脚色ヲ作ラシメバ其第五齣ニ至ルマテ

ハ必ス之ヲ口演ニ附シ唯リ第五齣ノミヲ所作トナシタルナラン

(按)「コーラス」トハ希臘ノ演劇ニ用ヒタル者ニシテ其戯曲ノ實地ヲ目撃シタル者ニ擬シ其曲ノ終リニ際シテ其言行等ヲ評論スル者ナリ

滑稽戯曲

(百卅三) 雅典ノ滑稽戯曲ハ「コマス」即チ「バカス」祭行列ノ諧謔及ヒ惡口カラ其レノ起

原ヲ導キシ○其レノ最モ大ナル達人ハアリストフアニス(紀元前四百四十四年ニ雅典ニ於テ生レタル)デアリシ○彼レノ滑稽戯曲其レハ余輩ニ迄傳ハツタ所ノ滑稽戯曲ノ尤モ有名ナルモノ、内ニ「ジ、クラウツ」、「ジ、ワスプス」、「ジ、バートツ」及ヒ「ジ、フロツクス」ガアル○

彼等ハ甚刺戟スル而シテ面白キ仕方ニ於テ雅典ノ社會ヲ諷刺スル

(解) 雅典ノ滑稽戯曲ハ「コマス」即チ酒神祭典ノ際酣宴笑罵シテ相嬉戯シタルモノ之ガ原ヲナセリ○アリストフアニスハ滑稽戯曲ノ大家ニシテ紀元前四百四十四年雅典府ニ生ル○其有名ナル戯曲中雲、細腰峰、禽鳥、蛙ノ數曲傳ヘテ今日ニ至ル○其言辭快活ニシテ能ク當時ノ雅典ヲ諷刺ス

(百卅四) 余輩ハ今散文學ニ迄轉スル○歴史ニ於テ第一ノ大名ハ「歴史ノ祖」ト稱セラレタルヘロドタスノ其レデアアル○彼レハ小亞細亞ニ於ケルハリカーナッサスノ「アイオニア」族

ノ希臘人デアリシ而シテ第一及ビ第二波斯戰爭ノ間ニ紀元前四百八十四年ニ於テ出生サレシ○ヘロドタスニ依テ撰マレタル趣意ハ波斯戰爭ノ歴史デアリシ、然レモ其レハ尙濶大ナル範圍ヲ取リシ而シテ實ニ彼レノ時迄ノ萬國史ノ種類デアリシ○彼レハ廣ク埃及ニ於テ而シテ亞細亞ニ於テ旅行シタリシ而シテ余輩ニ彼レノ時ニ於ケル古代ノ國民ノ間ノ社會及ヒ生活ノ活潑ナル而シテ尤モ趣味アル圖畫ヲ示ス○ヘロドタスノ書體ハ心醉スル物、譯者ノ其レデアアル而シテ彼レノ著作ハ尙ホ愉快ヲ以テ讀マル、

ヘロドタス

ヘロドタスノ多クノ翻譯ガ爲サレタ○最長ナル者ハ四冊ニ於ケルローソン氏ノ其レデアアル○此贅稱スベキ著書ニ於テヘロドタスノ原文ニ迄附加シタル註釋及ヒ論說ガ筆セラセラレタル各國ノ歴史ニ係リテ最近ナル學識ノ結果ヲ抱含ス

(解) 是ヨリシテ以下轉シテ散文ヲ論セントス○历史上最古ノ大家ハヘロドタスニノ世之ヲ「歴史ノ父祖」ト稱ス○ヘロドタスハ小亞細亞ノハリカーナッサスニ住スル「アイオニア」族ノ希臘人ニシテ紀元前四百八十四年即チ第一ノ波斯戰爭ト第二戰爭トノ間ニ生ル○其著述ノ題目ハ波斯戰紀ト稱スト雖モ其紀事該博ニシテ實ハ其時代ニ至ル

マデノ一種ノ萬國史ニ似タリ○此著述ヲ爲スニ先チ汎ク埃及亞細亞ヲ周遊シテ當時古國ノ交社及ヒ營生レ状態ヲ描寫セルヲ宛然圖書ノ如ク字々活動シテ最モ趣味アリ○且其文章ハ談話ノ体ヲ用ヒ宛モ巧妙ナル講談家ノ口調ニ類スルヲ以テ今猶人ノ愛讀スル所タリ

デシテ
ユイ

(百卅五) 希臘ニ依テ產出サレタル最モ哲學上ノ歴史家ハテユーシディダスデアアル(紀元前四百七十一年ニ雅典ニ於テ生レタル)○テユーシディダスニ依テ採撰サレタル趣意ハペロポニ子サス戰亂デアリシ○彼レノ歴史ハ其レノ記体ノ高尚ナルヲニ向ツテ而シテ人ノ行爲及ビ意志ニ迄其レガ現ハス深遠ナル洞察ニ向ツテ拔群サル、○其レハ歴史ノ哲學ノ最モ早キ例デアアル而シテテユーシディダス彼レ躬カラガ自慢ニ其レヲ「永世人所持品」ト稱セシトノ其レハ斯様ノモノトシテハアル

(解) 希臘國ヨリ出セル史論ノ大家ヲテユーシディダストス(紀元前四百七十一年雅典府ニ生ル)○其著ス所ペロポニ子サス戰紀一題スル者アリ○其文体ノ高尚ナルト人ノ志行ヲ洞觀スルノ深キトヲ以テ名アリ○是レ實ニ史論ノ嚆矢ニシテ其自ラ誇リテ「萬

其他ノ
歴史家ノ

世不朽ノ業」トナセシモ亦宜ナリト云フベシ

(百卅六) 他ノ歴史家ノ中ニ物譚ノ彼レノ平易ナル而シテ美ナル記体ニ向ツテ拔群サレタルテユーシディダスノ同時人ナルセノフォン、紀元前第二世紀ニ迄屬スル所ホリビアス、及ビ第一世紀ニ迄屬スル所ノディオドラスガ指名サレ得ル○プリユターク其人ノ傳紀ハ「英雄ノ經典」ト稱セラレタ所ノプリユタークハ紀元後第二世紀ニ於テ生活セシ

(解) 其他ノ歴史家中此ニ其名ヲ掲クベキハセノフォンニシテテユーシディダスト其時ヲ同フシ文章平易シテ且温雅ナルヲ以テ著ル又ホリビアスハ紀元前第二世紀ノ人ニシテテユーシディダスハ同第一世紀ノ人タリ○プリユタークハ紀元後第二世紀ノ人ニシテ其所著ノ傳紀ヲ稱シテ「英雄經」ト云ヘリ

辯論術

(百卅七) 散文學ト連帶ニ於テ雄辯術或ハ辯論術ガ記載サル、デアロウ○其レハ民主政治ノ偉大ナル時代ノ間初メテ雅典ニ於テ技術トノ研究サレシ○ペリクルス彼レ躬カラハ彼レニ向ツテ「ジ、オリムピアン」ノ異名ヲ得ル可ク通り左様ニ畏敬スベキ辯論ノデアリシ○政治上ノ辯論、馬其頓ノ利益ノ辯護者ナルエスキニス(紀元前三百九十三年乃至三百十七年)

希臘ノ文明

ト而シテ彼レノヨリ大ナル敵手デモスセニス(紀元前三百八十五年乃至三百三十二年)
其人ノ非立ノ計略ヲ暴露スルヲ及ヒ抵抗スルヲニ於テ

「武庫ヲ振ハサセシ而シテ希臘ヲ越エテ覇カセシ」

所ノデモスセニストノ間ノ争ヒニ於テ其レノ最モ充分ナル發達ニ於テ現ハサレシ

(解) 散文ト共ニ此ニ記スベキハ雄辯術即チ辯論術ナリ○此術雅典民主政治ノ盛時ニ

方リ一技術トノ始メテ之ヲ研修ス○夫ノペリクルスノ如キ亦一ノ雄辯家ニシテ其言辭

ノ高尚ナルヲ以テ「オリムピア」ノ稱號ヲ得タリ○政治上ノ辯說ノ極メテ發達シタルハ

エスキニス(紀元前三百九十三年ニ生レ三百十七年ニ死ス)馬基頓王非立ノ利益ヲ辯護

シデモスセニス(紀元前三百八十五年ニ生レ三百三十二年ニ死ス)王ノ奸謀ヲ發キテ之

ニ抗論シ互ニ相論難セシ時ニアリ後人デモスセニスノ雄辯ヲ詠スル歌ニ曰ク

武庫アトウアーヤリのくらもふるらめりカハチウニテツド ざりーきこくもとゝろけりケルル

(百卅八) 哲學ハ小亞細亞及ビ下伊太利ノ希臘ノ殖民地ニ於テ初メテ研究サレシ、前者ニ

於テハ第六世紀ニ於テ生活セシ而シテ「アイオニツク」學派ノ開祖デアリシ所ノセーリスニ

古代ノ哲學者

依テ、後者ニ於テハ同世紀ニ迄屬セシ而シテ「ピサゴリアン」學派ノ首領デアリシ所ノピサ

ゴラスニ依テナリ○セーリスピサゴラス及ビ希臘ノ他ノ往昔ノ賢人ハ主トシテ物理學ヲ以

テ彼等躬カラチ占領セシ、然レ五世紀ニ於テ彼等ハ論理及ビ修辭ノ技術ヲ教ヘシ

而シテ雅典ノ少年ノ給傭サレタル教師デアリシ所ノ詭辯家及ビ修辭家ニ依テ嗣ガレシ

(解) 哲學ハ小亞細亞及ビ下伊太利ノ希臘殖民地ニ於テ攻修シタルヲ始メトス小亞細

亞ニ在テハ紀元前第六世紀ニ於テセーリス出テ、「アイオニア」學派ノ基ヲ開ク之ト殆

ト同時ニピサゴラス下伊太利ニ出テ、「ピサゴラス」學派ノ泰斗タリ○セーリスピサゴ

ラス及ビ其他希臘古代ノ賢哲ハ主トシテ物理學ヲ研究ス然レ紀元前第五世ニ至リ詭

辯脩辭ノ兩學派之ニ繼テ興リ論理、脩辭ノ二術ヲ講說シ雅典ニ聘用セラレテ少年ヲ教

訓セリ

(百卅九) 人類ノ最賢ナル而シテ最大ナル者ノ一人ナルソクラテイスハペリクルスノ時

代ニ直ニ嗣グトコロノ時期ニ迄屬ス(紀元前四百六十九年乃至三百九十九年)○彼レハ哲學

ノ或ル確立ノ仕組ヲ教ヘ爲サハリシ、彼レノ特別ノ勞力ハ蒙迷ヲ破ル(Break down)可ク

蘇克拉底

希臘ノ文明

人民ニ彼等ノ無知ヲ示ス可ク誤謬ヲ露出ス可ク而シテ大ナル己ヲ得サル實理ノ(善ナル實ナル而シテ善ナルモノ)現在ヲ主張ス可クアリシ而シテ此レヲ彼ハ彼ニ隨テ「ソクヲチツク」ト稱セラレタル搜索スル究問ノ法ニ依テ爲セシ○彼レハ人品ニ附テ拙ク而シテ彼レノ風俗ニ於テ嚴格ニアリシ、彼レハ聳聽ス可ク撰ミシ所ノ總テニ凡庸ナル然レモ最モ適切ナル而シテ談話ノ体ニ於テ言ヒ掛ケツ、擔下、市場及ヒ街衢ニ於テ報酬無ニ教ヘシ○彼レノ潔白ナル而シテ貴ムベキ生活而シテ人間ノ福祉ヲ増進ス可ク彼レノ努力ニモ拘ハラズ彼レノ教ガ彼レニ多クノ警敵ヲ作りシ、彼レハ神ニ於テ信仰セヌヲ以テ而シテ少年ノ盡害者デアルヲ以テ雅典ノ有司ノ前ニ告發サレシ○此等ノ告發ノ上ニ罪セラレテ彼レハ「ヘムロツク」ノ一盃ヲ飲ム可ク宣告セラレシ○彼レハ彼レノ愛セラレタル而シテ泣クトコロノ徒弟ニ依テ環繞サレテ靜カニ彼レノ死ニ出會セシ其人ニ迄彼レノ最後ノ時ニ於テ彼レガ精靈ノ不死ナルヲニ於テ論明セシ

(解) 蘇克拉底ハ古今人類中ノ至聖碩學ニシテペリクルス治世ノ後幾クモナク世ニ出ツ(紀元前四百六十九年ニ生レ二百九十九年ニ死ス)○氏ハ敢テ自家一派ノ哲學ヲ唱道

プラト

スルヲナク本意專ラ世俗ノ迷妄ヲ破リ人民ヲ其不學愚昧ナル所以ヲ悟リ且善、實、美ノ大本理ノ存在スルヲ知ラシメントスルニ在リ而テ其之ヲ説クヤ後世所謂「蘇克拉底」講法ト稱スル所ノ設問研究法ヲ以テス○蘇克拉底人ト爲リ容貌醜惡ニシテ性行謹險ナリ常ニ擔下、市場或ハ路傍ニ立チテ講説シ其教ヲ聽カント欲スル者ニハ何人ヲ問ハス日常談話ノ如キ平易ナル話法ヲ以テ懇篤適切ニ之ヲ説話シ敢テ報酬ヲ要ムルヲナシ○其世ニ處スルヤ廉潔高尚ニシテ人間ノ福祉ヲ増進スルヲ務ムル此ノ如シ然ルニ其教ハ反テ數多ノ仇敵ヲ醸出シ雅典府執政ニ告訴スルニ蘇克拉底ノ衆神ヲ敬セス少年ノ徒ヲ惑ハスヲ以テスル者アリ○乃チ之ヲ罪シ命シテ矢鳩答(按書藥ノ名)一錠ヲ喫セシム○其死スルニ臨ミ門人等席ヲ擁シテ哀悼涕泣ス蘇克拉底從容トシテ之ニ語ルニ靈魂不死ノ説ヲ以テス

(百四十) ソクラテイスノ徒弟ノ一人ナルプラトー紀元前四百二十九乃至三百四十七年ハ雅典ニ近キアカデマスノ樹林其所ニ哲學者ガ彼レノ講義ヲ與ヘシ所ノ樹林カラ左様ニ稱セラレタル「アカデミック」學派ノ開祖デアリシ○プラトーノ著作ハ彼レノ問答ノ態裁ニ於

テ遺存ス○此等ニ於テハソクテイスガ主ナル談主トシテ表出セラル、然レモプラトローノ
 哲學ハ實ニ彼レ自分ノモノデアリシ○其レハ其レノ高尙ナル想像ノ品格ニ向ツテ拔群サル
 、○プラトローノ教ハ人心ノ上ニ有カナル影響ヲ有シタ而シテ古代ノ世界ニ於テ靈智ノ滿水
 標 (high-water mark) デアル

(解) プラトロー(紀元前四百二十九年生レ三百四十七年ニ死ス)ハ蘇克拉底ノ門人ニ
 シテ「アカデミック」學派ノ始祖タリ其常ニ學義ヲ講スル所雅典近郊ナルアカデマス樹
 林中ニ在リ「アカデミック」學派ノ名蓋シ是ヨリ出ツ○其著書ノ存シ傳フル者ハ問答体
 ナ爲シ○主トシテ蘇克拉底ヲ以テ談主ト爲ス然レモプラトローノ哲學ハ眞ニ自家ノ創意
 ニ出ツル者ニシテ毫モ前人ノ說ヲ蹈襲セス○特ニ其思想ノ高尙ナルヲ以テ著ル○其教
 タル人心ニ影響ヲ及ボセシ、甚大ニシテ古代思辨ノ水率茲ニ至テ頗ル高度ヲ示セリ
 (百四十一) 逍遙學派(雅典ニ於テノリシアムニ於ケル)ノ開祖ナルアリストートル(紀元
 前三百八十四年乃至三百廿二年)ハ希臘ノ哲學者及ヒ理學者ノ最モ正論ナル而シテ整理ナ
 ルモノデアリシ○彼レハ初メテ論理ノ演繹法ト稱セラル、所ノモノニ迄形ヲ與ヘシ○彼

アリス
トール

レノ哲學ハ(實ニ其レガ) 演繹法 其レトベ、コンノ名ガ結合サル、所ハ、演繹法ニ依テ交
 代サレシ迄續キツ、) 二千年間人ノ心ヲ越エテ支配セシ○演繹法ハ事實カラ總則 (General
 Principles) ニ迄論及スル、トニ依テ眞理ニ於テ達スル、演繹法ハ虚形ノ原理ヲ以テ始メ而シテ幾何
 學ニ於ケル如ク下方ニ論スル、トニ依テ眞理ニ於テ達スル○アリストートルハアレキサンダ
 ー大王ノ教師デアリシ

(解) アリストートル(紀元前三百八十四年生レ三百二十二年ニ死ス)ハ逍遙學派
 (雅典ノリシアムニ於テ之ヲ説ク)ノ祖ニシテ希臘ノ哲學家及ヒ理學家ノ中論理最モ正ク
 秩序最モ整ヘル者ト謂フヘシ○今日演繹論理法ト稱スル形式ヲ創造シ○爾來二千年間
 人皆之ヲ宗トシ夫有名ナル倍根ノ歸納法出テ之ニ代ルニ至ルマテ綿々トシテ繼續セリ
 ○蓋シ歸納法ハ事實ヲ本トシ通則ヲ發明シ竟ニ眞理ニ歸着スルヲ旨トシ演繹法ハ先ツ
 抽象的ノ原理ヲ立テ、根據トシ之ヨリ推究シテ眞理ニ至ラン、トヲ務ム例ヘハ幾何學ニ
 於ケルカ如キ是ナリ○而シテアリストートルハ歴山大王ノ師ナリ

第五 希臘ノ技術

希臘
狀ノ形

(百四十二) 四美術ハ建築、彫刻、圖畫及ビ音樂デアアル。希臘人ノ技術上ノ天稟ハ初メナル二個ノ形ニ於テ彼等躬カラテ呈出セシ（何トナレハ圖畫及ビ音樂ハ適當ニ中葉時代ニ迄而シテ耶蘇教ニ迄屬スル故ニ）、而シテ此等ニ於テ完全ノ度其レハ嘗テ以前ニ見ラレザリシ所（希臘人ノ技術上ノ天稟ハ初メナルニシテ）、而シテ其レハ決シテ其後超過サレナンド（所ハ完全ノ度ガ達セラレシ）。

(解) 四美術トハ建築、彫刻、圖畫及ビ音樂ナリ。希臘人技藝ノ才智ハ大ニ建築、彫刻ノ上ニ顯レ（蓋シ圖畫、音樂ハ中古以後、始リ且基督教ノ起リシ以後ニ屬スレハナリ）。其完全無缺ナルヲ實ニ空前絶後ト謂フベシ。

神廟

(百四十三) 希臘人ノ最モ重要ナル建築ノ工事ハ神ノ殿堂デアアル、此等ニ於テ余輩ガ三ツノ古風ノ形ニ於テ希臘ノ圓柱ノ發達ヲ發見ス即チ「ドリツク」（アイオニツク）及ビ「コリンシアン」ナリ。希臘ノ總テノ重要ナル都府ハ波斯戰爭ノ前ニ彼等ノ格式ト均キ殿堂ヲ有セシ（其レガ信スベクアル、然レモ多クガ其爭鬪ノ間ニ破壊サレシ而シテ波斯トノ爭鬪ニ嗣ギシ所ノ國ノ生活ノ宏大ノ時代ニ於テ人民ガ古來ノ建築物ヲ引倒セシ (pulled down) 而シテヨリ多ク壯大ナル態裁ニ於テ再建セシ）結果ハ今希臘ニ於テ發見サレタル殆ント總

テノ六ナル殿堂ハサラミスニ於テ波斯人ノ敗北ニ嗣ギシ所ノ四十或ハ五十年ニ於テ建築サレシトデアアル。

(解) 希臘ノ建築工事中其最モ巧妙ヲ極ムル者ハ諸神ノ廟宇ナリ今其神厝ヲ檢スルニ希臘圓柱ノ構造發達シ分シテ三様ノ古體トナル「ドリリア」風「アイオニア」風「コリンス」風是ナリ。蓋シ波斯戰爭以前ニ當リ國中主要ノ主府ハ其位格ニ應シテ皆神厝ノ設ケアリシト雖モ該戰爭ノ時多クハ破壊セラレ後幾モナク國運隆盛ナルニ及ヒ人民舊厝ヲ毀チ新ニ土木ヲ起シ其規模一層ノ宏麗ヲ加フ。是レ今日國中ニ存スル所ノ大神厝ハ概ニ波斯軍ノサラミスニ敗レシ後四五十年ノ建設ニ係ル所以ナリ。

アイオ
ニア風

(百四十四) 建築ノ優美ナル「アイオニツク」派ハ小亞細亞ニ於ケルアイオニアノ希臘都府ニ於テ其レノ起原ヲ有セシ。此派ノ尤モ有名ナル實例ハヘロスドラタスニ依テアレキサンダー大王ノ誕生夜（紀元前二百五十六年）ニ於テ燦カレタル而シテ羅馬時代ニ於テ尙ホヨリ多ク華美ナル態裁ニ於テ再建サレタルエフエサスニ於ケル「ダイアナ」ノ殿堂デアリシ。此殿堂ハ廣サ二百二十英尺ニ依テ長サ四百二十五英尺デアリシ。其レノ全キ基礎ガ英人ノ穿

希臘ノ文明

鑿ニ依テ露出サレタ (has been laid bare)

フロレーシヤン

(解) 「アイオニア」風ハ其建築清美ニシテ其源小亞細亞ノアイオニアニ在ル希臘市府ニ起ル○此風ニ屬スル建築中最モ有名ナルハエフエサスニ在ル神廟ニノ女神「ダイアナ」ヲ祀ル然ルニ歴山大王誕生ノ夜(紀元前三百五十六年)ヘロストラタスノ爲ニ燒カレ後羅馬ノ世ニ至リ更ニ造營シ壯麗前ニ加フ○其堂ノ長サ四百二十五英尺ニシテ幅二百二十英尺ナリ○近時英人ノ穿鑿ニヨリテ全ク其基礎ヲ發掘シタリ

コリン
ス風

(百四十五) 「コリンシアン」派ハ希臘諸派ノ最高尙ナル而シテ最モ富盛ニ裝飾サレタルモノデアリシ○古人ハ其レヲ「グイナス」、「フローラ」及ビ泉ノ女神ニ迄奉呈シタル殿堂ニ於テ使用セシ何トナレバ花及ビ葉其レヲ以テ其レガ裝飾サル、所ノ花及ビ葉ガ斯様ナル神ノ嬌艶及ビ美麗ニ迄好ク適シテ見エシ故ニ○其レハ紀元前第五世紀ノヨリ終リノ部分カラ起日スル

(解) 「コリンス」風ハ就中最モ高尙ニシテ裝飾ニ富メリ○昔人「グイナス」花神及ビ源泉ノ女神ヲ祀ルニ此風ノ神廟ヲ以テス蓋シ其裝飾ノ花葉ハ斯ノ如キ女神ノ艶美奇麗ニ

パー
ンセ

適スルヲ以テナリ○而シテ其濫觴ハ概テ紀元前第五紀ノ末年以後ニアリ

(百四十六) 希臘ノ「ドリック」殿堂ノ最モ有名ナルハ「アセナ」(「ミナーヴァ」)ニ迄奉呈シタル「淑女ノ家」ナル「パーセノン」デアアル、其レハ純白ノ大理石カラ建築サレシ而シテ雅典ニ於テアクロポリスヲ飾リシ○此構成ニ附大著書ガ云フ「其レ自分ノ種類ニ於テ其レハ疑ヒモナク世界ニ於ケル最モ美麗ナル建築物デアアル○其レハ眞實デアアル其レハ埃及ノ殿堂ニ於テ固有ナル廣潤又ハ勢力及ビ不朽ノ驚歎スベキ呈出ヲ有セヌ亦其レガ「ゴシック」寺院ノ變化及ビ韻致ヲ有セヌ、然レモ智力上ノ美麗ニ向ツテ、割合ノ完全ニ向ツテ、細目ノ美ニ向ツテ而シテ建築ニ造營テ適用シタル技術ノ最モ高尙ナル而シテ最モ魁妙ナル原理ノ秀精ナル識別ニ向ツテハ其レハ至極ニ而シテ全ク特孤ニ而シテ無雙ニ立ツ、希臘光榮ニシテ而シテ世界ノ自餘ノ恥辱ナリ」

註* フアーグン氏ノ建築史第一卷二百二十一頁(ヨリ抄出ス)○本書七十三頁「パーセノン」宮ノ圖ヲ參觀セヨ

(解) 「ドリッ」風ノ神廟中最モ著名ナルハ「アセナ」(「ミナーヴァ」)ヲ祀ル所ノ「パー

セノン」ニシテ世之ヲ「處女ノ宮殿」ト稱ス此堂純白ノ大理石ヲ以テ建築シ雅典府中ア
 クロポリス丘ニ巍立ス○一大家其精造ヲ評シテ曰ク「其美妙ナル世界中「ドリア」風ノ
 建築ニ冠タルヤ疑ナ容レス○蓋シ夫ノ埃及神廟ノ如ク規模廣大ニシテ峻巖ノ驚ク可キ
 者ナルニ非ス又「ゴス」派ノ寺觀ノ如ク變化妙ナル韻致ノ佳ナル者アルニ非ス然レ其
 意匠ノ秀美ナル配合ノ完全ナル工夫ノ周到ナル且技藝中ノ高尙奧妙ノ玄理ヲ標準トシ
 テ之ヲ建築術ニ應用スルノ精巧ナルニ至リテハ古今ニ卓絶シ能ク之ニ匹スル者ナシ誠
 ニ希臘國ノ榮譽ニシテ他國ノ恥辱ト謂フベシト

彫刻

(百四十七) 彫刻ニ於テ希臘人ハ特歩ノ完全ニ達セシノ其レガ承認サル、○余輩ニ迄
 殘存スル所ノ希臘彫刻ノ最美ノ見本ハ「パーセノン」ノ破風及ビ腰線ヲ裝飾セシ所ノ畫像
 デアル○此等ノ過半ハロード、エルジンニ依テ雅典カラ英國ニ迄取ラレシ而シテ今不烈顛
 博物館ニ於テアル○畫像ノ多クハ不幸ニシテ缺損サレタル有様ニ於テアル然レ其彼等
 ハ尙ホ愛スベキト、尊嚴及ヒ威風ノ眞ノ全備ヲ抱ゴス○此等ノ工事ハ有名ナルフイデア
 ス其人ハ波斯戰爭ニ嗣グトコロノ偉大ノ時代ニ迄屬セシ所ノフイデアスノ司令ノ下ニ

技術者ノ學派ニ依テ成就サレシ○此レガ希臘彫刻ノ英雄時代デアリシ、爾後ノ技術者ハ

不學者ガヨリ多ク美トシテ視做ス所ノ形ヲ製出セシ然レ其彼等ハ此等ノ不朽ノ工事ノ
 完全ナル清潔及ビ靜肅ヲ缺ク

(解) 彫刻術ニ於テハ希臘人尤モ完美卓絶ノ域ニ達セシハ世人ノ許ス所ナリ○其模形
 ノ最モ美ニシテ今日ニ存スル者ハ「パーセノン」宮ノ破風並ニ圓柱ノ腰線ヲ飾ル所ノ模
 様トス○其多クハ英國貴族エルシン氏雅典ヨリ携ヘ來リテ現ニ英國博物館ニ藏ス○惜
 ムラクハ其模樣缺落セル處多シト雖其猶其清雅、端嚴、雄偉ノ姿ヲ觀ルニ足ル○蓋シ此
 等ノ工事ハ有名ナルフイデアスノ門派ニ屬セル技術家ノ作ニ係ルフイデアスハ波斯戰
 爭後ノ盛時ノ人タリ○此時代ハ實ニ希臘彫刻隆盛ノ世ナリ後世ノ術家ノ作ニシテ或ハ
 不文者ノ見テ更ニ美ヲ加フト爲ス者ナキニ非ス然レ其純全ノ質ヲ缺キ又不朽ノ技術ト
 稱スルニ足ラス

第六 希臘ノ生活、習俗等

(百四十八) 彼等ガ余輩ニ遺シタ彼等ノ書物及ビ遺物カラ拾ヒ集メタル希臘人ノ生活ノ法

概説

及ビ風俗及ビ慣習ハ深ク趣味アル趣意ヲ形造ル、然レ其レハ此所ニハ單ニ觸レラレ能フ所ノモノナリ

(解) 往時希臘人ノ營生、風俗、習慣等ノ如キ遺書舊物ノ今日ニ存スル者ニ由テ之ヲ研究スルハ亦一快事ナリ然ルレ此ニハ唯其一端ヲ載スルニ過ギス

(百四十九)

希臘人ノ衣服ハ不要ノ被服或ハ裝飾ノ無用ノ表出無シニ質素デアリ

シ○男女ノ間ニ其所ニ着服ノ些少ノ相違ガアリシ○衣裳ハ通常羊毛、麻布ノモノデアリシ

テ後代ニハ木綿ノモノデアリシ○婦女ハ一ツノ頭被ヲ着ケザリシ、總テノ男ガ旅人

及ビ勞働者ノ某種類ヲ除キ無帽デアリシ○戸内ニ希臘人ハ一ツノ足被ヲ用ヰザリ

シ戸外ニハ彼等ハ鞋、靴、時アツテハ長靴ヲ着ケシ

(解) 衣服ハ質素ニシテ無用ノ被服、無益ノ裝飾ヲ爲サズ○男女ノ服其制少異アルニ過ギズ○衣裳ハ通常絨毛、麻布ヲ以テ之ヲ制シ後又木綿ヲ用ウ○女子ハ帽ヲ戴カズ男

子ト雖レ旅人若クハ某種ノ工夫ニ非サレハ亦之ヲ戴カス○戸内ニ在テハ裸跣ヲ常トシ戸外ニ在テハ草履若クハ短靴ヲ用ヒ時アリテ長靴ヲ穿ツ

食事

(百五十)

希臘人ハ腕椅子ニ於テ凭リ掛リツ、(reclining on)而シテ卓子掛ケモ亦手巾

ヲモ使用セズシテ三回ノ日々ノ食ヲ喰ヒシ○元來ノ風習ニ於テ彼等ハ庖丁及ビ肉叉ニ向

ツテ彼等ノ手指ヲ用ヰシ、然レ其レハ通常デアリシ○彼等ハ食ノ前後ニ (before and after) 手

ヲ洗ヒシ(驚訝スベキナラズ)○尋常ノ人民ノ中ニハ乾魚及ビ大麥麵包ガ菓子ト共ニ

常食(staple food)デアリシ○有資者(well-to-do)ノ裏ニハ奢侈ノ總テ類ガ勿論耽ケラレシ○饗

應ノ後ニ酒宴ガ來リシ其時ニハ主人及ビ賓客ガ抽籤ニ依テ撰バレシ所ノ「饗宴ノ主宰」

ニ依テ支配サレツ、温或ハ冷水ヲ以テ混和サレタル葡萄酒ノ杯ヲ飲干セシ○此酒席ハ

種々ノ談話、音樂、踊舞及ビ遊戯及ビ歡娛ノ總テノ種類ニ依テ興添ヘラレシ

(解) 國人日ニ飲食スルコト三回食ニ臨ミ椅子ニ凭リ卓覆、手巾ノ類ヲ用ヰズ○古代ノ風習ハ小刀、食叉ヲ用ヰズ代フルニ手指ヲ以テス然レ其レ父匙ハ普子ク之ヲ使用ス○食

前食後ニハ手ヲ洗フヲ常トス(宜ナル哉)○平民ノ常食ハ乾魚大麥ノ麵包及ビ菓子ナリ○然レ其レ富民ノ奢侈ヲ盡スハ固ヨリ是ノ比ニ非ス○凡ソ客ヲ饗スル豫メ抽籤ニヨリテ宴主ヲ撰ミ之ヲシテ諸儀ヲ司ラシメ食後更ニ酒宴ヲ開キ主客交々葡萄酒ノ盃ヲ傾ケ或

ハ和スルニ温湯ヲ以テシ又ハ冷水ヲ以テス○其他談話、音樂、舞蹈等各種ノ遊戲娛樂ヲ以テ歡ヲ助ク

教育

(百五十二) 縦ヒ國家ハ學校ヲ支持爲サトリシト雖、ステート凡猶ホ日々ノスクール登校ハ全ク普通デアリシ、然レモ男兒ノミガ學校ニ迄行キシ○希臘少年ノ全キ教育ハ三部分ニ迄別タレシ、(文法、音樂及ビ體操ナリ)○學校教師ハ「シムナシツクスグラムマテ、エザケーションステス」即チ文法家ト稱セラレシ、然レモ希臘人ヲ以テ「文法」ハ教育ノ初等科ノ大半ヲ包括セシ兼テ「音樂」ナル語ノ下ニハ惣テノ智力上ノ藝能ガ來リシ○體操所其所ニボディー身体ガ角力、走馳、擊合及ヒ類似ノ業ニ依テアソコムブリシニョムンツ撓屈ニ而シテ強健ニ爲レシ所ノ體操所ハ希臘教育ノ部分デ而シテボクシング福片デアリシ而シテ多クハ散悶ノ並ニ運動ニ向ツテボリス屢赴カレシ○其所ニ爭鬪者カ有名ナル「バクナリムビヤ」祭ノ遊戲ニ向ツテ練習セシ

(解) 國家資金ヲ出シテ學校ヲ保持セズト雖モ子弟(唯男兒ノミ)ハ日ニ上學スルヲ以テ常習トス○少年ノ教育ヲ分チテ三トナス文法、音樂、體操是レナリ○學校教師ヲ呼ビテ文法家ト稱ス然レモ希臘人ノ所謂「文法」ハ意義廣濶ニシテ初等教育ノ諸科ヲ包括シ

婦人ノ地位

「音樂」モ總テ智力上ノ技藝ヲ併稱ス○體操ハ角力、競争、鬪拳其他此類ノ操法ヲ爲シ以テ身体ヲシテ強健快捷ナラシム是レ其教育ノ一部ニシテ亦或ハ散悶運動ノ資ト爲シ○且「オリムピア」祭日競技ノ用ニ供ス

(百五十二) 婦女ハホーマー時代ニ於テ後時later timesニ於テヨリハ尙高キ地位ヲ家内ニ於テ有シタ可ク見ユル○歴史時代ニ於テ夫ハ彼レノ妻ヲ「サムシツ稍々彼レノ犬ヨリハ好ク彼レノ馬ヨリハ聊カヨリ貴重ニ」リット忠實ナル奴隸トシテ待遇セシ○主義其レノ上ニ婦女ノ教育ガ在セシ所ノ主義ハ家政ヲ處シ、兒童ノ体ノ需要ニ向ツテハリス給シ而シテフエヤ女性ノ奴隸ヲ監督ス可ク彼等ヲ能セシムルデアロラ所ノ方サニ左様ニ多クノ心ノ教化ガ婦女ニ向ツテ適合シテアリシトデアリシ○エキニ嫁婚ノ前並ニ後「シムナシツクス女子シナム」即チ女房(female apartment)ニ於テ隔離サレテ彼等ハ隔離シタル而シテ狹隘ナル生活ヲ導キシ、其レ故ニ余輩ハ教化シタル母、姉妹及ビ妻ノ改良スル而シテ上品ニスル勢力カラ缺乏セルトシテ希臘ノ社會ニ附テ思考セズバナラヌ、而シテ此事實ハ希臘ノ才智ノ產物ニ於テ或ル著シク追求サルベキ缺典ニ於テ成績セシ○余輩ハ後段ニ社會ニ於テ彼女ノ眞正ノ位置ニ迄婦女ノ昇級ニ向ツテ余輩ガ恩

荷サル、丁ノ其レハ耶蘇教ニ迄デアアルヲ見ルデアロウ

(解) 荷馬時代ニ在リテハ婦人ノ家内ニ占ムル所ノ地位後世ヨリ高キカ如シ○正史時代ニ在リテハ男子其婦ヲ見ルヲ忠實ナル奴隸ノ如ク、之ヲ遇スルヲ狗ニ比スレハ稍々優ニ、之ヲ愛スル僅カニ馬ニ過グ○婦女教育ノ主義ハ家政ヲ調理シ、兒子ニ衣食シ、奴婢ヲ監視スルニ適スルヲ以テ足レリトセリ○其既ニ嫁スルト否トナ問ハス常ニ女房ニ幽居スルヲ以テ其交際極メテ狭シ故ニ希臘社會ニハ母、妻、姊妹ノ學問ヲ備ヘ能ク之ヲ感化スルニ足ル者ナキヤ明ナリ然レハ希臘ノ文學技藝ニ於テ欲典ノ歴々トシテ視ルハキ者アルハ亦之レカサ爲ノミ○其後基督教起リ婦人始メテ社會ニ立チテ適當ノ地位ヲ占有スルニ至リタル次第ハ後卷ニ於テ之ヲ論セン

斯氏萬國史直譯講義 上卷 畢

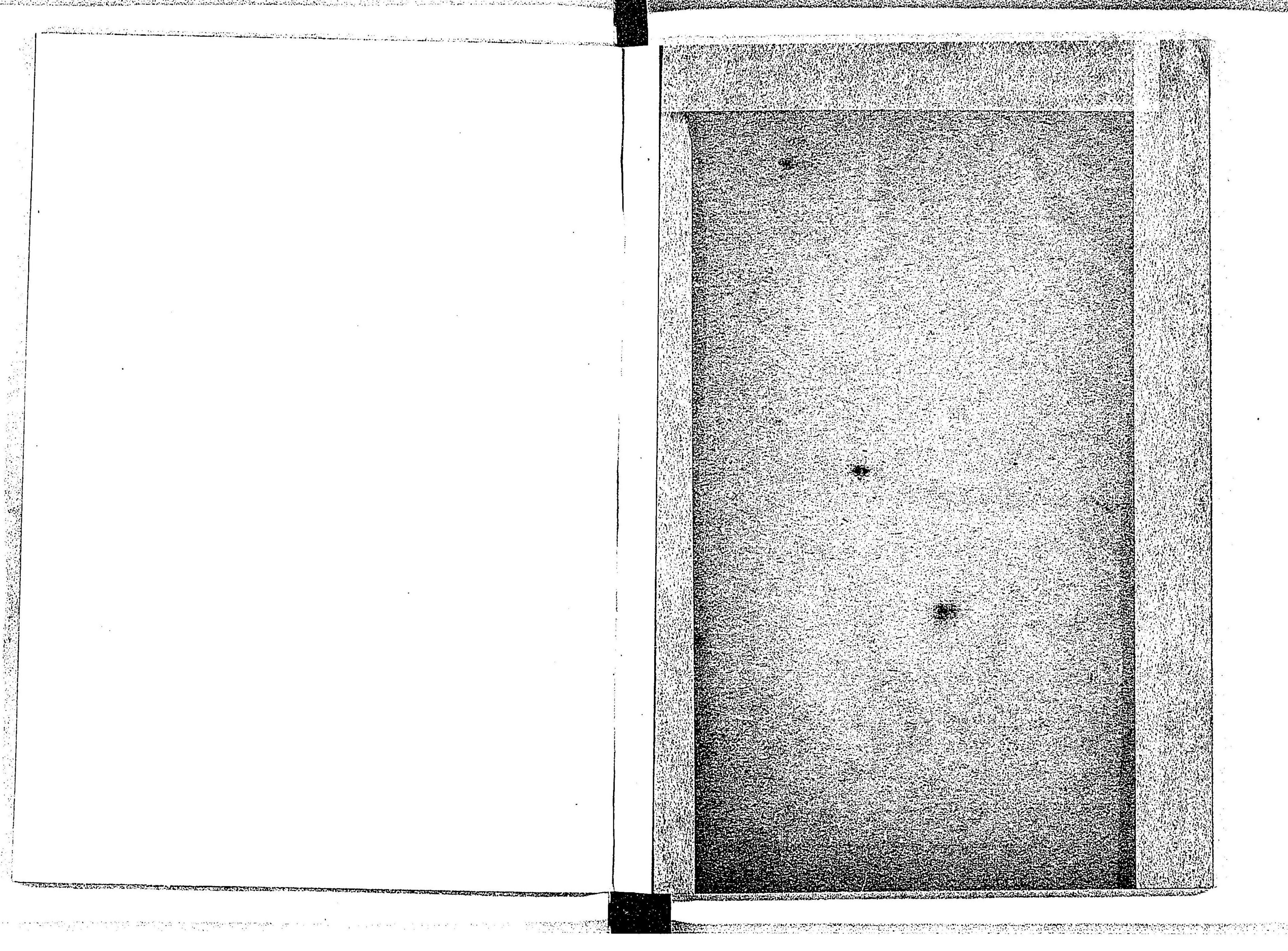
明治廿二年七月十五日印刷
同 廿二年七月二十五日出版

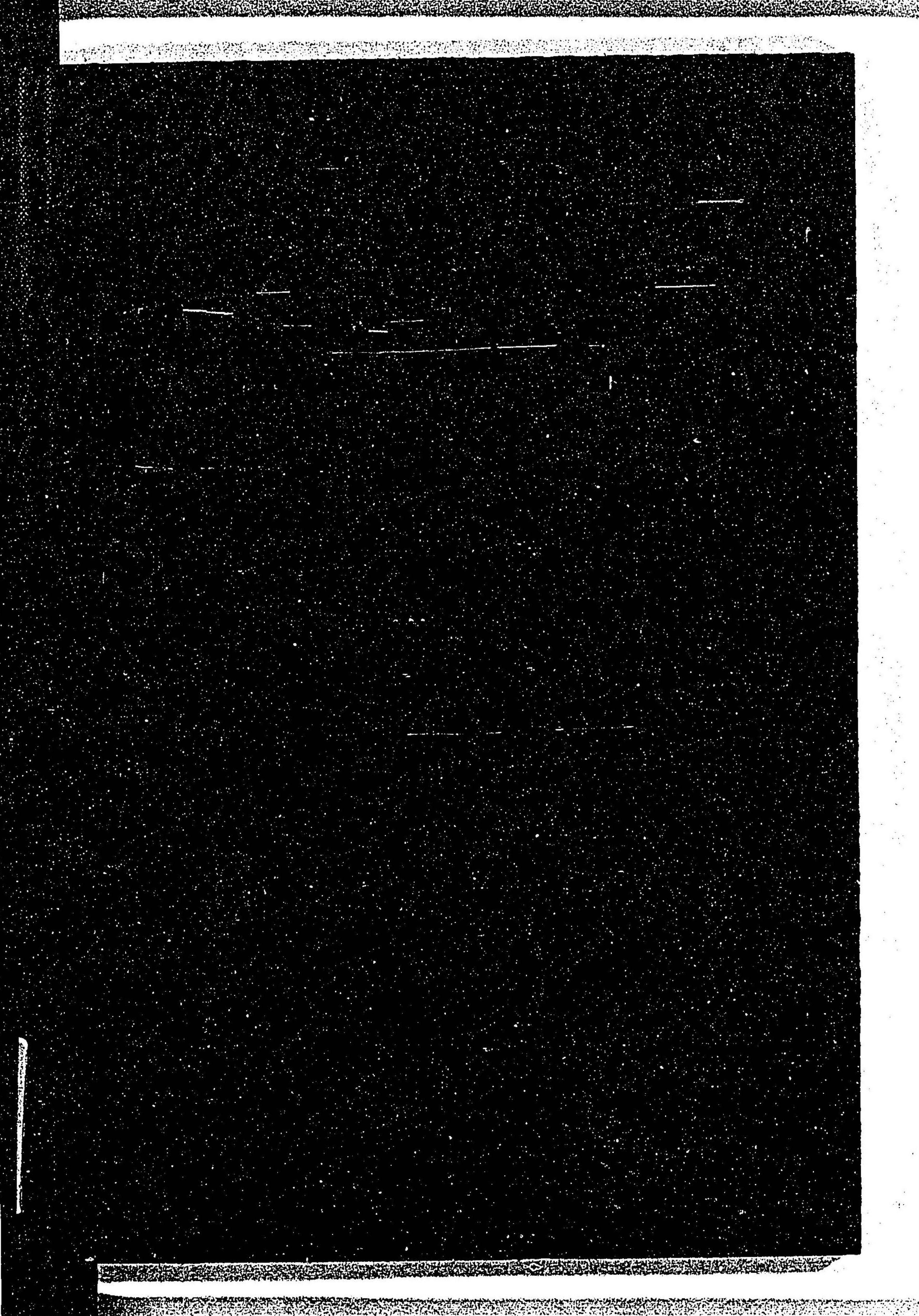
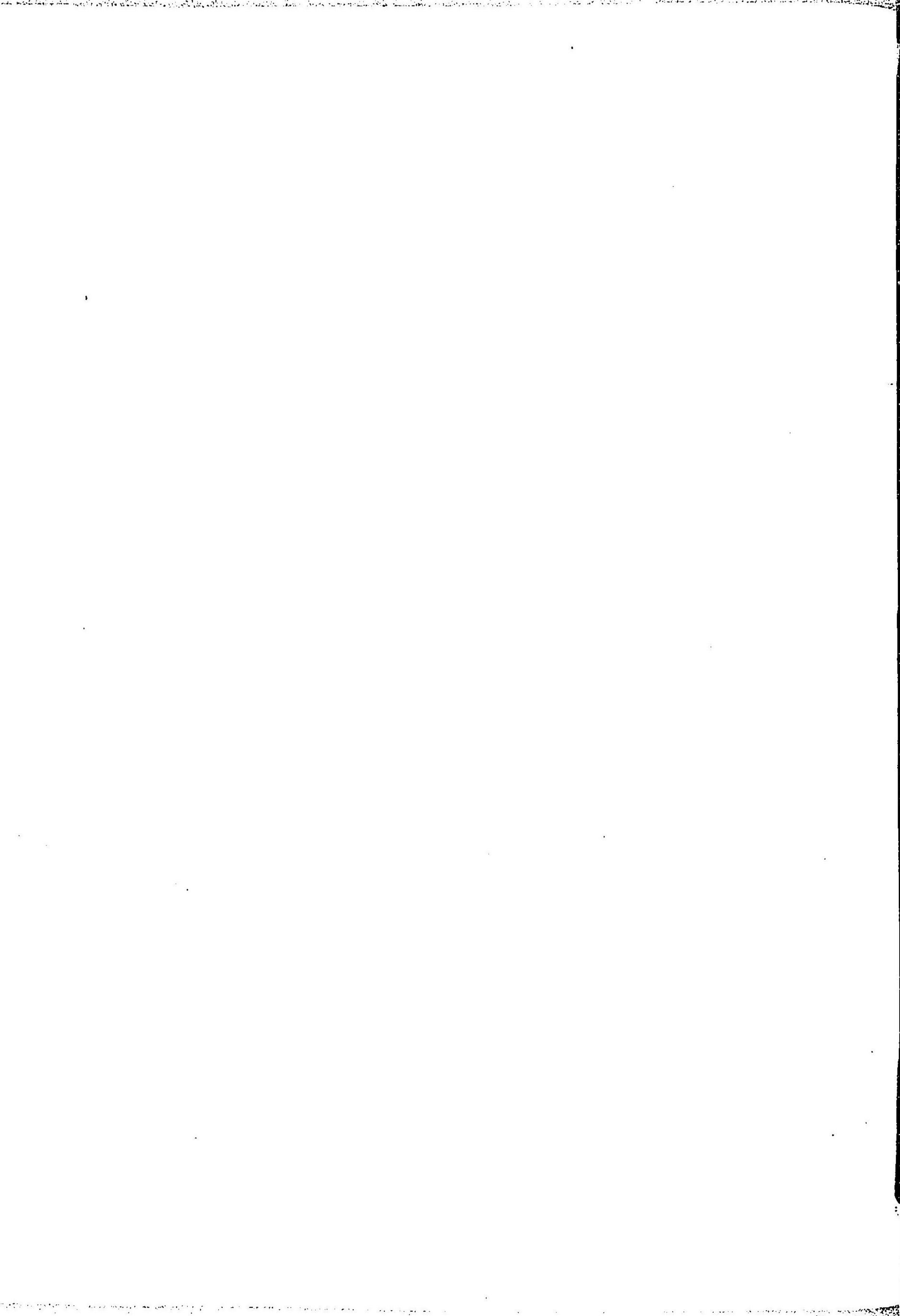
定價金五十錢

版權



| | |
|------------|--|
| 譯述兼 發行者 | 京都府京都市上京區東堀川通 二條上ル九丁目十三番戶寄留 伊藤 藤 謙 藏 |
| 印刷者 | 大阪府大阪市東區本町一丁目 三十番屋敷大阪國文社 河上 久之 祐 |
| 發賣者 | 東京日本橋區通三丁目 丸善商社書店 |
| 發賣者 | 京都下京區寺町通四條上ル町 田中 治 兵 衛 |
| 發賣者 | 大阪東區備後町四丁目 梅原 龜 七 |
| 發賣者 | 同 東區本町四丁目 岡 島 真 七 |
| 發賣者 | 同 東區北久太郎町四丁目 柳原 喜 兵 衛 |
| 發賣者 | 同 南區心齋橋南一丁目 松村 九 兵 衛 |





特 20

149

斯氏 万国史直訳講義

国立国会図書館

000179-000-5

特20-149

万国史直訳講義 上卷

維廉・斯因頓(ウィリアム・スウィントン)

M22

ACA-0274

